

2026 年度シラバス

キャリア創造専攻

CA0001日本国憲法
CA0003 心理学
CA0005日本語表現
CA0008コンピュータ基礎演習 A
CA0009コンピュータ基礎演習 B
CA0015総合英語A (大塚)
CA0015総合英語A (大山)
CA0015総合英語A (酒井)
CA0016総合英語B (大塚)
CA0016総合英語B (大山)
CA0016総合英語B (酒井)
CA0017スポーツ理論・実技A
CA0020キャリアデザイン論
CA0021ボランティア社会学 (実習を含む)
CA0028情報処理 (演習を含む)
CA0029_現代社会の課題A
CA0030_現代社会の課題B
CA0032スポーツ理論・実技B (ダンス)
CA0033Q こどもとプログラミング
CB0002食生活論(食品学・栄養学を含む)
CB0003住生活論
CB0004 衣生活論
CB0005生活学 (家庭経営、家族関係学及び家庭経済学を含む)
CC0015カラーコーディネート演習
CC0021食生活実習
CC0022健康栄養学
CC0023調理学
CC0024応用食品学
CC0032フードコーディネート論
CC0061医療事務Ⅰ
CC0062Q医療事務Ⅱ
CC0063Q医療事務Ⅲ
CC0070エアラインEnglish
CC007101イベントプロデュース
CC007102イベントプロデュース
CC007103イベントプロデュース
CC007104イベントプロデュース
CC0074ビジネス英語
CC0075TOEIC基礎

CC0076観光学
CC0077ファッションショーⅠ
CC0078ファッションショーⅡ
CC0079ブライダルプランニング
CC0080ブライダル実技
CC0084AIとマネジメント
CC0085エアライン空港実務体験A
CC0086エアライン空港実務体験B
CC0087フードデザイン実習
CC009102キャリアデザイン演習(ファッション7・ブライダル)
CC0092産学連携プロジェクト
CC0093ビジネス実務(インターンシップを含む)
CC0094調剤薬局事務
CC0095マーケティング論
CC0096総合プロジェクト
CC0098キャリア創造特別演習Ⅰ
CC0099キャリア創造特別演習Ⅱ
CC0101マネープランニング
CC0102WebデザインA
CC0103WebデザインB
CC0105マナー・接遇
CC0108ファッションデザイン
CC0109アパレル企画
CC0110VMD(演習を含む)
CC0111ファッションビジネス・販売
CC0112ブライダル企画
CC0113トータルファッション
CC0114メイク
CC0115ヘア
CC0116食品衛生論
CC0117フードビジネスMD
CC0120保育学
CC0121カフェデザイン
CC0122ビジネススタートアップ
CC0124ビジネスプロジェクトⅡ
CC0125SNSリテラシー
CC0126簿記
CC0127コリアンコミュニケーション
CC0128ファッション造形(被服実習を含む)

CC0129製菓・製パン実習
CC0130スイーツアート
CD0002 教育心理学
CD0003教職概論
CD0005家庭科教育法
CD0006道徳の指導法
CD0008生徒指導・進路指導
CD0009教職実践演習
CD0010教育実習指導
CD0011教育実習
CD0012 特別活動の指導法(教育の方法と技術を含む)
CD0013Q 特別支援教育論
CD0014 総合的な学習の時間の指導法
CD0015Q 教育相談
CD0016 教育原理
CD0017Q教育とICT活用

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0001	日本国憲法	合原 理映	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 この講義では、日本国憲法の定める基本的人権を中心に解説を行う。日本国憲法に保障されるさまざまな基本的人権の性質、保障内容だけでなく、保障に至る歴史的な背景なども取り上げていきたい、それと同時に、権利をめぐる裁判や時事的問題についても学ぶことにより、日本国憲法が社会においてどのように具体化しているのかについても解説する。本講義のねらいは、日本国憲法の基本的な知識を習得すると同時に、日々の生活の中にも憲法に関連する問題が存在していることを気づく目を養うことである。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	日本国憲法の基礎知識を理解する	確認テスト	70	5	日本国憲法の基本的な内容について正確に理解している（4回行う確認テストの合計点が90点以上の成績）			
				4	日本国憲法の基本的な内容を概ね正確に理解している（4回行う確認テストの合計点が80点以上）			
				3	日本国憲法の基本的な内容を理解している（4回行う確認テストの合計点が70点以上）			
				2	日本国憲法の基本的な内容を最低限度で理解している（4回行う確認テストの合計点が60点以上）			
				1	日本国憲法の基本的な内容をほとんど理解していない（4回行う確認テストの合計点が60点未満）			
向上心・責任感	社会におけるさまざまな憲法上の問題に関心を持ち、積極的に意見を表示できる	受講態度	30	5	憲法問題に関心を持ち、積極的に意見を提示する。			
				4	憲法問題に関心を持ち、意見を提示する。			
				3	憲法問題に関心を持っているが、あまり意見を提示しない。			
				2	憲法問題にあまり関心を持たず、意見も提示しない。			
				1	憲法問題に全く関心を持たず、意見も全く提示しない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行『いちばんやさしい憲法入門（第7版）』有斐閣アルマ（2025） 参考書：								
【その他】 授業時間中に行う確認テストについては、返却時にフィードバックを行う。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目								

キャリア創造専攻 2年次

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 憲法とは何か	事前学習： 憲法の意味についてネットで調べてみる。 事後学習： 授業で説明された憲法の意味と自分が調べた内容との相違点を確認する。	4
2 基本的人権の保障(1) 基本的人権とは。誰に保障されるのか	事前学習： 教科書Theme 1を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
3 基本的人権の保障(2) 外国人の人権保障	事前学習： 教科書Theme 2を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
4 プライバシーの権利	事前学習： 教科書Theme 3を読む。確認テスト(1) 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
5 自己決定権	事前学習： 教科書Theme 4を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
6 法の下での平等	事前学習： 教科書Theme5・6を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
7 信教の自由	事前学習： 教科書Theme 7を読む。確認テスト(2) 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
8 表現の自由(1)	事前学習： 教科書Theme8を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
9 表現の自由(2)	事前学習： 教科書Theme 9を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
10 営業の自由	事前学習： 教科書Theme 10を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
11 生存権	事前学習： 教科書Theme 11を読む。確認テスト(3) 事後学習： kakunintesuto	4
12 教育を受ける権利	事前学習： 教科書Theme 12を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
13 被疑者・被告人の権利	事前学習： 教科書Theme 13を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
14 国会とはどのような機関か	事前学習： 教科書Theme 16・17を読む 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4
15 裁判所	事前学習： 教科書Theme 19・20を読む。確認テスト(4) 事後学習： レジュメやノートを見直し、内容を整理・復習する。	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0003	心理学	白岩 等	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>一般に心理学というと、悩みを抱えている人を助けたり、コミュニケーションや犯罪捜査に役立ったりする印象があるが、それらは心理学の一部であり、実際にはもっと広がりのある学問である。これまでの心理学関係の専門科目などで、思っていたよりも心理学は面白くないと感じた人もいないかもしれない。本講義では、主に身近な現象や生活を心理学で読み解きながら、簡単な実験等を通して心理学の面白さに気づき、知識と考察を深めていくことをねらいとする。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	心理学における基礎的な知識を持ち、社会生活の中で活用できる。	定期試験	70	5	定期試験の得点が8割以上			
				4	定期試験の得点が7割以上			
				3	定期試験の得点が6割以上			
				2	定期試験の得点が5割以上			
				1	定期試験の得点が5割未満			
コミュニケーション力	心理学に対し興味を持ち、より深く学ぼうとする。	受講態度	30	5	心理学に対して積極的に興味を持ち、深く学ぼうとする意欲がかなり高い。			
				4	心理学に対して積極的に興味を持ち、深く学ぼうとする意欲が高い。			
				3	心理学に対する興味を持ち、学ぶ意欲がある。			
				2	心理学に対する興味が低く、学ぶ意欲も低い。			
				1	心理学に興味がない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
<p>教科書： サトウタツヤ・渡邊芳之『心理学入門』（有斐閣）</p> <p>参考書： 授業時に適宜紹介する</p>								
【その他】								
<ul style="list-style-type: none"> ・課題等についてフィードバックする。 ・実務家教員による授業。 								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 心理学とは何か エピソードから心理学を考える。	事前学習： シラバスを読み、心理学についての自分なりのイメージを持つ。 事後学習： 興味を持ったテーマについて調べる。	4
2 臨床心理学① カウンセリングの歴史と実際	事前学習： カウンセリングに対するイメージについて調べる。 事後学習： 臨床心理学がどのように社会で用いられているか復習する。	4
3 臨床心理学② さまざまな心理療法	事前学習： 心理的に治療について、自分なりにイメージする。 事後学習： 個々な側面からアプローチする心理療法について復習する。	4
4 性格と個人差の心理学 血液型性格判断はどこまで正しいか	事前学習： 性格は変わるものなのか、変わらないものなのか考える。 事後学習： 性格がどのようにとらえられているか復習する。	4
5 社会的行動の心理学① どうしたら相手を説得できるのか	事前学習： 相手をどのように説得しているかについて考える。 事後学習： 行動の原因や意図について復習する。	4
6 社会的行動の心理学② 人間に及ぼす集団の力	事前学習： どんなどきに人は攻撃したり、傷つけたりしやすいのか調べる。 事後学習： どのように集団が人間を変えることがあるのか復習する。	4
7 発達心理学① 発達とは何か	事前学習： 発達とは何か自分なりの意見をまとめておく。 事後学習： 授業で触れた発達の理論について復習する。	4
8 発達心理学② 人間の発達のありさま	事前学習： こどもがどのように育つのか思い出す。 事後学習： 自身がこれから先どのように発達していくのか復習する。	4
9 心理学的アセスメント 心をどのようにして測るのか	事前学習： 身近にある「〇〇力」はどのように測っているのか考える。 事後学習： 操作的定義、信憑性と妥当性について復習する。	4
10 知覚・認知・記憶の心理学① 人は環境をどのようにとらえているのか	事前学習： 環境をとらえるのは目なのか能なのかについて考える。 事後学習： 人が環境をどのようにとらえているかを復習する。	4
11 知覚・認知・記憶の心理学② 記憶の仕組みと認知バイアス	事前学習： 自分が持っている一番古い記憶を書き出す 事後学習： 記憶の仕組みと認知バイアスについて復習する	4
12 行動と学習の心理学 行動とは何か レスポンデント条件付け・オペラント条件付け	事前学習： 行動とは何か、学習とは何かについて、自分なりに考える。 事後学習： 行動と学習について復習する。	4
13 親密な関係における暴力 なぜ、DVやデートDVは起きるのか	事前学習： 親密な関係の中でなぜ暴力が起きるのかを考える。 事後学習： DVやデートDVについて復習する	4
14 心理学の歴史 心理学がどのように生まれ、批判され、発展してきたか	事前学習： 教科書の該当部分を読んでおく 事後学習： 心理学の歴史について復習する	4
15 まとめ	事前学習： これまでのプリントや教科書を読んでおく 事後学習： 新たに分かったこと、疑問点などをまとめる	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0005	日本語表現	生田 美秋	後期	選択	講義・実習	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 キャリア人材のための日本語力アップの講座です。就職活動で企業が学生に求める資質の第一位はコミュニケーション能力です。話す力、伝える力、書く力、読む力をつけることによりコミュニケーション能力を高め、就職に役立つ実践的な授業を行います。日本語検定3級問題集（短大卒レベル）の回答、星野リゾートの必読ビジネス書紹介などを、ディスカッション、実演、発表などアクティブラーニングの手法を取り入れて、楽しく確実に実力が身につくよう指導します。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	グローバル社会で活躍できる日本語の表現力を身につける。	受講態度	20	5	日本語検定3級問題集読解の受講態度が充分定着している。			
				4	日本語検定3級問題集読解の受講態度がおおむね定着している。			
				3	日本語検定3級問題集の受講態度が定着していない。			
				2	日本語検定3級問題集の受講態度が定着していない。			
				1	日本語検定問題集3級読解に対する意欲が認められない。			
専門的知識・技術	キャリアとしてめざす目標についてレポートを作成する。	レポート	20	5	学習内容を充分ふまえたレポートが作成できた。			
				4	学習内容をふまえたレポートがおおむね作成できた。			
				3	学習内容をふまえたレポートが書いている。			
				2	レポートとして不十分などところがある。			
				1	レポートが作成できていない。			
コミュニケーション力	自己紹介の下書きを作成し、相手に自己アピールできる力を付ける。	レポート	20	5	コミュニケーションツールとして正しい日本語表現ができる。			
				4	コミュニケーションツールとして正しい日本語表現がおおむねができる。			
				3	コミュニケーションツールとして正しい日本語をそれなりに使いこなしている。			
				2	日本語によるコミュニケーションにやや課題がある。			
				1	日本語によるコミュニケーションに課題がある。			
実践力	理由と根拠を示して大学または授業の改善策を提案する。	レポート	20	5	理由と根拠を示して説得力のある提案になっている。			
				4	理由と根拠を示しておおむね説得力のある提案になっている。			
				3	理由と根拠が充分でないために提案の説得力がやや弱い。			
				2	理由と根拠が充分でないために説得力のある提案になっていない。			
				1	理由と根拠がなく提案にまったく説得力がない。			
向上心・責任感	グループ学習において責任ある行動がとれる。	受講態度	20	5	充分責任ある行動がとれている。			
				4	おおむね責任ある行動がとれている。			
				3	おおむね協調性ある行動がとれている。			
				2	あまり責任ある行動がとれていない。			
				1	責任ある行動や協調性が認められない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： なし。適宜A4サイズのプリントを配布します。ファイルを購入してプリントを綴じて置いてください。 参考書： テーマに合わせて適宜紹介します。								
【その他】 提出いただいたレポートのフィードバックを行います。 毎回行う日本語検定3級の読解は結果（点数）ではなく、学習内容の定着を目的としています。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション、話す力①挨拶	事前学習： シラバスの内容を理解する。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
2 話す力②自己紹介、ショートスピーチ レポート提出「自己紹介文の下書き」	事前学習： 自己紹介文の下書きを作成する。事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	6
3 話す力③改まった話し方、プレゼンテーション	事前学習： 事前課題に取り組む 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
4 話す力④敬語の役割	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
5 話す力⑤敬語を使って話す	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
6 伝える力①話を聞く	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
7 伝える力②わかりやすく伝える	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
8 伝える力③説明する	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
9 伝える力④理由と根拠を示す レポート提出「大学または授業の改善提案」	事前学習： レポート下「大学または授業の改善提案」を作成する。事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	6
10 書く力①説明する	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
11 書く力②レポートを書く	事前学習： レポート下「キャリアとしてめざす目標」を作成する。事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	6
12 書く力③書いた文を見直す	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
13 書く力④手紙、履歴書、エントリーシート	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
14 読む力①音読したい名作（韻文）	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 授業の学習内容を理解する。	3
15 まとめ、読む力②音読したい名作（散文）	事前学習： 事後学習： これまでの授業を振り返る	3

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CA0008	コンピュータ基礎演習A	阿久津 毅	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 IT機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、IT機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、マナーを習得することを図る。主にメールにおける文書作成法・マナー・メーカーの使い方、さらにインターネット社会に必要なセキュリティに関する知識を深め、安全に個人・組織の活動を安全に行う実践力を養う。またワードによる文書作成、特殊印刷、セキュリティに配慮した文書の保存方法などを中心に体験してもらうことによって、自ら応用していく力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人のマナーやルールや基礎知識を身につける	確認テスト	40	5	確認テストにおいて90%以上の正答率			
				4	確認テストにおいて80%以上の正答率			
				3	確認テストにおいて70%以上の正答率			
				2	確認テストにおいて60%以上の正答率			
				1	確認テストにおいて59%以下の正答率			
実践力	インターネットセキュリティに関する知識を身につける。	確認テスト	15	5	授業で行われる小テストで90%以上をクリア。			
				4	授業で行われる小テストを80%以上のクリア。			
				3	授業で行われる小テストを70%以上のクリア。			
				2	授業で行われる小テストを60%以上のクリア。			
				1	授業で行われる小テストを59%以下のクリア。			
向上心・責任感	ICT機器を利用したドキュメントを作成できる。	作品	45	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。			
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。			
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。			
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。			
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 利用せず 参考書： PC室のLANやインターネットを利用して練習問題などを配布。授業内の実演の撮影は許可する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 「コンピュータと社会～第4次産業革命 (Society 5.0、データ駆動型社会、AI、Iot)～」 オリエンテーション 確認テスト	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく 事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2 メーラーの利用方法 確認テスト	事前学習： 第1回の演習内容の復習 事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3 メール文書の作成法 確認テスト	事前学習： 第2回の演習内容の復習 事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4 セキュリティ (組織編) 確認テスト	事前学習： 第3回の演習内容の復習 事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5 セキュリティ (個人編) 確認テスト	事前学習： 第4回の演習内容の復習 事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6 ワード:ビジネス文書の作成② 確認テスト	事前学習： 第5回の演習内容の復習 事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7 ワード:ビジネス文書の作成③ 確認テスト	事前学習： 第5, 6回の演習内容の復習 事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8 ワード:アンケート文書の作成① 確認テスト	事前学習： 第5, 6, 7回の演習内容の復習 事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9 ワード:アンケート文書の作成② 確認テスト	事前学習： 第8回の演習課題の復習 事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10 ワード:アンケート文書の作成③ 確認テスト	事前学習： 第8, 9回までの内容を確認する 事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11 ワード:スタイルを利用した文書の作成① 確認テスト	事前学習： 第8, 9, 10回までの内容を確認する 事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12 ワード:スタイルを利用した文書の作成② 確認テスト	事前学習： 第11回の演習内容の復習 事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13 ワード:スタイルを利用した文書の作成③ 確認テスト	事前学習： 第11, 12回の演習内容の復習 事後学習： 第11, 12, 13回の演習内容の復習	1時間
14 ワード:差し込みなど特殊印刷① 確認テスト	事前学習： 第1～13回の演習内容の復習 事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15 まとめ 確認テスト	事前学習： 第1～14回の演習内容の復習 事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CA0009	コンピュータ基礎演習B	阿久津 毅	後期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 IT機器を利用して学校においては学習を、社会においては業務をおこなうことは現代社会において必須である。本授業では、IT機器の基本的な操作方法・アプリケーションの使用法を学ぶとともに、社会人として必要なスキルを習得することを図る。また、エクセルの一般的な四則演算や関数を利用して代表値の計算、偏差などのデータ処理を行い、度数分布表作成し、ヒストグラムなどのグラフ化するなどアンケート調査の報告を例題にビジュアル的な要素を含めてドキュメントを作成する能力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標(規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	コンピュータに係る計算や基礎知識を有する	確認テスト	30	5	確認テストにおいて90%以上の正答率			
				4	確認テストにおいて80%以上の正答率			
				3	確認テストにおいて70%以上の正答率			
				2	確認テストにおいて60%以上の正答率			
				1	確認テストにおいて59%以下の正答率			
実践力	アプリの機能を利用して、データの処理やグラフを作成することができる。	作品	30	5	ドキュメント内の課題を90%以上のクリア。			
				4	ドキュメント内の課題を80%以上のクリア。			
				3	ドキュメント内の課題を70%以上のクリア。			
				2	ドキュメント内の課題を60%以上のクリア。			
				1	ドキュメント内の課題を59%以下のクリア。			
向上心・責任感	ICT機器を利用したデータ処理ができる	確認テスト	40	5	授業で出される課題の90%以上の提出である。			
				4	授業で出される課題の80%以上の提出である。			
				3	授業で出される課題の70%以上の提出である。			
				2	授業で出される課題の60%以上の提出である。			
				1	授業で出される課題の59%以下の提出である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 【履修条件】 コンピュータ基礎演習AにてGPA1.0以上を獲得していること 教科書： 利用せず 参考書： P C室のLANなどを利用して練習問題などを配布。授業内の実演は撮影は許可する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックとして、課題・制作物の提出の次の授業の時に模範解答実演などを行う。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 エクセルの基本 確認テスト	事前学習： 高等学校の「情報」の教科書を読み返しておく 事後学習： 第1回の演習内容の復習	1時間
2 エクセルの基本の書式 確認テスト	事前学習： 第1回の演習内容の復習 事後学習： 第2回の演習内容の復習	1時間
3 エクセルの四則演算 確認テスト	事前学習： 第2回の演習内容の復習 事後学習： 第3回の演習内容の復習	1時間
4 エクセルの関数利用 LEVEL1 確認テスト	事前学習： 第3回の演習内容の復習 事後学習： 第4回の演習内容の復習	1時間
5 エクセルの関数利用 LEVEL2 範囲指定 確認テスト	事前学習： 第4回の演習内容の復習 事後学習： 第5回の演習内容の復習	1時間
6 エクセルの関数利用 LEVEL4 条件付き 確認テスト	事前学習： 第5回の演習内容の復習 事後学習： 第6回の演習内容の復習	1時間
7 エクセルの関数利用 LEVEL5 複数条件付き 確認テスト	事前学習： 第4, 5, 6回の演習内容の復習 事後学習： 第7回の演習内容の復習	1時間
8 エクセル 条件付き書式 確認テスト	事前学習： 前回までの演習内容の復習 事後学習： 第8回の演習内容の復習	1時間
9 エクセル 大量データの扱い ① 確認テスト	事前学習： 第8回の演習課題の復習 事後学習： 第9回の内容を確認する	1時間
10 エクセル 大量データの扱い ② 確認テスト	事前学習： 第9回までの内容を確認する 事後学習： 第10回の内容を確認する	1時間
11 エクセル グラフ作成 ① 確認テスト	事前学習： 第9, 10回までの内容を確認する 事後学習： 第11回の演習内容の復習	1時間
12 エクセル グラフ作成 ② 確認テスト	事前学習： 第11回の演習内容の復習 事後学習： 第12回の演習内容の復習	1時間
13 エクセル グラフ作成 ③ 確認テスト	事前学習： 第11, 12回の演習内容の復習 事後学習： 第11, 12, 13回の演習内容の復習	1時間
14 エクセルのセキュリティ 確認テスト	事前学習： 第1～13回の演習内容の復習 事後学習： 第14回の演習内容の復習	1時間
15 まとめ 確認テスト	事前学習： 第1～14回の演習内容の復習 事後学習： 授業内全課題の確認	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0015	総合英語A	酒井 志麻	前期	必修	演習	1	○	1
<p>【授業のねらい及び身につく能力】</p> <p>基本的な文法や語彙を復習しつつ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を総合的に上達させることを目指す。日本語話者が間違えやすい表現などを重点的に学び、実践の場で役立つ英語の知識を獲得する。ペアワークなどを通して、他者と英語で会話をする姿勢を身につける。</p>								
<p>【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	学修した英文法や語彙を理解して身につけ、英文読解や英作文に活用することができる	確認テスト	45	5	学期中に学修した内容を十分に理解して身につけ、応用することができる。(1回実施)			
				4	学期中に学修した内容を理解して身につけ、ある程度応用することができる。(1回実施)			
				3	学期中に学修した内容をある程度理解し、身につけている。(1回実施)			
				2	学期中に学修した内容を理解しているが、身につけていない。(1回実施)			
				1	学期中に学修した内容を理解できていない。(1回実施)			
社会人基礎スキル	各単元で学んだ文法や語彙を理解し、身につけている	確認テスト	30	5	授業で学んだ英文法と語彙を完全に習得している。(6回実施)			
				4	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得している。(6回実施)			
				3	授業で学んだ英文法と語彙をある程度習得している。(6回実施)			
				2	授業で学んだ英文法と語彙を少し習得している。(6回実施)			
				1	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得していない。(6回実施)			
コミュニケーション力	授業の目標を達成するために、他者と協力して課題に取り組める	受講態度	25	5	授業の内容や講師の指示を正確に理解し、他者と協力して意欲的に課題に取り組めた。			
				4	授業の内容や講師の指示をほぼ理解し、他者と協力して課題に取り組めた。			
				3	授業の内容や講師の指示を聞き、ある程度は他者と協力して課題に取り組めた。			
				2	授業の内容や講師の指示への理解が不足し、他者と協力して課題に取り組むことが難しかった。			
				1	授業の内容や講師の指示を聞き取れず、他者と協働して課題に取り組むことができなかった。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】</p> <p>教科書： 森田彰、飯尾牧子、橋本健広、佐竹幸信、角田麻里、Taron Plaza『TARGET! intermediate 総合英語のターゲット演習【中級】』（金星堂）</p> <p>参考書： 授業内で適宜提示する</p>								
<p>【その他】</p> <p>単語や文法の確認テスト、学期末の確認テストは次回の授業でフィードバックを行う。</p> <p>中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目</p>								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション、Unit1: Let's Clean Up! 英語で自己紹介、リスニング	事前学習: 英語で簡単な自己紹介ができるように準備しておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
2 Unit1: Let's Clean Up! 文法の確認と練習	事前学習: Unit1 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
3 Unit2: Human Society 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit1の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
4 Unit2: Human Society 文法の確認と練習	事前学習: Unit2 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
5 Unit3: Express Yourself with Emoji! 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit2の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
6 Unit3: Express Yourself with Emoji! 文法の確認と練習	事前学習: Unit3 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
7 Unit4: Good Sleep, Good Health 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit3の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
8 Unit4: Good Sleep, Good Health 文法の確認と練習	事前学習: Unit4 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
9 Unit5: Job Interview Success 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit4の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
10 Unit5: Job Interview Success 文法の確認と練習	事前学習: Unit5 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
11 Unit6: Dress Your Own Way 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit5の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
12 Unit6: Dress Your Own Way 文法の確認と練習	事前学習: Unit6 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
13 Unit7: New Ways to Travel 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit6の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
14 前期末確認テスト、Unit7: New Ways to Travel 文法の確認と練習	事前学習: 前期の授業内容をすべて復習する 事後学習: 授業内容の復習をする	1
15 確認テストのフィードバック、前期の復習とまとめ	事前学習: 前期の授業内容をすべて復習する 事後学習: 前期の授業内容、確認テストで間違えた箇所の復習をする	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0015	総合英語A	大山 健一	前期	必修	演習	1	○	1
<p>【授業のねらい及び身につく能力】 「学校文法論」を理論的にかつ実践的に習得することを目的とします。品詞と文法を焦点に当て、英語コミュニケーションに関連する英語4技能（5領域）向上を目指します。言語学的方法により、言語コミュニケーションスキルを学びます。</p>								
<p>【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	生活者・社会人としてグローバル社会の中でも通用する教養やマナーを身につけることができる	レポート	50	5	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を十分に理解している			
				4	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解している			
				3	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をある程度理解している			
				2	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をほとんど理解していない			
				1	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解していない			
コミュニケーション力	グループ学習や実験実習等において他者とかかわることで他者を尊重し協力して問題解決をすることができる	受講態度	50	5	指示を正確に聞き取り、他者と協力して、十分に協働学習に取り組んだ			
				4	指示をほぼ聞き取り、他者と協力して、協働学習に取り組んだ			
				3	指示を聞き取り、他者と協力して、ある程度は協働学習に取り組んだ			
				2	指示が十分に聞き取れず、他者との協働学習が不十分だった			
				1	指示が聞き取れず、他者との協働学習ができなかった			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】 教科書： 倉田誠・Smith, C. ・横山仁視・石川保茂・松田早恵『New Strategies for Stronger English Skills』（金星堂） 参考書： 授業時に随時実施</p>								
<p>【その他】 課題等のフィードバックは授業時に随時実施 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目</p>								

[授業の内容・スケジュール]		[準備学習の内容]	目安時間(時間)
1	オリエンテーション 授業の進め方	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
2	事前指導 英語4技能と2能力	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
3	冠詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
4	冠詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
5	不可算名詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
6	不可算名詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
7	比較(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
8	比較(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
9	前置詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
10	前置詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
11	動名詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
12	動名詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
13	不定詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
14	不定詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
15	まとめ 総括	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0015	総合英語A	大塚 節生	前期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 1人1人が積極的に授業に参加し、楽しみながら学んでいく為に、ロール・プレイを中心に、双方向授業を展開していく。大学教養レベルの英語能力（読む・書く・話す・聴くの4技能）を身に付ける。また、単元ごとに関連する文法や英文も扱うことで、4技能をバランスよく向上させていく。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	授業目標を達成するためにグループで協力し学習できる。	受講態度	10	5	講師からの指示を正確に聴き取り、他者と協力して、十分に協力的学習 (Cooperative Learning) に取り組んだ。			
				4	講師からの指示をほぼ聴き取り、他者と協力して、協力的学習に取り組んだ。			
				3	講師からの指示を聴き取り、他者と協力して、ある程度は協力的学習に取り組んだ。			
				2	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力的学習が不十分だった。			
				1	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力的学習ができなかった。			
社会人基礎スキル	学習した英語句や文法を、確認テストに応用することができる。	確認テスト	40	5	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストが十分にできている。			
				4	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストができている。			
				3	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストがある程度できている。			
				2	既習内容（英文法、英語句）をある程度理解しているが、確認テストに応用できていない。			
				1	既習内容（英文法、英語句）の理解が不十分で、実践状況での応用もできていない。			
社会人基礎スキル	基礎英文法、語句の意味や使い方を正確に理解し、実践的な状況での英語をライティングやリーディングに応用することができる。	確認テスト	50	5	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を十分に理解している。			
				4	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解している。			
				3	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）をある程度理解している。			
				2	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を殆ど理解していない。			
				1	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解していない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： Kadoyama, Teruhiko and Live ABC Editor 著(2021); Live Escalate Book 1: Base Camp; SEIBIDO 参考書： DK著; English for Everyone: Practice Book Level 1 Beginner								
【その他】 筆記試験のフィードバックを行う。また、毎回、授業中、担当教員との会話練習を通して、学生1人1人の会話力を評価していく（必要ならば、スピーキング・テストを実施する予定）。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス・アサインメント等の説明 Unit 1: Meeting New People (pp.10-15)	事前学習: テキストの内容 (p.13) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.13) を繰り返し音読をする!	1
2 Unit 1: Meeting New People (pp.16-19)	事前学習: テキストのリーディング (p.16) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.16) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
3 Unit 2: School Life (pp.20-25)	事前学習: テキストの内容 (p.23) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.23) を繰り返し音読をする!	1
4 Unit 2: School Life (pp.26-29)	事前学習: テキストのリーディング (p.26) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.26) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
5 Unit 3: Seeing A Doctor (pp.30-35)	事前学習: テキストの内容 (p.33) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.33) を繰り返し音読をする!	1
6 Unit 3: Seeing A Doctor (pp.36-39)	事前学習: テキストのリーディング (p.36) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.36) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
7 Unit 4: Expressing Yourself (pp.40-45)	事前学習: テキストの内容 (p.43) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.43) を繰り返し音読をする!	1
8 確認テスト	事前学習: テスト対策を十分しておく! 事後学習: 間違った部分や出来なかった部分を復習しておく!	1
9 Unit 4: Expressing Yourself (pp.46-49)	事前学習: テキストの内容 (p.46) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.46) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
10 Unit 5: Getting Around (pp.50-55)	事前学習: テキストの内容 (p.53) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.53) を繰り返し音読をする!	1
11 Unit 5: Getting Around (pp.56-59)	事前学習: テキストの内容 (p.56) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.56) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
12 Unit 6: Talking about the Time (pp.60-65)	事前学習: テキストの内容 (p.63) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.63) を繰り返し音読をする!	1
13 Unit 6: Talking about the Time (pp.66-69)	事前学習: テキストの内容 (p.66) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの単語 (p.66) を書ける様に練習する!	1
14 確認テスト	事前学習: Unit 1からUnit 6の英文を繰り返し読んでおく! 事後学習: 分からなかった問題を出来る様にしておく!	1
15 まとめと会話練習・必要なら講師アンケートを実施	事前学習: 前期で学習した項目の不明点を確認しておく。 事後学習: 授業中に確認した内容を復習しておく。	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0016	総合英語B	酒井 志麻	後期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 基本的な文法や語彙を復習しつつ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を総合的に上達させることを目指す。 日本語話者が間違えやすい表現などを重点的に学び、実践の場で役立つ英語の知識を獲得する。 ペアワークなどを通して、他者と英語で会話をする姿勢を身につける。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	学修した英文法や語彙を理解して身につけ、英作文やスピーキングに応用することができる	確認テスト	45	5	学期中に学修した内容を十分に理解して身につけ、応用することができる。(1回実施)			
				4	学期中に学修した内容を理解して身につけ、ある程度応用することができる。(1回実施)			
				3	学期中に学修した内容をある程度理解し、身につけている。(1回実施)			
				2	学期中に学修した内容を理解しているが、身につけていない。(1回実施)			
				1	学期中に学修した内容を理解できていない。(1回実施)			
社会人基礎スキル	各単元で学んだ文法や語彙を理解し、身につけている	確認テスト	30	5	授業で学んだ英文法と語彙を完全に習得している。(6回実施)			
				4	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得している。(6回実施)			
				3	授業で学んだ英文法と語彙をある程度習得している。(6回実施)			
				2	授業で学んだ英文法と語彙を少し習得している。(6回実施)			
				1	授業で学んだ英文法と語彙を十分に習得していない。(6回実施)			
コミュニケーション力	授業の目標を達成するために、他者と協力して課題に取り組める	受講態度	25	5	授業の内容や講師の指示を正確に理解し、他者と協力して意欲的に課題に取り組めた。			
				4	授業の内容や講師の指示をほぼ理解し、他者と協力して課題に取り組めた。			
				3	授業の内容や講師の指示を聞き、ある程度は他者と協力して課題に取り組めた。			
				2	授業の内容や講師の指示への理解が不足し、他者と協力して課題に取り組むことが難しかった。			
				1	授業の内容や講師の指示を聞き取れず、他者と協働して課題に取り組むことができなかった。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 森田彰、飯尾牧子、橋本健広、佐竹幸信、角田麻里、Taron Plaza『TARGET! intermediate 総合英語のターゲット演習【中級】』（金星堂） 参考書： 授業寧で適宜提示する								
【その他】 単語や文法の確認テスト、学期末の確認テストは次回の授業でフィードバックを行う。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 Unit8: Sports Anytime, Anywhere 文法の確認と練習、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit8 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
2 Unit9: How Do You Enjoy Music? 文法の確認と練習、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit9 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
3 Unit10: Choose What Color to Paint 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit8, Unit9の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
4 Unit10: Choose What Color to Paint 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit10 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
5 Unit11: The Future of Food 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit10の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
6 Unit11: The Future of Food 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit11 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
7 Unit12: To Gain Experience in Business 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit11の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
8 Unit12: To Gain Experience in Business 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit12 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
9 Unit13: Science We Should Know 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit12の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
10 Unit13: Science We Should Know 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit13 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
11 Unit14: Apps That Change Your Life 単語と文法の確認テスト、リスニング、スピーキング	事前学習: Unit13の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
12 Unit14: Apps That Change Your Life 文法の確認と練習、ライティング	事前学習: Unit14 Reading の語句を調べておく 事後学習: 授業内容の復習をする	1
13 Unit15: If We Did Nothing for the Environment… 単語と文法の確認テスト、文法の確認とスピーチ練習	事前学習: Unit14の単語や文法の復習をする 事後学習: 授業内容の復習をして、後期末確認テストに備える	1
14 後期末確認テスト(文法、語彙、スピーチ)	事前学習: 後期の授業内容をすべて復習する。スピーチの練習をする 事後学習: 授業内容の復習をする	1
15 確認テストのフィードバック、後期の復習とまとめ	事前学習: 後期の授業内容をすべて復習する 事後学習: 後期の授業内容、確認テストで間違えた箇所の復習をする	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CA0016	総合英語B	大山 健一	後期	必修	演習	1	○	1
<p>【授業のねらい及び身につく能力】 「学校文法論」を理論的にかつ実践的に習得することを目的とします。品詞と文法を焦点に当て、英語コミュニケーションに関連する英語4技能（5領域）向上を目指します。言語学的方法により、言語コミュニケーションスキルを学びます。</p>								
<p>【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （標準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	生活者・社会人としてグローバル社会の中でも通用する教養やマナーを身につけることができる	レポート	50	5	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を十分に理解している			
				4	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解している			
				3	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をある程度理解している			
				2	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）をほとんど理解していない			
				1	学期中に学修した内容（語句、表現、文法等）を理解していない			
コミュニケーション力	グループ学習や実験実習等において他者とかかわることで他者を尊重し協力して問題解決をすることができる	受講態度	50	5	指示を正確に聞き取り、他者と協力して、十分に協働学習に取り組んだ			
				4	指示をほぼ聞き取り、他者と協力して、協働学習に取り組んだ			
				3	指示を聞き取り、他者と協力して、ある程度は協働学習に取り組んだ			
				2	指示が十分に聞き取れず、他者との協働学習が不十分だった			
				1	指示が聞き取れず、他者との協働学習ができなかった			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】 教科書： 倉田誠・Smith, C. ・横山仁視・石川保茂・松田早恵『New Strategies for Stronger English Skills』（金星堂） 参考書： 授業時に随時実施</p>								
<p>【その他】 課題等のフィードバックは授業時に随時実施 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目</p>								

[授業の内容・スケジュール]	[準備学習の内容]	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 授業の進め方	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
2 事前指導 英語4技能と2能力	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
3 分詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
4 分詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
5 名詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
6 名詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
7 接続表現(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
8 接続表現(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
9 動詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
10 動詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
11 動詞(3) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
12 動詞(4) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
13 助動詞(1) 語彙・文法	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
14 助動詞(2) 4技能練習	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2
15 まとめ 総括	事前学習：教科書の該当箇所をよく読み、何が理解できないのか、何処まで理解できているのかを把握した上で授業に望むこと(1時間) 事後学習：教科書の該当箇所をよく読み、理解した上で具体例が挙げられること(1時間)	2

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0016	総合英語B	大塚 節生	後期	必修	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 前期に学修した内容を受け、後期も1人1人が楽しみながらロール・プレイを中心とした双方向の授業に参加していく。大学教養レベルの英語能力（読む・書く・話す・聴くの4技能）を確実に身に付けていきながら、テキストの単元ごとにある文法やパッセージも扱うことで、4技能をバランスよく向上させていく。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	授業目標を達成するためにグループで協力し学習できる。	受講態度	10	5	講師からの指示を正確に聴き取り、他者と協力して、十分に協力学習（Cooperative Learning）に取り組んだ。			
				4	講師からの指示をほぼ聴き取り、他者と協力して、協力学習に取り組んだ。			
				3	講師からの指示を聴き取り、他者と協力して、ある程度は協力学習に取り組んだ。			
				2	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力学習が不十分だった。			
				1	講師からの指示が十分に聴き取れず、他者との協力学習ができなかった。			
社会人基礎スキル	学習した英語句や文法を、確認テストに応用することができる。	確認テスト	40	5	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストが十分にできている。			
				4	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストができている。			
				3	既習内容（英文法、英語句）を理解し、それを応用した確認テストがある程度できている。			
				2	既習内容（英文法、英語句）をある程度理解しているが、確認テストに応用できていない。			
				1	既習内容（英文法、英語句）の理解が不十分で、実践状況での応用もできていない。			
社会人基礎スキル	基礎英文法、語句の意味や使い方などを正確に理解し、実践的な状況での英語をライティングやリーディングに応用することができる。	確認テスト	50	5	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を十分に理解している。			
				4	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解している。			
				3	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）をある程度理解している。			
				2	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を殆ど理解していない。			
				1	学期中に学修した内容（英語句、表現、文法等）を理解していない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： Kadoyama, Teruhiko and Live ABC Editor 著(2021); Live Escalate Book 1: Base Camp; SEIBIDO 参考書： DK著; English for Everyone: Practice Book Level 1 Beginner								
【その他】 筆記試験のフィードバックを行う。また、毎回、授業中、担当教員との会話練習を通して、学生1人1人の会話力を評価していく（必要ならば、スピーキング・テストを実施する予定）。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス・アサインメント等の説明 Unit 7: Eating Out (pp.74-79)	事前学習: テキストの内容 (p.77) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.77) を繰り返し音読をする!	1
2 Unit 7: Eating Out (pp.80-83)	事前学習: テキストのリーディング (p.80) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.80) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
3 Unit 8: At the Supermarket (pp.84-89)	事前学習: テキストの内容 (p.87) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.87) を繰り返し音読をする!	1
4 Unit 8: At the Supermarket (pp.90-93)	事前学習: テキストのリーディング (p.90) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.90) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
5 Unit 9: Hobbies (pp.94-99)	事前学習: テキストの内容 (p.97) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.97) を繰り返し音読をする!	1
6 Unit 9: Hobbies (pp.100-103)	事前学習: テキストのリーディング (p.100) で、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.100) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
7 Unit 10: Shop Till You Drop (pp.104-109)	事前学習: テキストの内容 (p.107) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.107) を繰り返し音読をする!	1
8 確認テスト	事前学習: テスト対策を十分しておく。 事後学習: 間違った部分や出来なかった部分を復習しておく。	1
9 Unit 10: Shop Till You Drop (pp.110-113)	事前学習: テキストの内容 (p.110) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.110) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
10 Unit 11: Going on Vacation (pp.114-119)	事前学習: テキストの内容 (p.117) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.117) を繰り返し音読をする!	1
11 Unit 11: Going on Vacation (pp.120-123)	事前学習: テキストの内容 (p.120) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの英文 (p.120) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
12 Unit 12: Sports (pp.124-129)	事前学習: テキストの内容 (p.127) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: 授業で扱った英文 (p.127) を繰り返し音読をする!	1
13 Unit 12: Sports (pp.130-133)	事前学習: テキストの内容 (p.130) を読んで、不明な単語・熟語等を調べる。 事後学習: テキストの単語 (p.130) を、暗唱出来るまでに繰り返し音読をする!	1
14 確認テスト	事前学習: Unit 7からUnit 12の英文を繰り返し読んでおく。 事後学習: 分からなかった問題を出来る様にしておく。	1
15 まとめと会話練習・必要なら講師アンケートを実施	事前学習: 前期で学習した項目の不明点を確認しておく。 事後学習: 授業中に確認した内容を復習しておく。	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング	
CA0017	スポーツ理論・実技A	伊坪 有紀子	前期	必修	講義・実技	1	○	1	
【授業のねらい及び身につく能力】 スポーツを通して社会人基礎力を育成し、健康的で文化的な生活を送るための主体的な身体への働きかけを身につけることを目指す。スポーツの基本的な知識と技能を学ぶ過程では、協調性やリーダーシップなどの能力が養われ、生涯にわたる学習へと発展していく。また、身体組成や体力の測定・分析方法を学ぶことで、健康の維持増進や自己管理の重要性を理解し、それらを日常生活で実践する力を身につける。									
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】									
学修成果評価			成績評価						
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価					
				評価観点					
社会人基礎スキル	社会人基礎力を高めるための目標設定と振り返りによる実践確認ができる	レポート	60	5	社会人基礎力と結びついた具体的で実現可能な目標を設定し、深い振り返りを毎回提出して改善点と次の行動計画を明確に示している。				
				4	社会人基礎力との関連を踏まえた概ね具体的な目標を設定し、分析や改善点を含む振り返りをほぼ毎回提出して次の行動につなげている。				
				3	抽象的ながら目標を設定し、事実中心の振り返りを一定の頻度で提出しているが、改善点の提示が不十分である。				
				2	目標設定が不十分で社会人基礎力との関連が弱く、内容も表面的にとどまっているが、一定の頻度で振り返りの提出ができる。				
				1	目標設定や振り返りの内容は不十分であるものの、最低限の提出が行われており、学習への取り組みがcaろうじて確認できる。				
コミュニケーション力	スポーツの準備・実践・片付けを他者との関わりの中で行うことができ、チームの中の役割を発見できる	受講態度	10	5	準備・実践・片付けのすべてに毎回積極的に参加し、他者と協力しながらチーム内での役割を自ら発見し遂行している。				
				4	準備・実践・片付けにほぼ毎回参加し、他者との協力を通してチーム内での役割を概ね理解し行動している。				
				3	準備・実践・片付けに一定の頻度で参加し、他者との関わりの中で役割を意識しているが、行動としては不十分な場面がある。				
				2	準備・実践・片付けへの参加が散発的で、他者との協力や役割理解が表面的にとどまり、チームへの貢献が限定的である。				
				1	準備・実践・片付けへの参加は最低限にとどまるものの、他者との関わりの中で役割を理解しようとする姿勢がcaろうじて確認できる。				
実践力	健康について知り将来について考え行動することができる	レポート	20	5	運動の効果を科学的に理解し、自分の健康状態や将来を踏まえて高度に適切な運動処方をも自立的に作成できる。				
				4	運動の効果を十分に理解し、自分に合った運動処方を適切に作成できる。				
				3	運動の効果を基本的に理解し、支援を受けながら自分に合った運動計画を作成できる。				
				2	運動の効果を部分的に理解しているが、運動処方の作成には多くの支援を必要とする。				
				1	運動の効果を理解が不十分で、運動処方を作成することができない。				
実践力	スポーツのルールと基本技術を知り、実践することができる	確認テスト	10	5	スポーツのルールを十分に理解し、基本技術を高い精度で実践するとともに、毎回の活動で他者に分かりやすく指導・説明できている。				
				4	スポーツのルールと基本技術を概ね理解し、ほぼ毎回の活動で適切に実践しながら、他者への説明もおおむね分かりやすく行っている。				
				3	スポーツのルールと基本技術を一定程度理解し、実践もできているが、他者への説明は不十分で、伝え方に改善の余地がある。				
				2	スポーツのルールや基本技術の理解が不十分で、実践や他者への説明も安定せず、活動への参加も散発的である。				
				1	スポーツのルールや基本技術の理解は限定的だが、最低限の実践参加と、他者に伝えようとする姿勢がcaろうじて確認できる。				
				5					
				4					
				3					
				2					
				1					
				5					
				4					
				3					
				2					
				1					
【教科書・参考書】 教科書： 参考書：									
【その他】 レポートのフィードバックを行う。 中学校教諭 2 種免許状（家庭）の必修科目 実技時間では安全のため運動に適した服装・態度を求める。見学は認めない。									

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ガイダンス 講義 レポート提出	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 授業の振り返りを行う	4時間
2 体力・身体組成 測定 プレ レポート提出	事前学習: 体調を整えておく 事後学習: 自分の体力について考察する	1時間
3 バスケットボール 歴史・基本トレーニング レポート提出	事前学習: バスケットボールについて調べる 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
4 バスケットボール ルール レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
5 バスケットボール ゲーム1 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
6 バスケットボール ゲーム2 実技テスト レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと反省	1時間
7 バドミントン 基本 ルール レポート提出	事前学習: バドミントンについて調べる 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
8 バドミントン シングルス レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと反省	1時間
9 バドミントン ダブルス① レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
10 バドミントン ダブルス② レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
11 バドミントン テスト ゲーム 実技・ルールテスト レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
12 体力・身体組成 測定 ポスト レポート提出	事前学習: 体調を整えておく 事後学習: 自分の体力について考察する	1時間
13 体力変化の考察 講義 レポート提出	事前学習: 日常生活を振り返る 事後学習: 自分の体力について考察する	4時間
14 トレーニングの科学 講義 レポート提出	事前学習: 日常生活を振り返る 事後学習: 学んだことを生活の中で確認する	4時間
15 運動処方 講義 レポート提出	事前学習: これまで学んだ基礎知識を確認しておく 事後学習: 学んだことを実践する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0020	キャリアデザイン論	小川 弓美子	前期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 キャリアの中には、仕事、ライフスタイル、社会接点など様々な観点が含まれている。本講座では多様化する価値観の中での自分なりの生き方、自身の探究を深めることで、『働く』ことの意味・意義を考えるとともに、未来の自分を考える機会になることを狙いとしている。また副次的に、社会の中での個人を考えることにより社会人の基礎能力を身に着けることも想定している。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	インタビューやワークを通じて社会人基礎スキルとしての敬語やマナー、納期や指示の汲み取りを理解する	レポート	70	5	作品の提出においてクオリティ、指示の明確な理解、納期遵守、チームワークの観点の問題なく遂行でき、且つリーダーシップの発揮ができていている。			
				4	作品の提出においてクオリティ、指示の明確な理解、納期遵守、チームワークの観点の問題なく遂行できている。			
				3	作品の提出においてクオリティ、指示の明確な理解、納期遵守、チームワークの観点で一部努力が必要であるが概ね達成できている。			
				2	作品の提出においてクオリティ、指示の明確な理解、納期遵守、チームワークの観点で一部努力が必要であり補助が無いと遂行できない。			
				1	作品の提出においてクオリティ、指示の明確な理解、納期遵守、チームワークの観点で努力が必要であり補助があっても遂行できない。			
向上心・責任感	自分のキャリアをデザインすることに関して、自己の認知の範囲を超え描くことができる	受講態度	30	5	キャリアデザインに関して、他者接点や情報収集に積極的に対応しクラスを牽引した。			
				4	キャリアデザインに関して、他者接点や情報収集に十分に対応した。			
				3	キャリアデザインに関して、他者接点や情報収集に対応した。			
				2	キャリアデザインに関して、他者接点や情報収集に不足がある。			
				1	キャリアデザインに関して、他者接点や情報収集ができていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 印刷物を用いる 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 レポートのフィードバックを行う。 ※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 キャリアとは キャリアの定義と現状の棚卸	事前学習： キャリアという言葉をもとに考察する 事後学習： 授業を振り返り、現状の自分の状況を考察する	4時間
2 キャリアデザインとは なりたい自分を考える	事前学習： 将来の自分のキャリアに関して考察する、身近な人のキャリアヒアリング 事後学習： 将来の自分のキャリアをデザインしまとめる	4時間
3 先輩のキャリア志向 ワーク準備	事前学習： 先輩のキャリア思考を調査する準備をする 事後学習： インタビューの実行計画を立てる	4時間
4 先輩のキャリア志向 実行と記事のまとめ	事前学習： 先輩のキャリア思考を調査する準備をする 事後学習： インタビューの実行・まとめをする	4時間
5 先輩のキャリア志向 記事の完成と公開作業	事前学習： 記事の完成 事後学習： WEB上でのUPロードの準備	4時間
6 企業で働く人々の職業観 インタビューの流れと準備	事前学習： 企業で働く人の職業観を考察する 事後学習： インタビュー対象の調査	4時間
7 企業で働く人々の職業観 インタビュー準備と計画①	事前学習： 企業で働く人へのインタビュー準備 事後学習： インタビューの実行計画を立てる	4時間
8 企業で働く人々の職業観 インタビュー準備と計画②	事前学習： 企業で働く人へのインタビュー準備 事後学習： インタビューの実行計画を立てる	4時間
9 企業で働く人々の職業観 インタビュー内容の記事化①	事前学習： インタビュー内容のプレゼン準備 事後学習： プレゼン資料の準備	4時間
10 企業で働く人々の職業観 インタビュー内容の記事化②	事前学習： インタビュー内容のプレゼン準備 事後学習： プレゼン資料の準備	4時間
11 発表・プレゼン	事前学習： プレゼン準備 事後学習： プレゼンの振り返り	4時間
12 ワーク 働き意味	事前学習： ワーク準備 事後学習： ワークを通じて、働く意味を自分なりに再考する	4時間
13 ワーク 未来を想像する	事前学習： ワーク準備 事後学習： ワークを通じて、未来像を自分なりに再考する	4時間
14 未来のプランを立てる 自分の未来の計画を立てる	事前学習： 自分の未来像を考える 事後学習： 社会に出たあとの自分を想像し、今の自分に何が必要か考察する	4時間
15 まとめアウトプット キャリアデザインとは	事前学習： キャリアデザインに関して15年後に関して考察する、プレゼン準備 事後学習： プレゼンを通して、キャリアデザインの理解を深める	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CA0021	ボランティア社会学（実習を含む）	片桐 恵子	前期	選択	講義・実習	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 身近な地域社会に対する問題意識を持ち、ボランティア精神（社会的な課題解決の為、個人の自発的な意思に基づき、原則無報酬で公益を求める態度や姿勢）を身に付けることをねらいとする。このため、授業内では学生個々の問題意識を育むために、ボランティア活動計画を作成しその上で、地域で活動・活躍しているボランティア団体で実習を行う。また、関心の持ちやすいテーマ（子ども、子育て家庭、社会的養護など）については、ボランティアで実習での振り返りやDVD視聴を踏まえ、グループディスカッションを通し学生個々の問題意識を発展させる力を養う。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	ボランティアの意義・目的を理解し、社会に貢献できる態度を身に付ける	レポート	30	5	講義内容の理解を問うレポートが極めて適切に作成されていて、提出期限が守られている。			
				4	講義内容の理解を問うレポートが適切に作成されていて、提出期限が守られている。			
				3	講義内容の理解を問うレポートがいくつか作成されていて、提出期限が守られている。			
				2	講義内容の理解を問うレポートが適切に作成されておらず、提出期限が守られていない。			
				1	講義内容の理解を問うほとんどのレポートが作成されておらず、提出期限が守られていない。			
コミュニケーション力	他者を尊重し、協力的な態度で問題の発見、解決ができる	受講態度	20	5	グループワークに積極的に参加し、他者の話を尊重し、自分の言葉で考察、発表することができる。			
				4	グループワークに参加し、他者の話を尊重し、自分の言葉で考察、発表することができる。			
				3	グループワークに参加し、他者の話を尊重し、発表することができる。			
				2	グループワークに参加しているものの、消極的である。			
				1	グループワークに参加せず、発表することができていない。			
向上心・責任感	ボランティア活動計画に基づき、向上心・責任感のあるボランティア活動を実践できる	受講態度	50	5	ボランティア活動を行い、体験した内容、得られた責任感、向上心の3つ全てが含まれた活動報告を行うことができる。			
				4	ボランティア活動を行い、体験した内容、得られた責任感、向上心の2つ全てが含まれた活動報告を行うことができる。			
				3	ボランティア活動を行い、体験した内容、得られた責任感、向上心の1つ全てが含まれた活動報告を行うことができる。			
				2	ボランティア活動を行い、活動報告を行うことができる。			
				1	ボランティア活動を行うことができる。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 適宜レジュメ、資料配布 参考書： 『保育所保育指針解説』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園・保育要領解説』（いずれもフレーベル館）								
【その他】 活動報告のフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 本科目の意義と目的	事前学習： シラバスの内容を理解する 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
2 ボランティアの歴史と課題	事前学習： 地域社会の問題を発見し、課題を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
3 地域課題の共有とボランティア活動計画	事前学習： 地域社会の身近な問題や課題を発見する 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
4 ボランティア活動の範囲と地域共生社会	事前学習： 身近なボランティア活動を支える制度や公共機関を調べる 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
5 グループで計画したボランティア活動	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
6 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
7 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
8 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
9 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
10 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
11 個人で計画したボランティア活動	事前学習： 個人で計画したボランティア活動の実施準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
12 ボランティア活動の実際	事前学習： ボランティア活動の意義を考える 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
13 ボランティア活動の報告会の準備	事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
14 ボランティア活動の報告会(グループ)	事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間
15 ボランティア活動の報告会(個人)	事前学習： ボランティア活動の報告準備をする 事後学習： 授業内容を踏まえて振り返りレポートを記入する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0028	情報処理（演習を含む）	阿久津 毅	後期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 現代社会においては、フィンテックに代表されるようにICT技術が各分野で活用されている。本授業では、人工知能やロボティクスなど各分野で利用されている事例を紹介しながら授業を進めていく。またニュースなどで取り上げられている事例も適宜取り上げていく。そのうえで、事例の理解に必要なアルゴリズムなどプログラムに関する基礎知識、セキュリティに関する最新情報を学び、今後の社会生活に必要な社会人としての思考力を養っていくことを目的とする。また、授業にはICT機器を利用した参加型授業を行うことがある。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	ICT社会に必要な基礎知識を身につけ自分の意見を論じることが出来る。	レポート	20	5	自分の意見を論理的に正しい文章表現にて表現することが出来る。			
				4	自分の意見を論理的または正しい文章表現にて表現することが出来る。			
				3	自分の意見を表現することが出来る。			
				2	自分の意見を表現することが出来ない。			
				1	自分の意見をもたない。			
向上心・責任感	メディアを活用し、最新の情報を取得し、授業内容を深めることが出来る。	受講態度	80	5	授業の内容を理解し、新たな情報を加え情報を持つことが出来る。			
				4	授業の内容を理解し、情報を持つことが出来る。			
				3	授業以外の情報を自ら積極的に持つことが出来る。			
				2	授業以外の情報を持つことが出来る。			
				1	情報をもたない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 利用せず 参考書： 授業内のパワポ資料などを自由にダウンロード可								
【その他】 授業内容について、office365を利用したFormsなどによる意見・感想を出してもらい、そのデータをもとに、次回授業においてフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 インターネット通信について	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
2 IOT (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
3 IOT (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
4 AIでなくなる仕事、残る仕事 (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
5 AIでなくなる仕事、残る仕事 (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
6 AIでなくなる仕事、残る仕事 (3)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
7 AIでなくなる仕事、残る仕事 (5)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
8 AIでなくなる仕事、残る仕事 (6)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
9 ロボットとは (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
10 ロボットとは (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
11 ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (1)	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
12 ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (2)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
13 ICTを支えるプログラミング思考 アルゴリズムの基礎 (3)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
14 コンピュータセキュリティ	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、関連するニュースなどを調べ知見を深める	4時間
15 まとめ PCを利用したレポート作成	事前学習： 1-4回までの授業の復習 事後学習： まとめの内容を確認する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0029	現代社会の課題A	加藤 智樹	集中	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 大学コンソーシアム市川の5大学連携科目。かつて下総国の国府が置かれた歴史のある町である一方、東京近郊に位置するため現代社会のさまざまな課題が見えてくるのが市川市である。現代社会の抱える諸問題を市川市の実情に照らして考察していく。現代社会の課題Aでは「市川学Ⅰ」を開講する。いずれかの科目15時間を履修し単位を修得することで、本学「現代社会の課題A」に読み替える。講師及び講座内容が決定後、大学コンソーシアム市川としてシラバスを公開する。 なお、昨年度に開講された市川学Bについても同様とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	課題をまとめる。	受講態度	50	5	各講師の要求レベルを完全に満たす。			
				4	各講師の要求レベルをおおむね満たす。			
				3	各講師の要求レベルに達する。			
				2	各講師の要求レベルにやや届かない。			
				1	各講師の要求レベルに届かない。			
社会人基礎スキル	地域社会におけるさまざまな課題を理解する。	レポート	50	5	学習内容を充分にふまえたレポートを作成する。			
				4	学習内容をおおむねふまえたレポートを作成する。			
				3	学習内容をふまえたレポートを作成する。			
				2	学習内容を充分にふまえたレポートではない。			
				1	レポートが作成できない。			
【教科書・参考書】 教科書： 担当講師がそれぞれ指示する。 参考書： テーマに合わせて適宜紹介する。								
【その他】 提出物のフィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
2 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
3 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
4 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
5 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
6 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
7 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
8 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
9 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
10 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
11 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
12 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
13 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
14 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
15 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0030	現代社会の課題B	加藤 智樹	集中	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 大学コンソーシアム市川の5大学連携科目。かつて下総国の国府が置かれた歴史のある町である一方、東京近郊に位置するため現代社会のさまざまな課題が見えてくるのが市川市である。大学コンソーシアム市川では、現代社会の抱える諸問題を市川市の実情に照らして考察していく。現代社会の課題Bでは「市川学Ⅱ」を開講する。15時間を履修し単位を修得することで、本学「現代社会の課題B」に読み替える。講師及び講座内容が決定後、大学コンソーシアム市川としてシラバスを公開する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	課題をまとめる。	受講態度	50	5	各講師の要求レベルを完全に満たす。			
				4	各講師の要求レベルをおおむね満たす。			
				3	各講師の要求レベルに達する。			
				2	各講師の要求レベルにやや届かない。			
				1	各講師の要求レベルに届かない。			
社会人基礎スキル	地域社会におけるさまざまな課題を理解する。	レポート	50	5	学習内容を充分にふまえたレポートを作成する。			
				4	学習内容をおおむねふまえたレポートを作成する。			
				3	学習内容をふまえたレポートを作成する。			
				2	学習内容を充分にふまえたレポートではない。			
				1	レポートが作成できない。			
【教科書・参考書】 教科書： 担当講師がそれぞれ指示する。 参考書： テーマに合わせて適宜紹介する。								
【その他】 提出物のフィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
2 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
3 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
4 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
5 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
6 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
7 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
8 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
9 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
10 講義 (大学コンソーシアム市川のキャンパス)	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 所定のワークシートに学習内容をまとめる。	4時間
11 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
12 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
13 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
14 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間
15 実地踏査	事前学習: 詳細決定後に指示する。 事後学習: 現地踏査の内容をレポートにまとめる。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0032	スポーツ理論・実技B(ダンス)	伊坪 有紀子	後期	選択	講義・実技	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 本授業では、ダンスに関する基礎的な知識と技能を体感的に習得するとともに、指導実践(ティーチング)を取り入れた学習活動を通して、協調性、リーダーシップ、コミュニケーション力などの社会人基礎力の育成を目指す。学習過程では、身体表現の理解や動きの構造の把握に加え、他者との協働を重視した学習環境を構築し、集団の中で役割を果たしながら課題に取り組む力を養うことを重視する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人基礎力を高めるための目標設定と振り返りによる実践確認ができる	レポート	30	5	授業内レポートを提出し、授業内容の振り返りが深く十分でき記述できる			
				4	授業内レポートを提出し、授業内容の振り返りが十分でき記述できる			
				3	授業内レポートを提出し、授業内容の振り返りができ記述できる			
				2	授業内レポートを提出し、授業内容の振り返りができる			
				1	授業内レポートを提出できる			
コミュニケーション力	ダンスの準備・実践・片付けを他者との関わりの中で行うことができ、チームの中での役割を発見できる	受講態度	30	5	授業に意欲的に取組み、上達するために考えて行動し、他者と積極的に関わることができる			
				4	授業に意欲的に取組み、上達するために行動し、他者と積極的に関わることができる			
				3	授業に取組み、上達するために考えて行動し、他者と積極的に関わることができる			
				2	授業に取組み、上達するために行動し、他者と積極的に関わることができる			
				1	授業に取組み、他者と関わることができる			
向上心・責任感	ダンスの基本技術・ルールを知り、向上心を持って人に教えることができる	作品	40	5	自分の担当について責任をもって準備し、ダンスに関する知識と技術にしっかりと取組み、それらを他者に的確かつわかりやすく伝えることができる。			
				4	自分の担当を適切に準備し、ダンスの知識と技術を理解したうえで、他者に概ねわかりやすく伝えることができる。			
				3	自分の担当を基本的に準備し、ダンスの知識と技術を理解しており、支援があれば他者に伝えることができる。			
				2	自分の担当の準備が不十分で、ダンスの知識や技術の理解も部分的であり、他者に伝える際に多くの支援を必要とする。			
				1	自分の担当について最低限の準備は行っているものの、ダンスの知識や技術の理解が十分ではなく、他者に伝えることがほとんどできない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 特になし。授業内で適時資料配布。 参考書：								
【その他】 課題や作品のフィードバックを行う。 中学校教諭 2 種免許状(家庭)の必修科目 実技時間では安全のため運動に適した服装・態度を求める。見学は認めない。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 いろいろなダンス 講義 レポート提出	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	4時間
2 ストレッチ 基本ステップ1 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
3 エアロビクス 基本ステップ2 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
4 エアロビクス 基本ステップ3 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
5 ペアダンス レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
6 ダンスショーケース 発表 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
7 ティーチング1 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
8 ティーチング2 レポート提出	事前学習: 振りを覚えてくる 事後学習: 授業の振り返りと反省	1時間
9 ティーチング3 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
10 コラボレーション1 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
11 コラボレーション2 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
12 ダンスパフォーマンス 発表 レポート提出	事前学習: 設定した課題を確認する 事後学習: 授業の振り返りと課題を設定する	1時間
13 ダンスの魅力 講義 レポート提出	事前学習: 事前課題に取り組む 事後学習: 学んだことを生活の中で確認する	4時間
14 表現の多様性 講義 レポート提出	事前学習: 事前課題に取り組む 事後学習: 自分について考察する	4時間
15 ノンバーバルコミュニケーション 講義 レポート提出	事前学習: 事前課題に取り組む 事後学習: コミュニケーションについて考察する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CA0033Q	こどもとプログラミング	菅沼恵子	集中	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
STEAM（科学・技術・工学・芸術・数学）教育で、探求と創造のサイクルを生み出す分野横断的な学びを体験することによって、実践的な問題に対処する総合的な視野を身につけることができます。あわせて、AI時代に必要なプログラミング的思考の基本を理解します。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	グループ学習においてチームで働く力、前向きに踏み出す力が身につく	受講態度	60	5	積極的に参加し、90%以上の成果が出る			
				4	積極的に参加し、80%以上の成果が出る			
				3	参加し、70%以上の成果が出る			
				2	やや消極的な参加ではあるが、60%以上の成果が出る			
				1	消極的な参加で、成果が出ない			
実践力	簡単なプログラムでアート作品やゲームを作る過程で総合的な視点をもつ実践力が身につく	作品	20	5	作品の完成度が90%以上			
				4	作品の完成度が80%以上			
				3	作品の完成度が70%以上			
				2	作品の完成度が60%程度			
				1	作品の完成度が60%未満			
向上心・責任感	グループワークにおける自己の役割を理解し、責任を果たす力が身につく	レポート	20	5	レポートとしての完成度が90%以上			
				4	レポートとしての完成度が80%以上			
				3	レポートとしての完成度が70%以上			
				2	レポートとしての完成度が60%程度			
				1	レポートとしての完成度が60%未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用せず								
参考書： 配布資料								
【その他】								
制作物について発表、講評を行う。レポートのフィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 プログラミングって何?	事前学習: プログラミングの意味、イメージについて考える 事後学習: 順番のある活動についてまとめる	4
2 アンブラグドプログラミング	事前学習: マス目迷路案を考える 事後学習: 失敗とやり直しから改善点をまとめる	4
3 Pythonを使ったお絵かきの基本	事前学習: Pythonの特徴について調べる 事後学習: 授業で未完成の部分を行う	4
4 Pythonを使ったお絵かきの応用	事前学習: 事前準備を行う 事後学習: 授業で未完成の部分を行う	4
5 Scratchを使ったゲーム作りにチャレンジ1	事前学習: Scratchについて調べる 事後学習: 授業で未完成の部分を行う	4
6 Scratchを使ったゲーム作りにチャレンジ2	事前学習: 事前準備を行う 事後学習: 授業で未完成の部分を行う	4
7 Scratchを使ったゲーム作りにチャレンジ3	事前学習: 事前準備を行う 事後学習: 授業で未完成の部分を行う	4
8 ゲームの完成と発表	事前学習: 事前準備を行う 事後学習: 自己評価をする	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CB0002	食生活論 (食品学・栄養学を含む)	栗岡 優希	前期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>本科目では食文化、食環境について学習し、時代の変化による食生活日本人のライフスタイルの多様性について理解を深めることで、食に関わる者として個々への共感やその問題点と改善策について考え、日本の食文化継承のための知識や実践力を身につける。また、食品や栄養素の知識を習得することで、食べることの重要性を理解し、個人に合わせた具体的な食事の在り方について実践に繋がる方法を検討することができる。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	インターネットを使って必要な情報を入手し、現状分析とそれに伴う課題を見つけることができる	レポート	30	5	収集した情報の分析ができ、テーマに合った問題点が的確に記載されている			
				4	収集した情報の分析ができ、問題点が記載されている			
				3	収集した情報をまとめることができ、分析が記載されている			
				2	収集した情報をまとめることができる			
				1	書式に従って記載されている			
専門的知識・技術	食文化・食品・栄養について食生活に関わる基本的な知識を習得することができる	確認テスト	30	5	評価点が90%以上			
				4	評価点が70%以上90%未満			
				3	評価点が50%以上70%未満			
				2	評価点が30%以上50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	食生活の問題点や改善方法から、個人および社会における食事の在り方を考察し、説明できる	レポート	40	5	テーマに合った内容について論理的整合性を持って多角的に考察し、明確に記載している			
				4	テーマに合った内容について多角的に考察し、明確に記載している			
				3	テーマに合った内容について考察を記載している			
				2	食生活に関する内容について自分の考えを記載している			
				1	書式に従って記載している			
【教科書・参考書】								
<p>教科書： 授業内にて適宜、配布する</p> <p>参考書： 日本フードコーディネーター協会『新フードコーディネーター教本2026』（柴田書店）、吉澤みな子ほか著『大学で学ぶ 食生活と健康のきほん』（化学同人）、丸山務ほか、新調理師養成教育全書必修編『1.食生活と健康』『2.食品と栄養の特性』（全調協）、岡崎光子著『食生活論』（光正館）</p>								
【その他】								
レポートおよび確認テストのフィードバックを行う フードコーディネーター3級の必修科目 中学校教諭2種免許状（家庭）必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 授業説明（授業形式、評価方法など）、食生活とは 食生活論の概念と食事の機能	事前学習： 「人はなぜ食事をするのか」について考えてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
2 食文化の成り立ち 風土と食文化、宗教と食物禁忌、食法と調理法の多様性	事前学習： 食に関する自分(家族)ルールを考えてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
3 食生活と健康 1 栄養素の特徴と役割、栄養	事前学習： 食生活の中で気をつけていることをまとめてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
4 食生活と健康 2 食品と原材料、食品の特徴と調理性	事前学習： 商品の食品表示欄に記載されている内容をまとめてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
5 健全な食生活とは 1 健康的維持のための食事のあり方	事前学習： 健康に関する施策を調べてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
6 健全な食生活とは 2 フードファディズム(食への偏見と固執)について考える	事前学習： 食に関する情報収集手段を調べる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
7 日本の食文化 1 食文化を形成する要因と和食の定義、行事食、儀礼食	事前学習： 和食とは何か考えてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
8 日本の食文化 2 和食の献立構成における歴史的背景と特徴	事前学習： 日本の食文化について調べてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
9 日本の食文化 3 日本の食事形式と料理、食材、食具の特徴	事前学習： 和食に関する資料を集める 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
10 日本の食に関する特徴と課題 1 食の外部化、食環境、食料自給率	事前学習： 食生活に関するニュースや話題を集める 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
11 日本の食に関する特徴と課題 2 こ食、祝い膳、和菓子、郷土料理	事前学習： 郷土料理を調べてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
12 日本の食に関する特徴と課題 3 食事作法、「いただきます」の意味	事前学習： 日本の食事作法を調べてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
13 世界の食事情 1 環境汚染、飢餓、フードファディズム	事前学習： 世界の食糧問題について調べてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
14 世界の食事情 2 世界の食文化の変遷、料理の特徴、食事作法	事前学習： 海外の料理を調べてくる 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
15 まとめ	事前学習： これまでの授業内容について、不明点や質問を整理しておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CB0003	住生活論	野間 香奈子	後期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 住生活に関する知識を、基礎から専門用語に至るまで幅広く学ぶ。 住生活を形づくる住宅の間取りや家具配置等に目を向け、現在の住まいの利便性や問題点を考える。 また、スケッチや間取り図を描く技術を身につけ、プレゼンテーション力の習得も図る。 インテリアコーディネーターとしての実務経験を活かし、最終的には自身で住宅のリフォーム及び新築のプランを考え図案化できるよう指導を行い、実生活に応用できるようにする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	住生活に関する専門的知識を身につける。	確認テスト	50	5	確認テスト1,2の合計(100点満点)が90点以上・出席状況も加味する			
				4	確認テスト1,2の合計(100点満点)が80~89点・出席状況も加味する			
				3	確認テスト1,2の合計(100点満点)が70~79点・出席状況も加味する			
				2	確認テスト1,2の合計(100点満点)が60~69点・出席状況も加味する			
				1	確認テスト1,2の合計(100点満点)が59点以下・出席状況も加味する			
思考力	現在の住まいの長所短所を考察し、心地良い住まいづくりのための住宅設計を考える。	作品	50	5	提出課題の合計評価(20点満点)が18点以上・授業態度等も加味する			
				4	提出課題の合計評価(20点満点)が16~17点・授業態度等も加味する			
				3	提出課題の合計評価(20点満点)が14~15点・授業態度等も加味する			
				2	提出課題の合計評価(20点満点)が12~13点・授業態度等も加味する			
				1	提出課題の合計評価(20点満点)が11点以下・授業態度等も加味する			
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず。プリント配布。 参考書：								
【その他】 中学校教諭2種免許状(家庭)の必修科目 確認テストや提出課題のフィードバックを行う。※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 住宅の間取り・図面に使用される略語 レポート：間取りの長所短所の考察	事前学習：自身の住生活に興味を持ち、間取りに目を向ける。 事後学習：講義内容を整理し、レポートを完成させる。	4時間
2 図面の種類・テーブルと椅子の名称、構造 レポート：デザイナーズチェア(名作椅子)の名称	事前学習：自身の生活空間に興味を持ち、家具に目を向ける。 事後学習：講義内容を整理し、レポートを完成させる。	4時間
3 家具のスケッチ・アクソメ、アイソメの描き方 課題：アクソメ・アイソメスケッチ	事前学習：家具のスケッチ練習をする。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
4 家具のスケッチ・1消点、2消点パースの描き方 課題：パーススケッチ	事前学習：家具のスケッチ練習をする。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
5 建具の名称と記号・間取りの問題点の考察・不動産用語 レポート：インテリア(家具)の歴史	事前学習：自身の住まいの建具の形状を確認し、操作性や利便性を考える。 事後学習：講義内容を整理し、レポートを完成させる。	4時間
6 確認テスト1・解答解説	事前学習：1～5回目の授業内容の復習をし、確認テストの準備をする。 事後学習：プリントの整理をし、確認テストの復習をする。	4時間
7 キッチンの部材名称、レイアウトの名称と特徴 課題：キッチンレイアウトプランニング	事前学習：キッチンの配置や作業動線等に目を向け、作業効率の良さ悪しを考察する。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
8 ウィンドウトリートメントの種類・照明器具の種類 課題：カーテン・照明プランニング	事前学習：自宅のウィンドウトリートメント及び照明器具を観察する。 事後学習：講義内容を整理し、自宅の照明器具の種類や個数を観察する。	4時間
9 課題：カーテン・照明プランニング	事前学習：自宅のウィンドウトリートメントの種類や開閉方式、開閉方向を確認する。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
10 人体寸法・家具寸法・設計寸法・畳の寸法 レポート：人体寸法の実測	事前学習：自身の身体的尺度を把握し、住空間のあらゆるサイズを計測する。 事後学習：講義内容を整理し、レポートを完成させる。	4時間
11 課題：平面図作図練習・家具配置の検討	事前学習：人体寸法や家具寸法等を頭に入れ、図面に反映できるようにする。家具配置による動線の良さ悪しを考える。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
12 近未来型住宅の提案 課題：マンションリフォームプランニング	事前学習：近未来の住まいの間取りを考える。 事後学習：講義内容を整理し、課題を完成させる。	4時間
13 確認テスト2・解答解説	事前学習：7～12回目の授業内容の復習をし、確認テストの準備をする。 事後学習：プリントの整理をし、確認テストの復習をする。	4時間
14 これからの住生活-高度情報化 レポート：住まいの現状、戸建と集合住宅の特徴	事前学習：自身の住空間の現状を把握し、問題点を見つける。住宅の広告等に載っている間取りを見て、特徴を読み取る。 事後学習：講義内容を整理し、レポートを完成させる。	4時間
15 これからの住生活-高度情報化 課題：新築戸建住宅プランニング	事前学習：将来のマイホームを想定して間取りを考え、計画を立てる。 事後学習：学んだ事を実生活に応用し、快適な住空間をつくる。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CB0004	衣生活論	菅沼、川田	前期	必修	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>衣服は人間が健康で快適に生きていくために必要不可欠なものです。現代の衣生活は、アパレル産業やファッションビジネスの発達と先端技術、IT等の進展によって、衣服素材や美的表現の多様化が進んでいます。そのような中で、主体的に衣生活を営むことができるように、衣服の機能 と社会的な側面を学ぶことによって、その基礎的な能力が身につくことを目指します。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	衣生活に関する基本を理解する	定期試験	60	5	定期試験の点数が90%以上			
				4	定期試験の点数が80%以上			
				3	定期試験の点数が70%以上			
				2	定期試験の点数が60%程度			
				1	定期試験の点数が60%未満			
専門的知識・ 技術	衣生活を主体的に実践する基礎力が身につく	作品	20	5	基礎的な技術力が90%以上			
				4	基礎的な技術力が80%以上			
				3	基礎的な技術力が70%以上			
				2	基礎的な技術力が60%程度			
				1	基礎的な技術力が60%未満			
思考力	衣生活の現代的な課題について話し合い、自分なりの考えを発表する能力が身につく	レポート	20	5	レポートとしての完成度が90%以上			
				4	レポートとしての完成度が80%以上			
				3	レポートとしての完成度が70%以上			
				2	レポートとしての完成度が60%程度			
				1	レポートとしての完成度が60%未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 使用せず								
参考書： 配布資料								
【その他】								
制作物について発表、講評を行う。レポートのフィードバックを行う。								
中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 ヒトはなぜ装うのか	事前学習： 各自なぜ服を着ているか考えてくる 事後学習： 興味を持った理由についてまとめる	4
2 着装とライフステージ	事前学習： ヒトの年齢と服装について調べてくる 事後学習： アルバムから自分や家族の年齢と服装を確認する	4
3 ライフシーンと装い	事前学習： 日常のTPOと装いについて考える 事後学習： マナーと装いについてまとめる	4
4 衣服の素材と加工	事前学習： 知っている素材と加工の名前をあげる 事後学習： 重要な素材と加工についてまとめる	4
5 染色と染の文化	事前学習： 染に関わる日常の体験をまとめる 事後学習： 実際に興味を持った染色についてインターネットまたは実際に見学する	4
6 ファッションとマーケティング	事前学習： 興味のあるお店、ブランド、流行について考える 事後学習： 成長する企業とはどのような企業か考える	4
7 衣服の製造とアパレル産業	事前学習： 興味のあるアパレル企業について調べる 事後学習： 新たな発見があったアパレルのお店に行ってみる	4
8 衣服の品質	事前学習： 身近な品質表示を調べる 事後学習： 重要な品質性能についてまとめる	4
9 衣服の取り扱いと環境	事前学習： 日常の洗濯をまとめる 事後学習： 重要な取り扱い絵表示について確認する	4
10 衣服のデザイン	事前学習： 好きなデザイナー、キャラクターについて考える 事後学習： 授業をまとめて簡単なデザイン画を描いてみる	4
11 衣服の造形	事前学習： 衣服が布からどのようにできているのか考える 事後学習： 事前学習と比較して不足を補ってまとめる	4
12 現代衣生活の課題	事前学習： 現代衣生活の課題テーマについて調べ、レポートを書く 事後学習： 発表した内容について自己評価を行う	4
13 衣服造形の基礎 手縫い、ミシン縫い	事前学習： 小中高家庭科で制作した作品を思い出してまとめる 事後学習： 授業時間内で終了しなかったところを仕上げる	4
14 布地を用いた小物制作（リバーシブル巾着） ①布地選び、裁断、しるしつけ	事前学習： 使用する布地の種類、特性について調べる 事後学習： 授業時間内で終了しなかったところを仕上げる	4
15 布地を用いた小物制作（リバーシブル巾着） ②本縫い、仕上げ、発表	事前学習： 授業で習得した技術を復習する 事後学習： 完成した作品について自己評価する	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CB0005	生活学（家庭経営学、家族関係学及び家庭経済学を含む）	川田 江美	後期	必修	講義	2	○	1

〔授業のねらい及び身につく能力〕

現代社会は少子化、超高齢化、人口減少、地球環境問題などの困難な課題を抱えている。また家族・世帯が多様化し、人びとのライフコースは画一的ではない。そこで、本講義では、現代の人びとの生活環境を理解しながら、「生活」という複雑で総合的な営みを社会科学的視点から考えてゆく。そのうえで、家族・地域社会の一員として問題意識を持って「生活」を見直し、問題解決する力を養う。特に今まで育ててきた家庭から、これから築く家庭へと思考を展開させていく。

〔学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法〕

学修成果評価			成績評価		
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価	
				評価	評価観点
専門的知識・技術	家庭経営、家族関係及び家庭経済に関する基礎的な知識を身につける。	確認テスト	60	5	確認テストの得点が9割以上である。
				4	確認テストの得点が8割以上である。
				3	確認テストの得点が7割以上である。
				2	確認テストの得点が6割以上である。
				1	確認テストの得点が6割未満である。
思考力	家庭経営、家族関係及び家庭経済に関する理解を深め、問題をよりよく解決する力を身につける。	レポート	40	5	家庭経営、家族関係、家庭経済に関する課題を積極的に学び、問題をよりよく解決するレポートを作成することができる。
				4	家庭経営、家族関係、家庭経済に関する課題を積極的に学び、問題を解決するレポートを作成することができる。
				3	家庭経営、家族関係、家庭経済に関する課題を学び、問題を解決するレポートを作成することができる。
				2	家庭経営、家族関係、家庭経済に関する課題を学んでいるが、問題を解決するレポートは作成することができない。
				1	家庭経営、家族関係、家庭経済に関する課題の学びが不十分であり、問題を解決するレポートを作成することができない。

〔教科書・参考書〕

教科書：
参考書： 適宜指示する

〔その他〕

レポートはフィードバックを行う

〔授業の内容・スケジュール〕		〔準備学習の内容〕		目安時間（時間）
1	オリエンテーション 今までの自分の人生を振り返る	事前学習： 自分の生活を考える 事後学習： 自分はどうような人生を歩みたいかを考えておく		4時間
2	日本人の生活構造	事前学習： 配布プリントの確認 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる		4時間
3	生活を考える 生活時間と人一生 人生すごろく	事前学習： 20歳までの各年のエピソードを書き出す 事後学習： 人生すごろくの作成		4時間
4	長寿社会を生きる 高齢社会 確認テスト1	事前学習： 高齢者問題を考える 事後学習： 確認テストの振り返り		4時間
5	現代の結婚 ①結婚	事前学習： 結婚に関する自分の考えをまとめる 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる		4時間
6	現代の結婚 ②結婚の破綻	事前学習： 離婚に関する自分の考えをまとめる 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる		4時間
7	日本のこども 子育て	事前学習： こどもを育てる意義を考える 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる		4時間
8	日本のこども 子育て課題 確認テスト2	事前学習： 現代の子育て課題を抽出する 事後学習： 確認テストの振り返り		4時間
9	家族の在り方考え方 動画視聴 視聴レポート	事前学習： 新しい家族の形について調べる 事後学習： 視聴レポートの作成		4時間
10	世界の中の日本	事前学習： 世界各国の生活に関するWeb記事を集める 事後学習： 世界と日本の違いについて考える		4時間
11	家庭の経済①生活と金銭管理	事前学習： 自分の支出について考える		4時間

11 家庭の経済①ファイナンシャルプランニング	事後学習： 支出を投資、浪費、消費に振り分けて考える	4時間
12 家庭の経済②ファイナンシャルプランニング	事前学習： 人生の3大資金について家族でディスカッションする 事後学習： 自分の3大資金について考える	4時間
13 消費生活 確認テスト3	事前学習： 消費者問題について調べる 事後学習： 確認テストの振り返り	4時間
14 実践：他者の人生を歩いてみよう レポート	事前学習： 人生すごろくを完成させる 事後学習： 他者の人生と自分の人生を比較する	4時間
15 まとめ	事前学習： 人生目標を立てる 事後学習： 授業の振り返り	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0015	カラーコーディネート演習	野間 香奈子	前期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 人間は、身の回りのあらゆる色彩の影響を多分に受けて生活している。色には様々な特徴があり、理論や法則が明確に存在している。色の分類や表し方、慣用色名、心理的効果などの理論的・体系的な専門知識を幅広く学び、配色方法や色彩の効果的な使い方を、演習を通じて身につける。日常生活やビジネスシーンで、色の特性を活かしたカラーコーディネートを実践できるようにする。色彩関連、インテリア関連の企業での実務経験から得た知識や、コーディネートプレゼン手法を取り入れ、内装材については実物サンプルを用いて演習を行う。色彩検定や、カラーコーディネーター検定試験の受験も視野に入れた指導を行う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	色彩の持つ力を理解し、色彩に関する専門知識を身につける。	確認テスト	50	5	確認テスト1,2の合計(100点満点)が90点以上・出席状況も加味する			
				4	確認テスト1,2の合計(100点満点)が80～89点・出席状況も加味する			
				3	確認テスト1,2の合計(100点満点)が70～79点・出席状況も加味する			
				2	確認テスト1,2の合計(100点満点)が60～69点・出席状況も加味する			
				1	確認テスト1,2の合計(100点満点)が59点以下・出席状況も加味する			
実践力	ルールに従って配色を考え、色を活用することができる。	作品	50	5	提出課題の合計評価(20点満点)が18点以上・授業態度等も加味する			
				4	提出課題の合計評価(20点満点)が16～17点・授業態度等も加味する			
				3	提出課題の合計評価(20点満点)が14～15点・授業態度等も加味する			
				2	提出課題の合計評価(20点満点)が12～13点・授業態度等も加味する			
				1	提出課題の合計評価(20点満点)が11点以下・授業態度等も加味する			
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず。プリント配布。 参考書： 日本フードコーディネーター協会編『フードコーディネーター教本』（柴田書店）								
【その他】 フードコーディネーターの必修科目・衣料管理士2級の必修科目 確認テストや提出課題のフィードバックを行う。※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 概論・色の心理学・色彩の力・コーポレートカラー	事前学習： 色に興味を持ち、店舗の看板やロゴマーク等をチェックしておく。 事後学習： 講義内容を整理し、コーポレートカラーのイメージを覚える。	1時間
2 眼の構造・安全標識の色・国旗の配色 持ち物：色鉛筆	事前学習： 標識の色や、世界の国々の国旗の配色を頭に入れておく。 事後学習： 講義内容を整理し、標識の色の意味と国旗の配色を覚える。	1時間
3 混色・襲の色目の配色・配色演習 持ち物：色鉛筆	事前学習： 着物や浴衣の配色を観察する。 事後学習： 講義内容を整理し、プリントを完成させる。	1時間
4 JIS慣用色名 和色名の名称・26色の色と由来・演習 持ち物：ハサミ・糊	事前学習： 和菓子や和小物など、和色名が使用されている商品を探す。 事後学習： 講義内容を整理し、和色名の正しい呼称と色の系統を覚える。	1時間
5 JIS慣用色名 外来色名の名称・38色の色と由来・演習 持ち物：ハサミ・糊	事前学習： 洋服やファッション小物など、外来色名が使用されている商品を探す。 事後学習： 講義内容を整理し、外来色名の正しい呼称と色の系統を覚える。	1時間
6 マンセル表色系・色の心理効果・視覚効果 持ち物：色鉛筆	事前学習： 商品パッケージの色は、どのような効果をもたらしているか考察する。 事後学習： 講義内容を整理し、マンセル値のみで色を想像できるようにする。	1時間
7 インテリアカラーコーディネート演習 持ち物：ハサミ・糊・色鉛筆	事前学習： インテリアに使用する色による印象の違いを考察する。 事後学習： 講義内容を整理し、提出課題を完成させる。	1時間
8 テイスト別コーディネート演習 持ち物：ハサミ・糊・色鉛筆	事前学習： レストランやカフェのインテリアの色と柄を観察する。 事後学習： 講義内容を整理し、提出課題を完成させる。	1時間
9 確認テスト1・解答解説 持ち物：プリント	事前学習： 1～8回目の授業内容の復習をし、確認テストの準備をする。 事後学習： プrintの整理をし、確認テストの復習をする。	1時間
10 PCCS表色系・トーンの略号とイメージ 持ち物：ハサミ・糊	事前学習： マンセル表色系の表示方法をもう一度復習しておく。 事後学習： 講義内容を整理し、PCCSのトーン分類を書けるようにする。	1時間
11 イメージ別配色法・配色演習 持ち物：ハサミ・糊・色鉛筆	事前学習： PCCSのトーンのイメージを掴む。 事後学習： 講義内容を整理し、提出課題を完成させる。	1時間
12 和色名31色の色と由来、PCCS値・演習 持ち物：ハサミ・糊	事前学習： PCCS表色系の表示方法を理解する。 事後学習： 講義内容を整理し、和色名とPCCS値をリンクさせる。	1時間
13 配色技法・外来色名32色の色と由来、PCCS値・演習 持ち物：ハサミ・糊	事前学習： PCCS値のみで色を想像できるようにする。 事後学習： 講義内容を整理し、外来色名とPCCS値をリンクさせる。	1時間
14 確認テスト2・解答解説 持ち物：プリント	事前学習： 10～13回目の授業内容の復習をし、確認テストの準備をする。 事後学習： プrintの整理をし、確認テストの復習をする。	1時間
15 配色演習 持ち物：ハサミ・糊・色鉛筆	事前学習： 配色技法の復習をし、身の回りにある物の配色を観察する。 事後学習： 学んだ配色やコーディネートの手法を、実生活に応用する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0021	食生活実習	佐藤 美紀	後期	選択	実習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>献立を理解し、基本的な調理技術を身につけ、自分の食生活の中に活かすことができるように実習を行う。飯の炊き方、だしの取り方、野菜の切り方等、講義で学んだ知識と実践を結び付けながら、合理的で安全な調理を行えるように工夫する。調理器具の名称と適切な使用方法、食中毒予防、環境に配慮した調理操作、季節感ある献立構成についての理解と実践力を高める。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	調理実習のレポートを指定された形式にのっとり適切に記入、提出する。調理科学的側面からの知識と考察を適切な表現により作成し、期日を守る。	レポート	30	5	毎回の実習後のレポートの評価点が80%以上			
				4	毎回の実習後のレポート評価点が70%以上			
				3	毎回の実習後のレポート評価点が60%以上			
				2	毎回の実習後のレポート評価点が50%以上			
				1	毎回の実習後のレポート評価点が50%未満			
専門的知識・ 技術	調理操作、各食種についての基本的な知識、衛生に関する基本的知識が身についている。	確認テスト	30	5	3回実施する確認テストの結果により、評価点が90%以上			
				4	3回実施する確認テストの結果により、評価点が70%以上90%未満			
				3	3回実施する確認テストの結果により、評価点が50%以上70%未満			
				2	3回実施する確認テストの結果により、評価点が30%以上50%未満			
				1	3回実施する確認テストの結果により、評価点が30%未満			
コミュニケーション力	協力して実習を進めることができる。積極的に実習に参加し、周囲に気配りをしながら作業を進めることができる	受講態度	20	5	積極的にコミュニケーションをとり、グループ活動を円滑に進め、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションをとり、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	他者とのコミュニケーション、授業への取り組みに消極的である			
				1	授業に臨む姿勢が見受けられない			
実践力	衛生的な調理、器具の取り扱い、環境に配慮した調理操作、材料の適切な扱い等について、評価を行うことができる	作品	20	5	課題を十分に理解し、他者との意見交換のうえ、考察をまとめて発表ができる			
				4	課題を十分に理解し、自分の意見をふまえた発表ができる			
				3	課題を理解し、情報をまとめた発表ができる			
				2	課題の理解に不足があるが、情報をまとめた発表ができる			
				1	課題の理解に不足がある。発表ができない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 『基本マスター フード&クッキング』（実教出版） 必要に応じてプリント配布								
参考書： 山崎清子他『新版 調理と理論』（同文書院）								
【その他】								
レポートのフィードバックを行う								
中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目 フードコーディネーター3級の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 調理室の使い方、器具の説明、調理の注意点	事前学習: シラバスを読む 事後学習: 調理器具の名前、調理上の注意点についてのプリントを完成させる	1時間
2 炊飯の基本 だしの取り方 白飯 味噌汁 だし巻き卵	事前学習: 調理手順を確認する 事後学習: 和食の献立行使についてのプリントを完成させる。レポートを作成する	1時間
3 和食の調理Ⅰ 野菜の切り方 野菜の調理(茹) 炊き込みご飯 青菜のお浸し 漬物他	事前学習: 調理手順を確認する 事後学習: 野菜の切り方についてのプリントを完成させる。レポートを作成する	1時間
4 和食の調理Ⅱ 肉・野菜の調理(煮) 魚の調理(焼) 白飯 筑前煮 焼き魚	事前学習: 調理手順を確認する 事後学習: 肉・魚料理についてのプリントを完成させる。レポートを作成する	1時間
5 和食のまとめ 確認テスト①	事前学習: 2,3,4回の実習レポートのまとめをし、確認テストの準備をする 事後学習: 確認テストの復習をする	1時間
6 洋食の基本 洋風だし ムニエル コンソメスープ他	事前学習: 調理手順を確認する 事後学習: 洋食の献立構成についてのプリントを完成させる。レポートを作成する	1時間
7 洋食の調理Ⅰ 洋風炊き込み飯 野菜の調理(生) ピラフ 他	事前学習: 調理手順を確認する 事後学習: ドレッシングについてのプリントを完成させる。レポートを作成する	1時間
8 洋食の調理Ⅱ 小麦粉(ホワイトルー) マカロニグラタン 他	事前学習: 調理手順を確認する 事後学習: ルーについてのプリントを完成させる。レポートを作成する	1時間
9 洋食の調理Ⅱ 挽肉料理とデザート ハンバーグ ゼリー 他	事前学習: 調理手順を確認する 事後学習: 挽肉についてのプリントを完成させる。レポートを作成する	1時間
10 洋食のまとめ 確認テスト②	事前学習: 6,7,8,9回の実習レポートのまとめをし、確認テストの準備をする 事後学習: 確認テストの復習をする	1時間
11 中華の調理Ⅰ 野菜の調理(炒) 卵の調理(汁) 青椒肉絲 粟米湯 他	事前学習: 調理手順を確認する 事後学習: 中華の献立構成についてのプリントを完成させる。レポートを作成する	1時間
12 中華の調理Ⅱ 豆腐の調理(煮) 麻婆豆腐 他	事前学習: 調理手順を確認する 事後学習: 中華調味料についてのプリントを完成させる。レポートを作成する	1時間
13 災害時の調理と注意点 災害用保存食品 バッククッキング他	事前学習: 調理手順を確認する。防災食についての情報を収集する 事後学習: レポートを作成する	1時間
14 中華料理と災害食のまとめ 確認テスト③	事前学習: 11,12,13回の実習レポートのまとめをし、確認テストの準備をする 事後学習: 確認テストの復習をする	1時間
15 全体のまとめ・発表	事前学習: これまでの実習の手順とポイントを確認してくる 事後学習: 発表の評価を行う	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0022	健康栄養学	佐藤 美紀	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
本講義では、食生活と健康の関連について基礎的な知識を体系的に学ぶ。私たちが健康的に生きてゆくために必要な栄養素の働きと体内での代謝の仕組み、各ライフステージでの食生活の課題・生活習慣病と栄養の関係について理解し、科学的根拠に基づいた健康な食生活の理解を深めることを目的とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	健康と食生活の基本概念、栄養素の働きと代謝、ライフステージ別健康課題と食生活について理解し、説明できる	定期試験	60	5	定期試験の得点が90%以上			
				4	定期試験の得点が75%以上			
				3	定期試験の得点が60%以上			
				2	定期試験の得点が50%以上			
				1	定期試験の得点が50%未満			
思考力	食生活改善や食文化、環境と健康の関係、望ましい食事のありかたについて説明できる	定期試験	20	5	定期試験の記述問題得点が90%以上			
				4	定期試験の記述問題得点が75%以上			
				3	定期試験の記述問題得点が60%以上			
				2	定期試験の記述問題得点が50%以上			
				1	定期試験の記述問題得点が50%未満			
実践力	科学的根拠に基づいた情報を取捨選択し、健康を考慮した献立作成ができる。食品成分表を使い、栄養価計算ができる	作品	20	5	根拠に基づいた献立作成ができ、栄養価計算が正しく行われている			
				4	献立作成、栄養価計算が正しく行われている			
				3	献立作成、栄養価計算ができる			
				2	献立、栄養価計算のどちらかが不十分である			
				1	献立、栄養価計算のどちらも不十分、もしくは未提出である			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 吉澤みな子他著『大学で学ぶ食生活と健康のきほん』（化学同人）								
参考書： 日本フードコーディネーター協会『新フードコーディネーター教本2022』（柴田書店）								
【その他】								
ワークシートのフィードバックを行う								
フードコーディネーター3級の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 健康と栄養 健康の定義・栄養と栄養素	事前学習: シラバスを読む 事後学習: 授業内容を復習する	2時間
2 栄養素の種類と働き エネルギー産生栄養素	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
3 栄養素の種類と働き ビタミン・ミネラル	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
4 代謝のしくみ 消化吸収	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
5 栄養状態の評価・判定 体格指数(BMI) 肥満とやせ	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
6 6つの基礎食品群と食事バランスガイド 食事バランスガイドチェックシートの作成	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
7 食事摂取基準と運動 食事摂取基準と身体活動基準	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
8 ライフステージ別栄養と食生活 I 妊娠・授乳期、乳幼児期	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
9 ライフステージ別栄養と食生活 II 学童期・思春期	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
10 ライフステージ別栄養と食生活 III 成人期・更年期・高齢期	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
11 生活習慣病と栄養・食生活改善 生活習慣病予防のための食事	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
12 食文化と健康 日本の伝統食と海外の食	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
13 環境・安全と食生活 食品安全・環境問題と食生活	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間
14 献立作成と栄養価計算	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(グループワーク)	2時間
15 免疫とアレルギー、機能的食品 全体のまとめ	事前学習: 教科書の該当箇所を読む 事後学習: 授業内容を復習する(ワークシート)	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0023	調理学	佐藤 陽子	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 人が健全な生活を送るうえでの調理の役割を理解し、その実践につなげることを目的とする。食品が調理過程で化学的・物理的に変化する要因や「おいしさ」の成り立ちを科学的に学び、安全で嗜好性の高い食事を実現するための基礎知識と調理方法を習得する。さらに、食材の特性を踏まえて適切な調理法を選択し、栄養・衛生に配慮した調理を根拠に基づいて説明・応用できる力を養う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	調理の意義、食品の調理過程での変化、栄養性、嗜好性について理解する	確認テスト	15	5	確認テストの評価点が90%以上			
				4	確認テストの評価点が70%以上90%未満			
				3	確認テストの評価点が50%以上70%未満			
				2	確認テストの評価点が30%以上50%未満			
				1	確認テストの評価点が30%未満			
		定期試験	50	5	定期試験の評価点が90%以上			
				4	定期試験の評価点が70%以上90%未満			
				3	定期試験の評価点が50%以上70%未満			
				2	定期試験の評価点が30%以上50%未満			
				1	定期試験の評価点が30%未満			
思考力	学習したことに基いて、レポートを適切な言葉、表現で書くことができる	レポート	15	5	テーマに沿った内容でキーワードを適切に使用して概要と考察が明確に書けている			
				4	テーマに沿った内容で自分の意見を述べながらレポートが書けている			
				3	テーマに沿った内容であるが、考察ができていない			
				2	レポートの内容に不足があり、量的にも不足している			
				1	レポートのテーマを適切に捉えることができず、文章力に欠ける			
実践力	学習したことに基いて、調理器具を正しく選択出来たり目的に合った調理操作を選ぶことができる	定期試験	20	5	定期試験の評価点が90%以上			
				4	定期試験の評価点が70%以上90%未満			
				3	定期試験の評価点が50%以上70%未満			
				2	定期試験の評価点が30%以上50%未満			
				1	定期試験の評価点が30%未満			
【教科書・参考書】 教科書： 中嶋加代子・他／著 『イラスト調理科学』（東京教学社） 参考書： 日本フードコーディネーター協会／編 『フードコーディネーター教本2025』								
【その他】 確認テスト、レポートのフィードバックを行う フードコーディネーター3級の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 調理学の意義・目的、調理学の概要 調理の意義と目的、おいしさの要因(化学的要因)	事前学習: 自身の嗜好(味の好み)について考えておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
2 おいしさの科学とその評価 おいしさの要因(物理的要因・主観的要因)、おいしさの評価	事前学習: 身近な食品の物性やおいしさを司る要因について考えておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
3 調理操作と調理機器 非加熱操作 計量、洗浄、浸漬、切碎、攪拌、冷却、凍結、解凍	事前学習: 非加熱操作について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
4 加熱調理操作 調理における加熱、湿式加熱と乾式加熱、	事前学習: 加熱操作について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
5 調理機器、調理システム、調理エネルギー 誘電加熱、電磁誘導、厨房設備、ガス、電気	事前学習: 加熱操作について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる(ワークシート)	4時間
6 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅰ 穀類	事前学習: 穀類の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
7 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅱ いも類・豆類及びその加工品・種実類	事前学習: いもの種類および豆の加工品について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
8 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅲ【確認テスト①】 野菜類・果実類	事前学習: 野菜類・果物類の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
9 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅳ きのこ類・藻類	事前学習: きのこと類・藻類の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
10 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅴ【確認テスト②】 魚介類	事前学習: 魚介の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
11 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅵ 肉類	事前学習: 肉の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
12 食品の調理特性と栄養素の変化Ⅶ【確認テスト③】 卵・牛乳	事前学習: 卵・牛乳の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
13 成分抽出素材の利用と栄養 油脂類、でんぷん類、ゲル化素材	事前学習: でんぷん製品、ゲル化剤の種類について確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
14 調味料、調理操作 調味料の種類と調理機能、調味の方法、調味濃度	事前学習: 調味料の種類の確認、塩や砂糖の調理性を確認しておく 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間
15 食文化、まとめ・復習 食事様式・行事食、まとめ・復習	事前学習: 授業内容の不明な点をまとめる 事後学習: 授業内容をノートにまとめる	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0024	応用食品学	守田 麻由子	前期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
食品の分類と様々な食品の機能、特性についての知識を習得する。また、食品の貯蔵や加工における素材別の特性や成分変化について学び、専門的知識を身につけ、フードコーディネーターとして必要なスキルを習得する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食品の特性を理解し、保存法 や加工法について専門的知識 を習得する	確認テスト	70	5	評価点が80%以上			
				4	評価点が60%以上、80%未満			
				3	評価点が50%以上、60%未満			
				2	評価点が30%以上、50%未満			
				1	評価点が30%未満			
思考力	習得した知識をもとに、適切 な食材等の選別と、その適切 さを説明できるスキルを身に つける	受講態度	30	5	知識をもとに、論理的な発案や考察ができています			
				4	知識をもとに、発案や考察ができています			
				3	知識をもとに、発案または考察ができています			
				2	知識をもとにした発案や考察ができていない			
				1	知識の活用ができていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： プリントを配布する								
参考書： 栢野新市 編 『栄養化学イラストレイテッド 食品学Ⅱ』（羊土社）など 授業内で適宜提示する								
【その他】								
確認テストの解説によるフィードバックを行う。								
フードコーディネーター3級の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 食品の分類と機能	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
2 植物性食品① 穀類	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
3 植物性食品② いも類	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
4 植物性食品③ 豆類、種実類	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
5 植物性食品④ 野菜類	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
6 植物性食品⑤ 果実類	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
7 植物性食品⑥ きのこと類、藻類	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
8 植物性食品のまとめ 確認テスト①と解説	事前学習: 植物性食品①～⑦の内容を整理する 事後学習: 確認テストの復習をする	2時間
9 動物性食品① 肉類	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
10 動物性食品② 魚介類	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
11 動物性食品③ 乳製品、卵	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
12 動物性食品のまとめ、油脂 確認テスト②と解説	事前学習: 動物性食品①～③の内容を整理する 事後学習: 確認テストの復習をする	2時間
13 調味料、香辛料、嗜好飲料	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
14 加工食品、微生物利用食品	事前学習: プリントで予習する 事後学習: スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
15 食品の加工と貯蔵 確認テスト③と解説	事前学習: プリントで予習する 事後学習: 確認テストの復習をする	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0032	フードコーディネート論	中田 玲子	後期	選択	講義	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 フードコーディネートとは、食べることに関わる様々な場面において、食物自体のおいしさ、雰囲気、感情など多岐にわたる条件を調整して、満足のいく場面を演出することである。 本授業では、食の文化や歴史を理解し、それらを踏まえた食卓のコーディネート、サービスとマナー、フードサービスに関する知識や実践力を磨き、食のプロフェッショナルとしての総合力を身につける。 実務家教員の展示経験等を生かし、授業で学んだ知識に基づく実践の機会として、フードコーディネートの企画書を作成し、作品を制作する演習を行う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	食の演出の大切さを理解し、社会に通じる基礎知識、マナーを身につける	受講態度	20	5	授業内容を理解し、適切なコメントシートを提出している			
				4	授業内容を理解し、コメントシートを提出している			
				3	授業に出席し、コメントシートを提出している			
				2	授業に出席し、コメントシートを提出しているが、理解が十分ではない			
				1	授業に出席しているが、コメントシートの提出をしていない			
専門的知識 技術	フードサービスに関する知識・応用力を身につけ、フードコーディネートの企画書を作成できる	レポート	40	5	期日までに、十分に実現性があり、独自性のある企画を立案できる			
				4	期日までに、一定の理解を得られる、独自性のある企画を立案できる			
				3	期日までに、必要な検討事項を網羅した企画を立案できる			
				2	企画を立案したが、期日までの提出または検討事項の網羅ができていない			
				1	企画を立案したが、期日までの提出も検討事項の網羅もできていない			
実践力	食空間をコーディネートし、表現する力を身につける	作品	40	5	企画意図を反映し、独自性があり、商品の魅力を伝えられるディスプレイを作成できる			
				4	企画意図に沿い、商品の魅力を伝えられるディスプレイを作成できる			
				3	企画意図に沿ったディスプレイを作成できる			
				2	ディスプレイを作成したが、企画意図を十分に反映していない			
				1	ディスプレイを作成したが、指示事項に沿っていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 日本フードコーディネーター協会編『新・フードコーディネーター教本2025 3級資格認定試験対応テキスト』（柴田書店） 参考書： (社)日本フードスペシャリスト協会編『三訂フードコーディネート論』（建帛社）								
【その他】 企画書、作品のフィードバックを行う。 フードコーディネーターの必修科目 実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 フードコーディネーターとは フードコーディネーターの要件、シラバスの確認	事前学習： シラバスを確認する 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
2 日本料理の歴史 日本料理の歴史、種類、行事食・郷土食	事前学習： 教科書の第1章第1,2節を読む、食経験のある日本料理を考える 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
3 西洋料理の歴史 西洋料理の歴史、日本における西洋料理	事前学習： 教科書の第1章第4節を読む、食経験のある西洋料理を考える 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
4 中国料理の歴史、その他の国の料理の理解 中国料理の歴史、特徴、献立、各国の料理の特徴	事前学習： 教科書の第1章第3,5節を読む、食経験のある各国料理を考える 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
5 菓子の歴史 和菓子・洋菓子・パンの歴史、菓子・デザート・パン	事前学習： 教科書の第1章を読む、食経験のある菓子やパンを考える 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
6 テーブルコーディネートの基本 組み立て、約束事、カラーコーディネート	事前学習： 教科書の第9章第1,2節を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
7 西洋料理のテーブルコーディネート 約束事、コーディネートアイテム	事前学習： 教科書の第9章第3節を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
8 日本料理のテーブルコーディネート 約束事、コーディネートアイテム	事前学習： 教科書の第9章第4節を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
9 中国料理のテーブルコーディネート 約束事、コーディネートアイテム	事前学習： 教科書の第9章第5節を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
10 料理様式とメニュー開発(1) 日本料理や中国料理の様式とメニュー開発	事前学習： 参考書の第5章(要約資料を事前配布)を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
11 料理様式とメニュー開発(2) 西洋料理やその他の料理の様式とメニュー開発	事前学習： 参考書の第5章(要約資料を事前配布)を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
12 メニュープランニング TPO、トレンド、メニュープランニングシート	事前学習： 教科書の第12章を読む 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
13 食卓のサービスとマナー サービスとマナーの基本、パーティ、プロトコル	事前学習： 参考書の第4章(要約資料を事前配布)を読む、目ごろどのようなマナーを守っているか振り返る 事後学習： 学習内容を復習し、不明点があれば次回講義で確認する	4
14 食企画の制作演習 企画書に基づいた制作、審査	事前学習： 企画書に基づき準備した作品を制作する 事後学習： 他者の作品も観察し、自分の作品を振り返る	4
15 フードコーディネーターのまとめ 演習成果	事前学習： 学習した範囲の中で最も興味を持った事項を考える 事後学習： 授業全体を振り返る	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング																																																																																																																																																																																																					
CC0061	医療事務 I	青木 豊	前期	選択	演習	1	○	1																																																																																																																																																																																																					
<p>【授業のねらい及び身につく能力】</p> <p>医療保険制度を理解し、医療機関における接遇の事例を共有しながら、望まれる医師担当者の在り方を考える。 医療機関の収入の柱となる診療報酬の算定方法について学習し、算定のルールを理解する。 2年次の8月に実施される「一般財団法人 日本医療教育財団「医療事務技能審査試験」を受験し「メディカルクラーク」の資格取得を目指す。</p>																																																																																																																																																																																																													
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">学修成果評価</th> <th colspan="5">成績評価</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">評価指標 (規準)</th> <th rowspan="2">達成目標</th> <th rowspan="2">評価手段</th> <th rowspan="2">評価比率</th> <th colspan="5">ルーブリック評価</th> </tr> <tr> <th>評価</th> <th colspan="4">評価観点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">専門的知識・ 技術</td> <td rowspan="5">医療保険制度・患者接遇・ 診療報酬に関する基礎が 理解できる</td> <td rowspan="5">レポート</td> <td rowspan="5">30</td> <td>5</td> <td colspan="4">医療事務 I の内容をよく理解し、目標を十分に達成した</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="4">医療事務 I の内容をよく理解し、目標を達成した</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="4">医療事務 I の内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="4">医療事務 I の内容をほぼ理解したものの、目標達成には努力が必要</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td colspan="4">医療事務 I の内容の理解や目標達成にはかなりの努力が必要</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">専門的知識・ 技術</td> <td rowspan="5">診療報酬の仕組みを理解し 正しく算定することができる</td> <td rowspan="5">確認テスト</td> <td rowspan="5">30</td> <td>5</td> <td colspan="4">医療保険制度から在宅医療までの内容をよく理解し、目標を十分達成した</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="4">医療保険制度から在宅医療までの内容をよく理解し、目標を達成した</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="4">医療保険制度から在宅医療までの内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="4">医療保険制度から在宅医療までの内容をほぼ理解したものの、目標達成には努力が必要</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td colspan="4">医療保険制度から在宅医療までの内容の理解や目標達成には努力が必要</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">専門的知識・ 技術</td> <td rowspan="5">医療機関の窓口担当者としての マナーが習得できている 受講態度を含め、ルールを 守ることができる</td> <td rowspan="5">受講態度</td> <td rowspan="5">40</td> <td>5</td> <td colspan="4">グループワークに積極的に参加し、無断欠席、遅刻なく講義に集中した</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="4">グループワークに積極的に参加し、無断欠席、遅刻はほぼなく講義に集中した</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="4">欠席、遅刻は見られたものの、グループワークには積極的に参加した</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="4">欠席、遅刻が見られ、講義への集中力を欠くこともあったが、グループワークには積極的に参加した</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td colspan="4">欠席、遅刻が多く、講義への集中力も欠き、グループワークには参加するだけだった</td> </tr> <tr> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5"></td> <td>5</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5"></td> <td>5</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5"></td> <td>5</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>									学修成果評価				成績評価					評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価					評価	評価観点				専門的知識・ 技術	医療保険制度・患者接遇・ 診療報酬に関する基礎が 理解できる	レポート	30	5	医療事務 I の内容をよく理解し、目標を十分に達成した				4	医療事務 I の内容をよく理解し、目標を達成した				3	医療事務 I の内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成				2	医療事務 I の内容をほぼ理解したものの、目標達成には努力が必要				1	医療事務 I の内容の理解や目標達成にはかなりの努力が必要				専門的知識・ 技術	診療報酬の仕組みを理解し 正しく算定することができる	確認テスト	30	5	医療保険制度から在宅医療までの内容をよく理解し、目標を十分達成した				4	医療保険制度から在宅医療までの内容をよく理解し、目標を達成した				3	医療保険制度から在宅医療までの内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成				2	医療保険制度から在宅医療までの内容をほぼ理解したものの、目標達成には努力が必要				1	医療保険制度から在宅医療までの内容の理解や目標達成には努力が必要				専門的知識・ 技術	医療機関の窓口担当者としての マナーが習得できている 受講態度を含め、ルールを 守ることができる	受講態度	40	5	グループワークに積極的に参加し、無断欠席、遅刻なく講義に集中した				4	グループワークに積極的に参加し、無断欠席、遅刻はほぼなく講義に集中した				3	欠席、遅刻は見られたものの、グループワークには積極的に参加した				2	欠席、遅刻が見られ、講義への集中力を欠くこともあったが、グループワークには積極的に参加した				1	欠席、遅刻が多く、講義への集中力も欠き、グループワークには参加するだけだった								5					4					3					2					1									5					4					3					2					1									5					4					3					2					1				
学修成果評価				成績評価																																																																																																																																																																																																									
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価																																																																																																																																																																																																									
				評価	評価観点																																																																																																																																																																																																								
専門的知識・ 技術	医療保険制度・患者接遇・ 診療報酬に関する基礎が 理解できる	レポート	30	5	医療事務 I の内容をよく理解し、目標を十分に達成した																																																																																																																																																																																																								
				4	医療事務 I の内容をよく理解し、目標を達成した																																																																																																																																																																																																								
				3	医療事務 I の内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成																																																																																																																																																																																																								
				2	医療事務 I の内容をほぼ理解したものの、目標達成には努力が必要																																																																																																																																																																																																								
				1	医療事務 I の内容の理解や目標達成にはかなりの努力が必要																																																																																																																																																																																																								
専門的知識・ 技術	診療報酬の仕組みを理解し 正しく算定することができる	確認テスト	30	5	医療保険制度から在宅医療までの内容をよく理解し、目標を十分達成した																																																																																																																																																																																																								
				4	医療保険制度から在宅医療までの内容をよく理解し、目標を達成した																																																																																																																																																																																																								
				3	医療保険制度から在宅医療までの内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成																																																																																																																																																																																																								
				2	医療保険制度から在宅医療までの内容をほぼ理解したものの、目標達成には努力が必要																																																																																																																																																																																																								
				1	医療保険制度から在宅医療までの内容の理解や目標達成には努力が必要																																																																																																																																																																																																								
専門的知識・ 技術	医療機関の窓口担当者としての マナーが習得できている 受講態度を含め、ルールを 守ることができる	受講態度	40	5	グループワークに積極的に参加し、無断欠席、遅刻なく講義に集中した																																																																																																																																																																																																								
				4	グループワークに積極的に参加し、無断欠席、遅刻はほぼなく講義に集中した																																																																																																																																																																																																								
				3	欠席、遅刻は見られたものの、グループワークには積極的に参加した																																																																																																																																																																																																								
				2	欠席、遅刻が見られ、講義への集中力を欠くこともあったが、グループワークには積極的に参加した																																																																																																																																																																																																								
				1	欠席、遅刻が多く、講義への集中力も欠き、グループワークには参加するだけだった																																																																																																																																																																																																								
				5																																																																																																																																																																																																									
				4																																																																																																																																																																																																									
				3																																																																																																																																																																																																									
				2																																																																																																																																																																																																									
				1																																																																																																																																																																																																									
				5																																																																																																																																																																																																									
				4																																																																																																																																																																																																									
				3																																																																																																																																																																																																									
				2																																																																																																																																																																																																									
				1																																																																																																																																																																																																									
				5																																																																																																																																																																																																									
				4																																																																																																																																																																																																									
				3																																																																																																																																																																																																									
				2																																																																																																																																																																																																									
				1																																																																																																																																																																																																									
<p>【教科書・参考書】</p> <p>教科書： (株)ニチイ学館/テキスト4冊、スタディブック、ハンドブック、基礎ドリル、受験対策問題集 (東京丸の内出版) 医科診療報酬点数表 (社会保険研究所)</p> <p>参考書：</p>																																																																																																																																																																																																													
<p>【その他】</p> <p>課題や提出物のフィードバックを行う 2年次の医療事務Ⅱ、Ⅲ、調剤薬局事務を履修すること</p>																																																																																																																																																																																																													

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 医療保険制度1	事前学習： シラバスを読んでおく 事後学習： 配布プリントを一読する	1時間
2 医療保険制度2	事前学習： 配布プリントを一読する 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
3 医療保険制度3	事前学習： 配布プリントを一読する 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
4 医療保険制度4	事前学習： 配布プリントを一読する 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
5 医療保険制度5	事前学習： 配布プリントを一読する 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
6 患者接遇1	事前学習： テキスト（医療現場での接遇マナー）を一読する 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
7 患者接遇2	事前学習： テキスト（医療現場での接遇マナー）を一読する 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
8 医療保険制度・患者接遇のまとめ 【学科レポート】	事前学習： テキスト（医療保険制度のしくみ・医療現場での接遇マナー）を一読する 事後学習： 学科レポートの提出準備をする	1時間
9 初診料・再診料1	事前学習： 学科レポートの提出準備をする 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
10 初診料・再診料2	事前学習： テキスト（診療報酬の算定ルール）を一読する 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
11 医学管理等1	事前学習： テキスト（診療報酬の算定ルール）を一読する 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
12 医学管理等2	事前学習： テキスト（診療報酬の算定ルール）を一読する 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
13 在宅医療	事前学習： テキスト（診療報酬の算定ルール）を一読する 事後学習： 学習内容を復習する	1時間
14 医療事務総復習1 【確認テスト】	事前学習： これまでに学習した内容を復習しておくこと 事後学習： 確認テストの誤り箇所を確認する	1時間
15 医療事務総復習2	事前学習： これまでに学習した内容を復習しておくこと 事後学習： 2年次の医療事務Ⅱ、Ⅲの学習に備え、プリント類をファイリングしておくこと	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0062Q	医療事務Ⅱ	岸本 智子	前期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 「医療事務Ⅰ」に引き続き、医療機関の収入の柱となる診療報酬の点数算定方法について学習し、仕組みを理解する。 8月末に実施される 一般財団法人 日本医療教育財団「医療事務技能審査試験」を受験し、「メディカルクラーク」の資格取得を目標とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	医療保険制度、患者接遇、診療報酬に関する基礎が理解できる	確認テスト	30	5	医療事務Ⅱの内容をよく理解し、目標を十分に達成した			
				4	医療事務Ⅱの内容をよく理解し、目標を達成した			
				3	医療事務Ⅱの内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成			
				2	医療事務Ⅱの内容をほぼ理解はしたものの、目標達成には努力が必要			
				1	医療事務Ⅱの内容の理解や目標達成にはかなりの努力が必要			
専門的知識・ 技術	診療報酬の仕組みを理解し、正しく算定することができる	レポート	50	5	講義の単元である入院までの内容をよく理解し、目標を十分に達成した			
				4	講義の単元である入院までの内容をよく理解し、目標を達成した			
				3	講義の単元である入院までの内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成			
				2	講義の単元である入院までの内容をほぼ理解したものの、目標達成には努力が必要			
				1	講義の単元である入院までの内容の理解や目標達成にはかなりの努力が必要			
専門的知識・ 技術	医療機関の窓口担当者としてのマナーが習得できている受講態度を含め、ルールを守ることができる	受講態度	20	5	レポートの提出期限をよく守り、無断欠席、遅刻なく講義に積極的に参加した			
				4	レポートの提出期限をよく守り、無断欠席、遅刻はほぼなく講義に集中した			
				3	欠席・遅刻は見られたものの、レポートの提出期限を守り、講義にも集中した			
				2	欠席・遅刻が見られ、講義への集中力を欠くこともあったが、レポートは提出した			
				1	欠席・遅刻が見られ、講義への集中力も欠き、レポートの提出期限も守らない			
【教科書・参考書】 教科書： (株)ニチエ学館/テキスト4冊、スタディブック、ハンドブック、基礎ドリル、受験対策問題集(東京丸の内出版) 医科診療報酬点数表(社会保険研究所) 参考書：								
【その他】 課題や提出物等のフィードバックを行う。 医療事務Ⅰ・Ⅲもあわせて履修すること。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 処置 1	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
2 処置 2	事前学習: 医療保険制度・患者接遇についてテキストを読み復習しておくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
3 検査 1	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
4 検査 2	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
5 検査 3	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
6 検査 4	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
7 病理診断	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
8 リハビリテーション	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
9 投薬 1	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
10 投薬 2	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
11 注射 1	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
12 注射 2	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 投薬・注射に関するレポートを実施 次回提出すること	1時間
13 画像診断 1	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
14 画像診断 2	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 練習問題、基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
15 入院 (確認テストの実施)	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: テキストを読み、実施した確認テストの内容を復習しておくこと	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0063Q	医療事務Ⅲ	岸本 智子	前期	選択	演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 「医療事務Ⅰ・Ⅱ」にて学習した診療報酬の点数が実際の医療機関で提出する診療報酬明細書（医療機関からの請求書＝レセプト）にどのように記載されるのかを学習。その上でレセプトの誤りを正しく訂正する点検実務を身に付ける。 8月末に実施される 一般財団法人 日本医療教育財団「医療事務技能審査試験」を受験し、「メディカルクラーク」の資格取得を目標とする。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	医療保険制度、患者接遇、診療報酬に関する基礎が理解できる	確認テスト	30	5	医療事務Ⅲの内容をよく理解し、目標を十分に達成した			
				4	医療事務Ⅲの内容をよく理解し、目標を達成した			
				3	医療事務Ⅲの内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成			
				2	医療事務Ⅲの内容をほぼ理解はしたものの、目標達成には努力が必要			
				1	医療事務Ⅲの内容の理解や目標達成にはかなりの努力が必要			
専門的知識・ 技術	診療報酬の仕組みを理解し、正しく算定することができる	レポート	50	5	講義の単元である明細書作成・点検の内容をよく理解し、目標を十分に達成した			
				4	講義の単元である明細書作成・点検の内容をよく理解し、目標を達成した			
				3	講義の単元である明細書作成・点検の内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成			
				2	講義の単元である明細書作成・点検の内容をほぼ理解したものの、目標達成には努力が必要			
				1	講義の単元である明細書作成・点検の内容の理解や目標達成にはかなりの努力が必要			
専門的知識・ 技術	医療機関の窓口担当者としてのマナーが習得できている受講態度を含め、ルールを守ることができる	受講態度	20	5	レポートの提出期限をよく守り、無断欠席、遅刻なく講義に積極的に参加した			
				4	レポートの提出期限をよく守り、無断欠席、遅刻はほぼなく講義に集中した			
				3	欠席・遅刻は見られたものの、レポートの提出期限を守り、講義にも集中した			
				2	欠席・遅刻が見られ、講義への集中力を欠くこともあったが、レポートは提出した			
				1	欠席・遅刻が見られ、講義への集中力も欠き、レポートの提出期限も守らない			
【教科書・参考書】 教科書： (株)ニチイ学館/テキスト4冊、スタディブック、ハンドブック、基礎ドリル、受験対策問題集(東京丸の内出版) 医科診療報酬点数表(社会保険研究所) 参考書：								
【その他】 課題や提出物等のフィードバックを行う。 医療事務Ⅰ・Ⅱもあわせて履修すること。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 点数算定のまとめ①	事前学習： 点数算定で学習した内容を復習しておくこと 事後学習： 基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
2 点数算定のまとめ② (確認テストの実施)	事前学習： 点数算定で学習した内容を復習しておくこと 事後学習： テキストを読み、実施した確認テストの内容を復習しておくこと	1時間
3 明細書作成 1	事前学習： テキストを読んでおくこと 事後学習： 基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
4 明細書作成 2	事前学習： テキストを読んでおくこと 事後学習： テキストを読み、実施した確認テストの内容を復習しておくこと	1時間
5 明細書作成 3	事前学習： テキストを読んでおくこと 事後学習： 基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
6 明細書作成 4	事前学習： テキストを読んでおくこと 事後学習： 基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
7 明細書点検 1	事前学習： テキストを読んでおくこと 事後学習： 基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
8 明細書点検 2	事前学習： テキストを読んでおくこと 事後学習： 基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
9 明細書点検 3	事前学習： テキストを読んでおくこと 事後学習： 基礎ドリル、受験対策問題集に取り組み自己採点しておくこと	1時間
10 明細書点検 4 (確認評価レポートの実施)	事前学習： これまでに学習した内容をテキストを読み総復習しておくこと 事後学習： テキストを読み、実施したレポートの内容を復習しておくこと	1時間
11 明細書点検 5 (確認評価レポートの実施)	事前学習： これまでに学習した内容をテキストを読み総復習しておくこと 事後学習： テキストを読み、実施したレポートの内容を復習しておくこと	1時間
12 明細書点検 6 (確認評価レポートの実施)	事前学習： これまでに学習した内容をテキストを読み総復習しておくこと 事後学習： テキストを読み、実施したレポートの内容を復習しておくこと	1時間
13 受験対策 1	事前学習： 技能審査試験 受験対策のための資料整理を行うこと 事後学習： 受験対策問題を再度復習として実施し、自己採点すること	1時間
14 受験対策 2	事前学習： 技能審査試験 受験対策のための資料整理を行うこと 事後学習： 受験対策問題を再度復習として実施し、自己採点すること	1時間
15 受験対策 3	事前学習： 技能審査試験 受験対策のための資料整理を行うこと 事後学習： 受験対策問題を再度復習として実施し、自己採点すること	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0070	エアラインEnglish	小川 弓美子	後期	選択	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 エアライン業界では、外国からの顧客や従業員と英語でやり取りをすることを想定し、高い英語力が求められています。この「高い英語力」に知識だけではなく、知識を使う実践力が含まれています。この授業ではエアライン業界での業務に必要な英語を学び、実際に使い練習することに主にSpeaking, Listening, Readingの能力を向上させることを目標とします。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	エアライン・観光の場면을イメージした接客や相手の立場を想定した対応ができている	受講態度	20	5	おもてなしの概念を理解し、迅速かつ適切な対応ができている。			
				4	おもてなしの概念を理解し、適切な対応ができている。			
				3	おもてなしの概念を理解し、適切な対応を時に補助を介しながらできている。			
				2	おもてなしの概念を理解し、適切な対応を大半を補助を介しながらできている。			
				1	おもてなしの概念を理解できておらず、全く適切な対応ができていない			
実践力	エアライン・観光の場면을イメージした英会話の基礎ができている	確認テスト	60	5	テストスコア 80以上			
				4	テストスコア 70以上			
				3	テストスコア 60以上			
				2	テストスコア 50以上			
				1	テストスコア 50未満			
向上心・責任感	お客様を想定した対応に関して、社会に出た際に当事者としての対応を会社の一員として対応するマインドがイメージできている	受講態度	20	5	授業内で、積極的に質問や自身の考えを発信できている。			
				4	授業内で、質問や自身の考えを発信できている。			
				3	授業内で、質問や自身の考えを指示されれば補助を介して発信できている。			
				2	授業内で、質問や自身の考えを指示されれば大半の補助を介して発信できている。			
				1	授業内で、質問や自身の考えを発信できていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： ハリディ・ダーレン著『Hospitality English』 HALICO株式会社・DMM英会話 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 確認テストのフィードバックは授業内に模範解答にてフィードバックを行う。 ※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション シラバス確認	事前学習： シラバス確認 事後学習： 授業の目的とゴールを確認する	1時間
2 Unit1 & オンライン英会話 Tchiketing for a Domestic Flight	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
3 Unit2&オンライン英会話 Domestic Flight Check-in	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
4 Unit3&オンライン英会話 International Flight Check-in	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
5 Unit4&オンライン英会話 Airport Lounge Service	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
6 Unit5&オンライン英会話 Assisting Transit Passengers	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
7 Unit6&オンライン英会話 Baggage Issues	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
8 Unit 7 & オンライン英会話 Welcome Abrord	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
9 Unit8&オンライン英会話 Before Takeoff	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
10 Unit9&オンライン英会話 In-flight Service	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
11 Unit 10&オンライン英会話 In-flight Sales	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
12 Unit 11&オンライン英会話 Passenger Care	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
13 Unit 12&オンライン英会話 Before Landing	事前学習： 教科書の当該箇所の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間
14 確認テスト	事前学習： 確認テストのための授業内容の総復習 事後学習： テスト復習	1時間
15 まとめアウトプット シュミレーションなど	事前学習： シュミレーションごとの対応例の予習 事後学習： 授業内容の復習	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0074	ビジネス英語	小川 弓美子	後期	選択	演習	1	○	2
〔授業のねらい及び身につく能力〕 豊富なリスニングおよびリーディングの演習問題に取り組むことを通して、TOEIC® L&Rの問題形式を理解し、慣れる 授業外でも英語学習を進めることができるように、日々の英語学習を習慣化できるようになることを目標とする。 また、座学で学んだ英語力をオンラインでのマンツーマン英会話により実践での対応をすることで、世界各国の講師とリアルタイムコミュニケーションをはかり発信することで学びを定着化させる。								
〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	TOEIC想定スコアの向上と英語での基礎的な応対スキルの習得	確認テスト	50	5	テストスコア 80以上			
				4	テストスコア 65以上			
				3	テストスコア 50以上			
				2	テストスコア 40以上			
				1	テストスコア 40未満			
コミュニケーション力	英語を使用したコミュニケーションの基礎を会得する	レポート	50	5	授業内外にてオンライン英会話でのコミュニケーションにて語彙を増やし積極的な質問・発信対応ができています。※DMMシルバー750分以上必須			
				4	授業内にてオンライン英会話でのコミュニケーションにて語彙を増やし積極的な質問・発信対応ができています。※DMMブロンズ以上必須			
				3	授業内にてオンライン英会話でのコミュニケーションが問題なくができています。※DMMブロンズ以上必須			
				2	授業内にてオンライン英会話でのコミュニケーションが図れていない。			
				1	授業内にてオンライン英会話の参加ができていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
〔教科書・参考書〕 教科書： DMM英会話、小川慶『毎日ミニ模試TOEIC®LISTENING AND READING テスト』（テイエス企画） 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。								
〔その他〕 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 確認テスト・レポートのフィードバックを行う。 ※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1	オリエンテーション(シラバスの確認) オンライン英会話のセット・自己紹介作成	事前学習: 英語での自己紹介の準備 事後学習: 自身の英語力の確認/スピーキングテストの実施計画を立案する	1時間
2	ミニ模試DAY1&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY1の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY1の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
3	ミニ模試DAY2&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY2の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY2の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
4	ミニ模試DAY3&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY3の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY3の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
5	ミニ模試DAY4&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY4の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY4の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
6	ミニ模試DAY5&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY5の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY5の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
7	ミニ模試DAY6&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY6の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY6の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
8	ミニ模試DAY7&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY7の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY7の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
9	ミニ模試DAY8&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY8の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY8の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
10	ミニ模試DAY9&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY9の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY9の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
11	ミニ模試DAY10&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY10の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY10の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
12	ミニ模試DAY11&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY11の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY11の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
13	ミニ模試DAY12&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY12の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY12の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
14	ミニ模試DAY13&オンライン英会話 TOEIC® PART 1～7の複合問題演習	事前学習: DAY13の予習、受講予定のオンライン教材の特定と確認 事後学習: DAY13の復習、受講済のオンラインLesson Noteの確認及び表現復習	1時間
15	確認テスト	事前学習: 確認テストのための授業内容総復習 事後学習: テスト復習	3時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0075	TOEIC基礎	小川 弓美子	前期	選択	演習	1	○	1
〔授業のねらい及び身につく能力〕 基礎的な文法と語彙を身につけ、TOEIC® L&Rを解く為の実践的な力を身につける。リーディングとリスニングを中心に、総合的な英語力の向上を る。多様なリスニングとリーディングの問題に取り組むことで、TOEIC® L&Rの各パートの出題形式になれ、出題傾向を把握する。 また目標と計画を立てて、将来のキャリアプランを念頭に置き授業外でも英語を学習する習慣を身につける。 授業の集大成としてTOEICIPテストを受け、自身のスコアを確認する機会を設ける。								
〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	TOEICのIPテストのスコア	確認テスト	60	5	スコア500以上、必要単語の理解が充分にできている			
				4	スコア400以上、必要単語の理解が概ねできている			
				3	スコア300以上、必要単語の理解が概ねできている			
				2	スコア200以上、必要単語の理解が概ねできている			
				1	スコア200未満、必要単語の理解が不十分			
コミュニケーション力	英語を使用してのコミュニケーションの基礎を会得する	受講態度	20	5	授業内で積極的に発言したり、議論を牽引した			
				4	授業内で積極的に発言をした			
				3	授業内で発言はあるが、積極的とまではいかない			
				2	授業内で発言が少ない			
				1	授業内で発言がなく意欲が見受けられない			
向上心・責任感	目標を立て自律的に英語学習が進められる	確認テスト	20	5	授業内課題、ミニテストの結果 8割以上			
				4	授業内課題、ミニテストの結果 6割以上			
				3	授業内課題、ミニテストの結果 5割以上			
				2	授業内課題、ミニテストの結果 4割以上			
				1	授業内課題、ミニテストの結果 4割未満			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
〔教科書・参考書〕 教科書： 授業の中で必要ように応じて紹介する。 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。								
〔その他〕 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 確認テスト・レポートのフィードバックを行う。 ※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション(シラバスの確認) TOEIC®L&Rの問題に触れ、勉強計画を立てよう	事前学習: 今まで行った英語学習を振り返る 事後学習: 授業内容の復習(要点の整理)	2時間
2 サンプルテスト(確認テスト)の受験(Pre-test) 問題と出題形式の解説	事前学習: TOEIC®L&R 各パートの問題形式を復習し、テストに備える 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
3 Part 1 図表から状態を聞き取ろう	事前学習: 小テストの準備 新出単語や表現の確認 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
4 Part1&2 質疑・応答問題	事前学習: 小テストの準備 新出単語や表現の確認 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
5 Part5 品詞に注目しよう	事前学習: 小テストの準備 新出単語や表現の確認 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
6 Part3、5 品詞のまとめと日常場面での会話	事前学習: 小テストの準備 新出単語や表現の確認 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
7 Part3 電話とオフィスでの会話	事前学習: 小テストの準備 新出単語や表現の確認 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
8 Part4 アナウンス、ラジオ、留守番電話	事前学習: 小テストの準備 新出単語や表現の確認 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
9 Part3, 4, 7 Part3, 4まとめと図表問題	事前学習: 小テストの準備 新出単語や表現の確認 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
10 授業の復習(誤答の解きなおし、要点の整理)	事前学習: 小テストの準備 新出単語や表現の確認 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
11 Part7 ダブルパッセージ、トリプルパッセージ	事前学習: 小テストの準備 新出単語や表現の確認 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
12 Part6 単語とフレーズに注目	事前学習: 小テストの準備 新出単語や表現の確認 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
13 サンプルテスト(確認テスト)の受験(Post-test) よりスコアを伸ばすために①	事前学習: 前期総復習(IPテストにむけての準備) 事後学習: 授業の復習(誤答した問題の解きなおし)	2時間
14 サンプルテスト(確認テスト)の受験(Post-test) よりスコアを伸ばすために②	事前学習: 前期総復習(IPテストにむけての準備) 事後学習: 授業の復習(誤答の解きなおし、要点の整理)	2時間
15 IPテストの実施	事前学習: IPテスト対策 事後学習: IPテストの結果振り返り、今後の学び計画の立案	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0076	観光学	小川 弓美子	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 観光とは単に旅行のことを指すのではなく非日常の体験全般のことであると定義し、今の時代に求められる観光とは何かを考えていきます。時代の変遷 の中での観光業の成長や変化を考察し、観光業や理解・知識の修得を目指します。また、世界の観光スポットや世界遺産も学び、教養を深めると共に おすすめ観光プランの立案と発表を通じて魅力を人に伝えることを経験し、観光業をはじめ社会に出た際の発信力を高めることにチャレンジしていき ます。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	国内外の観光に関して、基 礎的な知識が修得できてい る。(合計3回の実施)	確認テスト	50	5	授業内で実施する確認テストにて80以上に達している。			
				4	授業内で実施する確認テストにて70以上に達している。			
				3	授業内で実施する確認テストにて60以上に達している。			
				2	授業内で実施する確認テストにて50以上に達している。			
				1	授業内で実施する確認テストにて50未満に達している。			
思考力	修得した観光知識を元に、 観光プランの立案ができる	レポート	50	5	プランの目的・対象・実行の実現性・コストなどのプランポイントを抑えてお り、且つ、現実的な内容であり魅力の訴求が十分にできている。			
				4	プランの目的・対象・実行の実現性・コストなどのプランポイントを概ね抑え ており、且つ、魅力の訴求が十分にできている。			
				3	プランの目的・対象・実行の実現性・コストなどのプランポイントが部分的に 曖昧であるが、魅力の訴求が十分にできている。			
				2	プランの目的・対象・実行の実現性・コストなどのプランポイントが全体的に 曖昧であるが、訴求は概ねできている。			
				1	プランの目的・対象・実行の実現性・コストなどのプランポイントが全体的に 曖昧であり、訴求が全くできていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 授業の中で必要に応じて紹介する。 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 確認テストのフィードバックは模範解答の提供および授業内解説をする。 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション(シラバスの確認) 『観光』を学ぶ	事前学習: シラバスの確認 事後学習: 授業の要点を復習し、今後の学修計画を立てる	3時間
2 世界遺産の概要と説明 日本の世界遺産①	事前学習: 世界遺産検定に関して、どのような種類ものがあるか調べる 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
3 世界遺産の概要と説明 日本の世界遺産②	事前学習: 世界遺産検定に関して、どのような種類ものがあるか調べる 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
4 世界遺産の概要と説明 確認テスト① 日本の世界遺産③	事前学習: 世界遺産検定に関して、どのような種類ものがあるか調べる 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
5 世界遺産の概要と説明 日本の世界遺産④	事前学習: 世界遺産検定に関して、どのような種類ものがあるか調べる 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
6 世界遺産の概要と説明 負の遺産	事前学習: 世界遺産検定に関して、どのような種類ものがあるか調べる 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
7 世界遺産の概要と説明 確認テスト② 世界の世界遺産①	事前学習: 世界遺産検定に関して、どのような種類ものがあるか調べる 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
8 世界遺産の概要と説明 世界の世界遺産②	事前学習: 世界遺産検定に関して、どのような種類ものがあるか調べる 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
9 世界遺産の概要と説明 世界の世界遺産③	事前学習: 世界遺産検定に関して、どのような種類ものがあるか調べる 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
10 世界遺産の概要と説明 世界の世界遺産④	事前学習: 世界遺産検定に関して、どのような種類ものがあるか調べる 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
11 世界遺産の概要と説明 確認テスト③ 世界の世界遺産⑤	事前学習: 世界遺産検定に関して、どのような種類ものがあるか調べる 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
12 旅行企画の準備 グループ決め、コンセプト話し合い	事前学習: 旅行プランのポイントについて考える 事後学習: グループごとに企画をまとめる	3時間
13 旅行企画プレゼン準備 企画資料の作成・完成	事前学習: 旅行企画プレゼン準備 事後学習: プレゼン資料の完成	3時間
14 旅行企画プレゼン 企画の発表	事前学習: 旅行企画のプレゼン 事後学習: プレゼン内容の振り返り	3時間
15 まとめ	事前学習: 今までの授業の復習 事後学習: これからの観光を考える	3時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0077	ファッションショーⅠ	川田江美	前期	選択	演習	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 ファッションショーの実施にあたり、既に考案されたデザインの衣装への具現化を図る。特に学年を考慮し衣装作りの基礎基本部分を担当し、その役割を担う。また新たな提案や装飾の工夫の提案など積極的な協力姿勢も身につけていく。集大成としてファッションショーの実施が目標であり、更に次年度への下準備とする。ショー実施はチームワークが大切となり、コミュニケーション力、責任感が身につく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価 評価観点				
				評価				
コミュニケーション力	学年を超えて一つとなる協力姿勢が身につく	受講態度	30	5	欠席なく参加し、学年の壁を越え回りを巻き込み調和をもって取り組むことができる			
				4	欠席なく参加し、学年の壁を越え調和をもって取り組むことができる			
				3	欠席は少なく回りと調和がとれる			
				2	欠席が多く他者とかかわりが少ない			
				1	他者とかかわることができない			
実践力	ショーの企画立案をし、見せるための視点を持つことができる	作品	40	5	積極的に新しい提案ができ、みんなに論理的に説明し動かすことができる			
				4	積極的に新しい提案ができ、みんなに論理的に説明することができる			
				3	新しい提案を考案することができる			
				2	やや消極的で新たな提案を考えられない			
				1	消極的で自分の意見を持ってない			
向上心・責任感	現状に満足することなく、完成度を高める意識を持つ	受講態度	30	5	現状より高い目標に向かって、努力を惜しまずチームのために努力できる			
				4	高い目標設定に向かって努力できる			
				3	目標に向かって努力できる			
				2	目標に対して後ろ向きな気持ちになり努力を怠る			
				1	目標を持つことができない			
【教科書・参考書】 教科書： 使用しない 参考書： 適宜指示する								
【その他】 ショー終了時に自分の取り組み、役割について振り返りをし、来年度のショーに向かって如何に取り組むべきか考えさせる								
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】					目安時間(時間)
1	今年度ファッションショーコンセプトの理解		事前学習： ファッションショーへの取り組みの心構えの記述 事後学習： 本年度の計画を理解し、自分のすべき仕事を書き出す					1時間
2	衣装作りの基礎（衣服構成の理解、原型、型紙）		事前学習： ショーコンセプトに合致したモノ・コトの情報収集を行う 事後学習： ショーコンセプトによりイメージワードを抽出し分析を行う					1時間
3	衣装作りの基礎（素材の特徴理解と取り扱い）		事前学習： 様々なショー画像の閲覧を行う 事後学習： ショーコンセプトに収集した画像から活かせる情報をはめ込む					1時間
4	実践（以下すべてグループワーク）・・・衣装作り計画（チームわけ、縫製スケジュール）		事前学習： グループ衣装の縫い方手順をまとめる 事後学習： 縫製に必要な材料を集める					1時間
5	実践・・・衣装作り（裁断、しるしつけ）		事前学習： 衣装縫製方法を予習する 事後学習： 未完成部分を補う					1時間
6	実践・・・衣装作り（トワレの組み立て）		事前学習： 衣装縫製方法を予習する 事後学習： 未完成部分を補う					1時間
7	学外授業ファッションショー見学		事前学習： ファッションショーへの取り組みの心構え 事後学習： レポート整理					1時間
8	実践・・・衣装作り（本縫い、縫い代の始末を中心に）		事前学習： 本縫いに必要な副資材を集める 事後学習： 授業内で終わらなかった部分を補う					1時間
9	実践・・・衣装作り（本縫い、ファスナー付け、あきのしまつ）		事前学習： ファスナー付けを予習する 事後学習： 授業内で終わらなかった部分を補う					1時間

10 実践・・・衣装作り（本縫い、ファスナー付け、あきのしまつ）	事前学習： ショーの企画を考える 事後学習： ショーの動き方、ウォーキング、ポーズの練習	1時間
11 実践・・・衣装作り（本縫い、ファスナー付け、あきのしまつ）	事前学習： ショーの動き方、ウォーキング、ポーズの練習 事後学習： ショーの動き方、ウォーキング、ポーズの練習	1時間
12 実践・・・衣装効果を高める工夫（パニエ、アイロン仕上げ、装飾）	事前学習： 衣装の長所部分の抽出 事後学習： 授業内で終わらなかった部分を補う	1時間
13 実践・・・モデルとのフィッティング（舞台構成・動き・照明との連携効果の検証）	事前学習： ショーの動き方、ウォーキング、ポーズの練習 事後学習： ショーの動き方、ウォーキング、ポーズの練習	1時間
14 実践・・・モデルとのフィッティング（動きと音響との連携効果の検証）	事前学習： 衣装の修正方法の検討 事後学習： 授業内で終わらなかった部分を補う	1時間
15 実践・・・衣装修正	事前学習： 衣装の修正方法の検討 事後学習： 授業内で終わらなかった部分を補う	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0078	ファッションショーⅡ	川田 江美	前期	選択	演習	3	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 ファッションショーの実施にあたり、既に考案されたデザインの衣装への具現化を図る。特に学年を考慮し衣装作りを基礎から応用へと技術を向上させる。衣装全体のバランス、細部の処理、仕上げ、装飾などの役割を担う。またトータルコーディネートを考える上で、ショーで使う小物、靴、髪型等にも検討を実施する。積極的な協力姿勢とともにリーダーシップ能力も身につけていく。集大成としてファッションショーの実施が目標である。ショー実施はチームワークが大切となり、コミュニケーション力、責任感が身につく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	学年を超えて一つとなる協力姿勢が身につく	受講態度	25	5	欠席なく参加し、学年の壁を越え回りを巻き込み調和をもって取り組むことができる			
				4	欠席なく参加し、学年の壁を越え調和をもって取り組むことができる			
				3	欠席は少なく回りと調和がとれる			
				2	欠席が多く他者とのかかわりが少ない			
実践力	ショーの企画立案をし、見せるための視点を持つことができる	作品	60	5	積極的に新しい提案ができ、みんなに論理的に説明し動かすことができる			
				4	積極的に新しい提案ができ、みんなに論理的に説明することができる			
				3	新しい提案を考えることができる			
				2	やや消極的で新たな提案を考えられない			
向上心・責任感	現状に満足することなく、完成度を高める意識を持つ	受講態度	25	5	現状より高い目標に向かって、努力を惜しまずチームのために努力できる			
				4	高い目標設定に向かって努力できる			
				3	目標に向かって努力できる			
				2	目標に対して後ろ向きな気持ちになり努力を怠る			
				1	目標を持つことができない			
				1	目標を持つことができない			
				1	目標を持つことができない			
				1	目標を持つことができない			
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず 参考書： 適宜指示する								
【その他】 各作品等フィードバックを行う								
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】					目安時間(時間)
1	今年度ファッションショーコンセプトの理解・及びグループ別進捗確認		事前学習： ファッションショーへの取り組みの心構えの記述 事後学習： 本年度の計画を理解し、自分のすべき仕事を書き出す					1時間
2	衣装作りの応用(衣服構成の理解、原型、型紙)		事前学習： ショーコンセプトに合致したモノ・コトに関する情報収集を行う 事後学習： ショーコンセプトによりイメージワードを抽出し分析を行う					1時間
3	衣装作りの基礎・応用(異素材の取り合わせと取り扱い)		事前学習： 様々なショー画像の閲覧を行う 事後学習： ショーコンセプトに収集した画像から活かせる情報をはめ込む					1時間
4	実践(以下すべてグループワーク)・・・衣装作り計画(完成までの縫製スケジュール)		事前学習： グループ衣装の縫い方手順をまとめる 事後学習： 縫製に必要な材料を集める					1時間
5	実践・・・衣装作り(裁断、しるしつけ)		事前学習： 衣装縫製方法を予習する 事後学習： 未完成部分を補う					1時間
6	実践・・・衣装作り(トワレの組み立て)		事前学習： 衣装縫製方法を予習する 事後学習： 未完成部分を補う					1時間
7	学外授業ファッションショー見学		事前学習： ファッションショーへの取り組みの心構え 事後学習： レポート整理					1時間
8	実践・・・衣装作り(本縫い、縫い代の始末を中心に)		事前学習： 本縫いに必要な副資材を集める 事後学習： 授業内で終わらなかった部分を補う					1時間
9	実践・・・衣装作り(本縫い、ファスナー付け、あきのしまつ)		事前学習： ファスナー付けを予習する 事後学習： 授業内で終わらなかった部分を補う					1時間
10	実践・・・ファッションショー構成		事前学習： 舞台構成の企画を考える 事後学習： 舞台での動き方、ウォーキング、ポージングの練習					1時間

11 実践・・・ファッションショー構成 舞台映像	事前学習： 舞台での動き方、ウォーキング、ポーズの練習 事後学習： 舞台での動きの確認、反省	1時間
12 実践・・・衣装効果を高める工夫(パニエ、アイロン仕上げ、装飾、小物)	事前学習： 衣装の長所部分の抽出 事後学習： 授業内で終わらなかった部分を補う	1時間
13 実践・・・モデルとのフィッティング(舞台構成・動き・照明との連携効果の検証)	事前学習： ショーの動き方、ウォーキング、ポーズの練習 事後学習： ショーの動き方、ウォーキング、ポーズの練習	1時間
14 実践・・・モデルとのフィッティング(動きと音響との連携効果の検証、修正)	事前学習： 衣装の修正方法の検討 事後学習： 授業内で終わらなかった部分を補う	1時間
15 ファッションショー舞台構成	事前学習： ショーに関するイメージトレーニング 事後学習： ショーに関するイメージトレーニング	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0079	ブライダルプランニング	小川 弓美子	前期	選択	講義	2	○	1
〔授業のねらい及び身につく能力〕 ブライダル業界の基礎知識、職種の理解をし、ブライダルのイベント進行における流れや観点を理解する。プランニング演習を通じて、実務のイメージをブライダルコーディネーター技能検定3級（BIA検定）の合格を目指す。業界内で求められる人材やマーケットの将来性を考え、ブライダル業界への就職を目指す際の就職活動のバックアップをする。								
〔学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法〕								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	接客業に必要なマナーや敬語が理解できている	受講態度	30	5	検定合格基準（7割）以上の得点が取れている。			
				4	検定合格基準に努力を有すれば届く得点（6割）以上が取れている。			
				3	検定合格基準に十分な努力を有すれば届く得点（5割）以上が取れている。			
				2	検定合格基準には届くには相当な努力が必要な得点（4割以上）が取れている。			
				1	検定合格基準には届くには難しい得点（4割未満）が取れている。			
専門的知識・技術	ブライダル業界における基礎的な知識（職種理解など）を身に着ける	確認テスト	40	5	検定合格基準（7割）以上の得点が取れている。			
				4	検定合格基準に努力を有すれば届く得点（6割）以上が取れている。			
				3	検定合格基準に十分な努力を有すれば届く得点（5割）以上が取れている。			
				2	検定合格基準には届くには相当な努力が必要な得点（4割以上）が取れている。			
				1	検定合格基準には届くには難しい得点（4割未満）が取れている。			
コミュニケーション力	ブライダルにおける対応の基本や心構えの会得	受講態度	10	5	グループディスカッション・授業内課題等で積極的に発言・取りまとめ・対応が議論を牽引し、且つ、授業内容の理解が確認できた。			
				4	グループディスカッション・授業内課題等で積極的に発言・対応をし、且つ、授業内容の理解が確認できた。			
				3	グループディスカッション・授業内課題等で発言・対応はあるが積極的とまではいかないものの、授業内容の理解の確認ができた。			
				2	グループディスカッション等で発言や対応が少ないが、授業内容は概ね理解できていると確認ができた。			
				1	グループディスカッション等で発言がなく意欲・対応が見受けられず、授業内容の理解が確認できない。			
実践力	ブライダルプランニングの企画立案・プレゼン	作品	20	5	ブライダルプランニングについての知識を即戦力として活躍できるレベルまで装着できた。			
				4	ブライダルプランニングについての知識を理解し実践のイメージを持てる。			
				3	ブライダルプランニングにおいて知識を理解している。			
				2	ブライダルプランニングにおいて、その知識の理解に補填が必要。			
				1	ブライダルプランニングの知識の理解ができていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
〔教科書・参考書〕 教科書： BIA協会テキスト 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。								
〔その他〕 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 確認テスト、作品（プレゼン・企画）のフィードバックを行う。 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕		〔準備学習の内容〕		目安時間(時間)
1	ブライダルプランニング入門 ワーク：ブライダルコーディネーターになるために	事前学習 事後学習	テキストの予習 テキストを通読する	1時間
2	法律や基礎知識 ブライダルに関わる法律・基礎知	事前学習 事後学習	日本・海外の結婚やそれに伴う法律の理解 日本・海外の結婚やそれに伴う法律に関しての整理	1時間
3	ブライダルの風習 世界の結婚式、日本の地域別結婚式の特徴	事前学習 事後学習	国内外のブライダルの特徴の理解 国内外のブライダルの特徴の整理	1時間
4	見合い、結納、しきたり ブライダル周辺のしきたり	事前学習 事後学習	国内外のブライダルのしきたりの理解 国内外のブライダルのしきたりの整理	1時間
5	ブライダルの歴史① 日本における結婚式とは	事前学習 事後学習	日本における結婚観に関して考える ブライダルの歴史・日本の結婚感に関して整理	1時間
6	ブライダルの歴史② 神前式、仏式、キリスト教式、その他	事前学習 事後学習	結婚の形式の種類に関して考える 結婚の形式の種類に関して整理	1時間
7	現代のブライダル ブライズメイド・結納など	事前学習 事後学習	現代のブライダルの特徴に関して考える 現代のブライダルの特徴に関して整理	1時間
8	ブライダルビジネスとは マーケット・ブライダル関連授業	事前学習 事後学習	ブライダルビジネスに関して考える ブライダルビジネスに関して整理	1時間
9	ブライダルプランニング知識① 業務の流れ、成約業務、ペーパーワーク	事前学習 事後学習	テキスト復習 テキスト演習	1時間
10	ブライダルプランニング知識② ブライダルアイテム、披露宴の演出、写真、引き出物	事前学習 事後学習	テキスト復習 検定準備	1時間
11	確認テスト	事前学習 事後学習	テキスト復習 筆記テストの復習	1時間
12	ブライダルプランニング知識③(演習) グループワーク：構想プランニング、試験対策	事前学習 事後学習	テキスト復習 検定準備	1時間
13	ブライダルプランニングをしてみよう①(演習)	事前学習 事後学習	ブライダル知識の復習 検定準備	1時間
14	ブライダルプランニングをしてみよう②(演習)	事前学習 事後学習	ブライダル知識の復習 検定準備	1時間
15	ブライダルプランニングをしてみよう③(演習) 発表	事前学習 事後学習	ブライダル知識の復習 検定準備	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0080	ブライダル実技	水野 香苗	後期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 ブライダル業界で通用する思考・技術・知識・コミュニケーション力を身につける。現状のブライダル業界は多様化して変化も早い。時代のニーズを汲み取る力を身につけ【自身で考えを持てる】プランニング、オペレーションを行えるよう講義・実技を行っていく。最終的なねらいとしては、【人前式挙式】のシミュレーション施行を通じ人を動かすオペレーション力、物事を伝えるコミュニケーション力を培う。それぞれが役割を持って行う事で、プランナーの目線、フォローするスタッフの目線、ゲスト側の目線を体感し現場での即戦力に繋げていく。また、ブライダルコーディネーター検定取得の実技対策も行う。現役のプランナーが授業を行う事で、より実践的な手法を伝えていく。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	総合的にウェディングプランナーの仕事を理解する事が出来る	受講態度	10	5	基本的な知識の理解とともに自身の考えを持ち行動に移せる			
				4	基本的な知識の理解とともに自身の考えを持つことが出来る			
				3	基本的な知識の理解は出来ている			
				2	基本的な知識の理解が曖昧である			
				1	基本的な知識を理解していない			
思考力	実技テストを通し新郎新婦のニーズを理解し、考えて行動をする事が出来る	レポート	40	5	ニーズを理解し、状況に応じた接客を行う事が出来る。また自身の考えを持った接客を行えている			
				4	ニーズを理解し状況に応じた接客を行う事が出来る			
				3	場面に応じた接客を行うのみにとどまっている			
				2	ニーズへの理解不足があるが接客を行う姿勢はある			
				1	根本的に接客が出来ていない			
コミュニケーション力	授業内でのコミュニケーション実技において、説明、所作を適切に行う事が出来る	受講態度	20	5	わかりやすく説明が出来ていて所作に無駄がなく応用力もある			
				4	わかりやすく説明が出来ていて所作も行えている			
				3	説明は一通り出来ており、所作にも大きな問題はない			
				2	説明不足ではあるが部分によっては出来ている			
				1	説明が出来ておらず所作も出来ていない			
実践力	挙式リハーサル施行を行う事が出来る	受講態度	30	5	一連の流れを把握し先を読んだ動きを理解をしている			
				4	一連の流れを把握し理解出来ている			
				3	大まかに施行が出来ているが理解が不足している部分がある			
				2	施行が出来ていない部分が多く理解が不足している			
				1	全く理解が出来ていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 参考書： BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会『ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード』								
【その他】 課題のフィードバックを行う 実務家教員のよる授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション(全体の流れ) ウェディング全体像説明	事前学習: シラバスを読む・自分が思うウェディングプランナーをイメージしておく 事後学習: 授業内容の振り返りを行う	1時間
2 ウェディング実務説明(新規接客・ウェディング施行) コミュニケーション実技①: プライダルの接客姿勢	事前学習: テキストP95～P96 3コーディネーターの身なり、身ぶり、言葉づかいを 読んでおく 事後学習: 基本接客姿勢の振り返りをしておく	1時間
3 コミュニケーション実技②: 電話対応・新規来館導入	事前学習: テキストP101とP104<3>電話での問合せを読んでおく 事後学習: 一連の接客動作をノートにまとめておく	1時間
4 コミュニケーション実技③: 新規来館・ヒアリング 演習グループ分け	事前学習: 前回授業内容を振り返っておく 事後学習: 授業での課題を行う グループでテストの役割を決めておく	1時間
5 結婚式全体の流れ・進行表について 進行表・タイムテーブルの考え方・実践作業	事前学習: テキストP206～P210を読んでおく 事後学習: 新郎新婦の立ち位置復習・挙式の流れの復習	2時間
6 人前式の流れについて(進行表・コンテンツ・名称) WEDDING業クリエイターゲスト講師参加	事前学習: テキストP82 第7章人前式を読んでおく 事後学習: 参考進行表の確認把握	2時間
7 人前式実技①: 新郎新婦位置・ゲスト誘導・入場～誓いの言葉	事前学習: 前回授業内容を振り返っておく 事後学習: 一連施行動作をノートにまとめておく	2時間
8 人前式実技②: 指輪の交換～退場	事前学習: 前回授業内容を振り返っておく 事後学習: 一連施行動作をノートにまとめておく	2時間
9 人前式実技③: 挙式前後の流れの説明 挙式リハーサル全体の流れ練習	事前学習: 前回授業内容を振り返っておく 事後学習: 挙式前から人前式全体の流れを復習をしておく	2時間
10 人前式実技グループテスト① フィードバック	事前学習: グループテストに向けて流れの確認・施行資料読み込み 事後学習: チーム実技のフィードバック後の修正を考えまとめる	2時間
11 人前式実技グループテスト② フィードバック	事前学習: グループテストに向けて流れの確認・施行資料読み込み 事後学習: チーム実技のフィードバック後の修正を考えまとめる	2時間
12 人前式実技グループテスト③ フィードバック	事前学習: グループテストに向けて流れの確認・施行資料読み込み 事後学習: チーム実技のフィードバック後の修正を考えまとめる	2時間
13 人前式実技グループテスト④ フィードバック	事前学習: グループテストに向けて流れの確認・施行資料読み込み 事後学習: チーム実技のフィードバック後の修正を考えまとめる	1時間
14 BIA検定予測テスト練習・挙式進行表作成の仕方 レポート課題の説明	事前学習: 実技グループテストの修正点・流れを再度確認しておく 事後学習: レポート課題に向け授業の振り返りをしておく	2時間
15 まとめと振り返り 授業内でカメラマン・ヘアメイクなどゲスト講師あり	事前学習: 前回授業内容を振り返っておく 事後学習: 授業を通して学んだウェディングの全体像と挙式の流れを整理する	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0084	AIとマネジメント	阿久津 毅	前期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 今後、人工知能はインターネットやスマートフォンのように、一般の人にとって身近で当たり前の存在になるでしょう。しかも、その影響力はインターネットやスマートフォンの比ではないといわれています。本講座では、AI技術が社会をどのように変化させ、私たちのビジネスや生活にどのような影響を与えるかを解説します。 また、併せて現在のマネージメントに重要な要素であるデータの処理の具体的なエクセルでの使用方法を示します。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標(規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	ICTやマネージメントに係る知識を身につける。	確認テスト	30	5	マネージメントに係わる問題の90%以上が解ける。			
				4	マネージメントに係わる問題の80%以上が解ける。			
				3	マネージメントに係わる問題の70%以上が解ける。			
				2	マネージメントに係わる問題の50%以上が解ける。			
				1	マネージメントに係わる問題を50%未満しかできない。			
実践力	課題に対して真摯に取り組み、生成AIを利用することが出来る。	作品	70	5	AIを利用し、課題を80%以上行なうことが出来る。			
				4	AIを利用し、課題を70%以上行なうことが出来る。			
				3	AIを利用し、課題を50%以上行なうことが出来る。			
				2	AIを利用し、課題を行なうことが出来る。			
				1	データ処理を行うことが出来る。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 利用せず 参考書： 授業内のパワポ資料などを自由にダウンロード可								
【その他】 授業内容の理解度の確認にはMicrosoft365を用い、フィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 AIとは 企業活動にかかわるお金	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
2 生成AIを利用した文書作成①	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
3 生成AIを利用した文書作成②	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
4 生成AIを利用した文書作成③ 提出有	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
5 生成AIを利用した画像作成①	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
6 生成AIを利用した画像作成②	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
7 生成AIを利用した画像作成③ 提出有	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
8 生成AIを利用したプログラミング①	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
9 生成AIを利用したプログラミング②	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
10 生成AIを利用したプログラミング③	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
11 生成AIを利用したプログラミング④	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
12 生成AIを利用したプログラミング⑤ 提出有	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
13 マネージメントに必要なデータ処理 財務諸表①	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
14 マネージメントに必要なデータ処理 財務諸表②	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
15 まとめ 確認テスト	事前学習： 1-4回までの授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0085	エアライン空港実務体験A	近藤 純子	通年	選択	演習	2	○	1
<p>【授業のねらい及び身につく能力】</p> <p>自己分析、社会人としての心構え、接遇の基本を元に空港旅客サービスのお客様対応レベルを想定したプログラムを通じ、コミュニケーション力の重要性やサービスマインドを認識して、1歩踏み出す行動力を身に付ける。実務経験を事例提供や実習を通じて理解しやすく伝え、自ら考え、主体的に行動できる意識を醸成する。</p>								
<p>【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人としてのマナーを通じ他者を尊重し気遣う事が出来る	レポート	10	5	実践に向けて積極的に調べ、論理的に考察出来ている			
				4	実践に向けて積極的に調べている			
				3	情報収集にとどまっている			
				2	理解不足である			
				1	考察がない			
社会人基礎スキル	社会人としてのマナーを通じ他者を尊重し気遣う事が出来る	確認テスト	20	5	予習・復習が良くなされており、90%以上の得点である(5回実施予定)			
				4	予習・復習が良くなされており、80%以上の得点である			
				3	一定の理解度はあるものの、知識が定着していない			
				2	習得しようとする姿勢はあるものの、理解度が不足している			
				1	全く理解出来ていない			
コミュニケーション力	チームの人々と協力して、適切且つ積極的に行動出来る	レポート	10	5	自己分析を進め他者を理解する必要性を認識し、論理的に考察出来ている			
				4	自己分析、他己理解が出来ている			
				3	一定の理解度はあるものの、知識が定着していない			
				2	理解不足である			
				1	考察がない			
コミュニケーション力	チームの人々と協力して、適切且つ積極的に行動出来る	受講態度	20	5	授業の目的を達成するためにグループ内で自ら協力し効率よく出来た			
				4	授業の目的を達成するためにグループ内で自ら協力して出来た			
				3	協力体制がやや欠けている			
				2	協力する姿勢はあるものの、他者から指摘を受けている			
				1	授業の目的が理解されず非協力的である			
向上心・責任感	エアライン実務を応用しビジネス社会を想定した行動を身に付けることが出来る	レポート	10	5	エアラインの実務を理解して実践に繋がる企業研究が出来、具体的な行動例を上げる事が出来る			
				4	エアラインの実務を理解して実践に繋がる企業研究が出来る			
				3	エアライン実務の理解にとどまっている			
				2	エアライン実務に対する理解が不足である			
				1	考察がない			
向上心・責任感	エアライン実務を応用しビジネス社会を想定した行動を身に付けることが出来る	受講態度	30	5	エアラインの実務を応用して実践する事が出来る。実践した結果について改善点を見つけて修正、向上していく事が出来る			
				4	エアラインの実務を理解して実践する事が出来る			
				3	エアラインの実務に対する理解がやや欠けている			
				2	エアラインの実務に対する理解が欠けている			
				1	実践出来るレベルに達していない			
<p>【教科書・参考書】</p> <p>教科書： パワーポイント投影、プリント配布</p> <p>参考書：</p>								
<p>【その他】</p> <p>課題とレポートのフィードバックを行う</p> <p>※実務家教員による授業</p>								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 社会人としての心構え	事前学習： シラバスに目を通し授業内容を確認しておく 事後学習： 学生と社会人の違いを理解し心構えの要点を理解する	1時間
2 マナー・接遇 マナー・接遇の必要性	事前学習： マナー・接遇とは何か考えておく 事後学習： マナーの基本を日常生活で実践する	1時間
3 社会人としての気遣い 伝え方・チームワーク・コミュニケーション	事前学習： 気遣いとは何か考えておく 事後学習： マナー・接遇・気遣いについてレポートにまとめる	1時間
4 自己分析Ⅰ 自分の強み、弱み、自分自身の理解度を高める	事前学習： 過去の自分の振り返り、長所、短所等に目を向ける 事後学習： 自分の特徴を認識して強み、弱みを意識する	1時間
5 自己分析Ⅱ ワークを通じて自分の軸を認識する	事前学習： 自己分析Ⅰで認識した強みを伸ばす方法を考えておく 事後学習： 学んだ事を実践する	1時間
6 自己理解と他者理解、確認テスト 自己と他者の違い、想像する力	事前学習： マナー・接遇、社会人としての気遣いで学んだ事を復習する 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
7 第一印象 笑顔・身だしなみ・VTR撮影	事前学習： 身だしなみとは何か調べておく 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
8 航空業界研究Ⅰ 航空業界の仕事を学ぶ	事前学習： 空港で働く人たちの職種を調べておく 事後学習： 調べたことを確認する	1時間
9 航空業界研究Ⅱ 航空業界の仕事を学ぶ	事前学習： 空港で働く人たちの職種を調べておく 事後学習： 調べたことを確認する	1時間
10 航空業界研究Ⅲ 航空業界の仕事を学ぶ	事前学習： 空港で働く人たちの職種を調べておく 事後学習： 調べたことを確認する	1時間
11 立ち居振る舞い実践・声の印象 立ち方、歩き方、座り方・声のトーン、大きさ、テンポ	事前学習： 第一印象で学んだ事を復習する 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
12 言葉遣い 敬語（尊敬語、謙譲語、丁寧語）クッション言葉	事前学習： 敬語について調べておく 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
13 接遇の基本Ⅰ、確認テスト 挨拶、自己紹介	事前学習： 自己紹介を考えておく、言葉遣いの復習をする 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
14 空港サービス基礎知識 GS等の仕事理解	事前学習： 空港サービスについて考えておく 事後学習： 成田空港での実務体験で実践する	1時間
15 メイクレッスン、確認テスト 清涼感のあるメイク、髪型	事前学習： 清涼感、信頼感のある身だしなみを考えておく 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する、社会人基礎知識についてレポートにまとめる	1時間

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
16 接遇の基本Ⅱ 話を聞く力、来客応対	事前学習： 接遇の基本Ⅰで学んだ事を復習する 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
17 接遇の基本Ⅲ コミュニケーションの取り方	事前学習： 接遇の基本Ⅰ、Ⅱで学んだことを復習する 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
18 表現力アップ 分かりやすい表現、魅力的な表現、感じの良い表現	事前学習： 前期の接遇の基本で学んだ事を復習する 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
19 ビジネスマナー、確認テスト 就業中のルール、職場内のマナー、報連相	事前学習： ビジネスに必要なマナーを考えておく 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
20 コミュニケーション力アップ アイコンタクト、伝え方	事前学習： コミュニケーションとは何か考えておく 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
21 チームワーク力アップ チームの中の役割、チームの在り方	事前学習： チームワークに必要なスキルを考えておく 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
22 就職活動についてⅠ 就職活動の流れ	事前学習： 就職に必要な情報を調べておく 事後学習： 学んだ事を就職活動に活かす	1時間
23 企業研究 航空業界研究	事前学習： ANAについて調べておく 事後学習： 学んだ事を就職活動に活かす、航空業界についてレポートにまとめる	1時間
24 空港旅客サービス接遇基本 航空会社の相応しい接遇	事前学習： これまでの学びを復習する 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
25 空港旅客サービスコミュニケーション 空港旅客サービスまとめ	事前学習： これまでの学びを復習する 事後学習： 学んだ事を日常生活で実践する	1時間
26 就職活動についてⅡ 履歴書、エントリーシート、面接、WEB面接	事前学習： 就職に必要な準備を考えておく 事後学習： 学んだ事を就職活動に活かす	1時間
27 自己PRⅠ 自己PR作成、自分らしさ	事前学習： 自己PRを考える 事後学習： 自分らしさを伝える方法を考える	1時間
28 自己PRⅡ 自己PR実践	事前学習： 自己PRⅠの内容を具体的に考える 事後学習： 実践で学びを復習する	1時間
29 面接対策、確認テスト 面接、グループ面接、ディベート	事前学習： 自己PR、志望動機について考えておく 事後学習： 学んだ事を就職活動に活かす	1時間
30 まとめ 社会人基礎スキル、航空業界研究	事前学習： これまでの学びを復習する 事後学習： 就職準備についての学びをレポートにまとめる	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0086	エアライン空港実務体験B	小川 弓美子	前期	選択	演習	1	○	4
〔授業のねらい及び身につく能力〕 教育連携協定を締結しているANAエアラインスクールとの連携授業である。自己分析、社会人としての心構え、接遇の基本をもとに、空港旅客サービスのお客様対応を想定したプログラムを通じて、コミュニケーション力の重要性やサービスマインドを認識して、1歩踏み出す行動力を身につける。それを成田空港での実務体験で実習する。※ただし、ANAエアラインスクールのプログラムは社会情勢に応じて変更の可能性があります。								
〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	様々な方が利用する施設の中で適切なマナーや接遇での対応ができる。	受講態度	25	5	空港での対応をイメージしたマナー・接遇が積極的且つ適正に実施してきている			
				4	空港での対応をイメージしたマナー・接遇が適正に実施してきている			
				3	空港での対応をイメージしたマナー・接遇が支援を要するが実施してきている			
				2	空港での対応をイメージしたマナー・接遇が支援を要しても実施に不安がある			
				1	空港での対応をイメージしたマナー・接遇に関して理解・実施が全くできていない。			
コミュニケーション力	グループワークにおいてチームワークを発揮することができる。	受講態度	25	5	チーム・ワーク内での積極的発信且つ、工夫改善などのリーダーシップを発揮できている。			
				4	チーム・ワーク内での積極的な発信ができている。			
				3	チーム・ワーク内で指示があった際に必要な発信ができている。			
				2	チーム・ワーク内で指示があった際に必要な発信が介助のもとにできている。			
				1	チーム・ワーク内で指示があった際に必要な発信ができない。			
実践力	実際の空港現場を想定しての臨機応変な対応ができている。	受講態度	25	5	空港内での接客・接遇において自ら働きかけをして、臨機応変な対応ができる			
				4	空港内での接客・接遇において臨機応変な対応ができる			
				3	空港内での接客・接遇において指示された内容を的確に対応できている			
				2	空港内での接客・接遇において指示された内容に関しても対応に不安がある			
				1	空港内での接客・接遇において指示された内容の対応が全くできない。			
向上心・責任感	空港現場におけるホスピタリティを体得し、社会に出てから企業の一員として責任感を持った行動ができる。	受講態度	25	5	ホスピタリティに関する理解を十分にできている、受講態度に当事者意識と積極的な体現として発揮している			
				4	ホスピタリティに関する理解を十分にできている、受講態度にも体現として適切に発揮できている			
				3	ホスピタリティに関する理解ができている、受講態度にも体現として適切に発揮している。			
				2	ホスピタリティに関する理解ができている、受講態度にも介助のもとに体現ができている。			
				1	ホスピタリティに関する理解ができている、受講態度にも介助を有しても体現できていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
〔教科書・参考書〕 教科書： ANAエアライン専用テキスト 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。								
〔その他〕 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 受講態度のフィードバックは授業内に行う								

〔授業の内容・スケジュール〕		〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1	ANAエアラインスクール① マインドセット	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
2	ANAエアラインスクール② 第一印象（1）	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
3	ANAエアラインスクール③ 第一印象（2）	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
4	ANAエアラインスクール④ 接遇の基本	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
5	ANAエアラインスクール⑤ 言葉遣い	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
6	ANAエアラインスクール⑥ 声の印象	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
7	ANAエアラインスクール⑦ 就活サポート（1）	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
8	ANAエアラインスクール⑧ ビジネスマナー	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
9	ANAエアラインスクール⑨ 自己PR実習	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
10	ANAエアラインスクール⑩ 就活サポート（2）	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
11	ANAエアラインスクール⑪ 就活サポート（3）	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
12	ANAエアラインスクール⑫ GS講座（1）	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
13	ANAエアラインスクール⑬ GS講座（2）	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
14	ANAエアラインスクール⑭ GS実務（1）	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間
15	ANAエアラインスクール⑮ GS実務（2）	事前学習： ワーク・課題の対応 事後学習： 授業の復習・要点まとめ	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0087	フードデザイン実習	木内 苑子	後期	選択	実習	1	○	3
<p>【授業のねらい及び身につく能力】</p> <p>料理の魅力の一つは見た目の美しさである。器・盛り付け・テーブルコーディネートなどの工夫を凝らして、フードビジネスに通じる見せる料理を実習する。国や地域によって異なる食材や調理法を経験し、食習慣や食文化の違いを理解しそれを生かした献立を提案できるようにする。季節に応じたもてなし料理、おせち料理や成人を祝うハレの料理を通して日本人のおもてなしの心を感じ取る。</p>								
<p>【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	実習のレポートが適切に書けることを目指す。	レポート	40	5	毎回の実習後に提出するレポートの評価点が80%以上			
				4	毎回の実習後に提出するレポートの評価点が70%以上			
				3	毎回の実習後に提出するレポートの評価点が60%以上			
				2	毎回の実習後に提出するレポートの評価点が50%以上			
				1	毎回の実習後に提出するレポートの評価点が50%未満			
コミュニケーション力	調理の段取りを考え、チームが協力して作業を進めることができる。	受講態度	40	5	チームの中で率先して計画を立て、段取りよく調理することができる			
				4	周りの状況を判断し、自ら動いて段取りよく調理することができる			
				3	調理の手順を理解し、分担した仕事をこなすことができる			
				2	調理の手順や段取りの理解にやや欠けるところがあり作業がとどこおる			
				1	協力して調理をすることができない			
専門的知識・技術	盛り付けや器の選択を工夫して、見栄えの良い料理に仕上げることができる。各国の食文化、日本の行事食などを理解してテーブルセッティングができる。	作品	20	5	仕上げがとても優れている			
				4	仕上げに工夫が凝らされている			
				3	料理の仕上げに工夫が見える			
				2	料理の仕上げにやや工夫が不足している			
				1	料理を見栄えよくすることができない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】</p> <p>教科書： 使用しない。適宜プリント配布</p> <p>参考書： 各種料理レシピ本</p>								
<p>【その他】</p> <p>レポートのフィードバックを行う フードコーディネーター3級の必修科目</p>								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 料理写真の撮り方①	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 実習レポート作成	1時間
2 フルーツカッティング 料理写真の撮り方②	事前学習: フルーツカッティングについて調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
3 お茶の種類と淹れ方 緑茶・中国茶・紅茶	事前学習: 茶の種類と淹れ方について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
4 中華点心 肉包子 他	事前学習: 点心について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
5 高野豆腐・大豆ミートを使った料理 唐揚げ、麻婆豆腐	事前学習: 大豆加工食品とその利用方法について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
6 魚のおろし方 鯔の三枚おろし 竜田揚げ	事前学習: 魚のおろし方について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
7 酢飯を使った料理 太巻き寿司 いなり寿司	事前学習: 寿司の種類について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
8 東アジア料理 チャプチェ 他	事前学習: 東アジア料理について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
9 東南アジア料理 フォー・ガー 他	事前学習: 東南アジア料理について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
10 スペイン料理 パエリア 他	事前学習: スペイン料理について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
11 クリスマス料理 ローストチキン 他	事前学習: 各国のクリスマス料理について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
12 台湾料理 ルーローハン 他	事前学習: 台湾の食文化について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
13 正月料理 おせち料理	事前学習: 正月料理について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
14 ハレの日の料理 赤飯 鱈の照り焼き 茶碗蒸し	事前学習: ハレの日の料理について調べる 事後学習: 実習レポート作成	1時間
15 チーズの種類と特徴、まとめ 調理室の整備	事前学習: チーズの種類について調べる 事後学習: 授業内まとめレポート作成・提出	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0092	産学連携プロジェクト	小川 弓美子	後期	選択	演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 実社会で事業を行っている複数の業種・業界の企業や団体と連携し、プロジェクトに関わり経験のなかで自身のキャリア構築へつなげていくことを目的としています。プロジェクトメンバーとしての予算管理・役割分担・実施スケジュールなどを学生自身が考え、挑戦していくことを基本としており、社会で活躍する人方との接点を通してビジネススタンス・マナーに対して主体的に修得していきます。 TeamsやZoomを使用して学生・企業との相互のコミュニケーションをとりながら実社会をイメージしてプロジェクトを進めていきます。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	スケジュール管理、不明点に対するの質問、チーム内の役割分担などが適切にできている。	レポート	35	5	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、自ら率先して当事者意識を発揮し対応することができている。			
				4	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、協力を仰ぎながらチームワークを意識し対応することができている。			
				3	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができている。			
				2	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていないが、対応の意思はある。			
				1	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていない上に、対応の意思がない。			
思考力	プロジェクトの目的・意義・対象を考え、企業・エンドユーザーの満足度を考える企画・運営内容になっている。	作品	40	5	プロジェクト運営において関係各位への配慮を行い、円滑・主体的に期間内に目的を達することができた。			
				4	プロジェクト運営において関係各位への配慮を行い、円滑に期間内に目的を達することができたが、主体性に関しては周囲の協力を得ながらであった。			
				3	プロジェクト運営において関係各位への配慮・スケジュールには課題があるが目的を達し、主体性に関しては周囲の協力を得ながら実行できた。			
				2	プロジェクト運営において関係各位への配慮・スケジュールには課題があり、目的を達することが困難であった。			
				1	プロジェクト運営において関係各位への配慮・スケジュールには課題があり、目的を達することが全くできなかった。			
実践力	企画の変更や報告や修正など予期せぬことへの対処が適切にできている。	作品	25	5	予期せぬ事態において複数の代替案を出し問題なくプロジェクト遂行できた。			
				4	予期せぬ事態においても代替案を出し問題なくプロジェクト遂行できた。			
				3	予期せぬ事態において、代替案が自ら出せず周囲の協力を得て遂行できた。			
				2	予期せぬ事態において、代替案を周囲に協力を得ることもできなかった。			
				1	予期せぬ事態において、代替案の必要性を感じることはできなかった。			
【教科書・参考書】 教科書： 授業の中でプリント等を配布する 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介をする								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 作品のフィードバックを授業の中で行う。 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕		〔準備学習の内容〕		目安時間(時間)
1	オリエンテーション(シラバス確認)	事前学習	シラバスの確認	2時間
	産学連携とは	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
2	プロジェクト企画①	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	プロジェクト概要告知	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
3	プロジェクト企画②	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	役割分担、実施計画の立案	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
4	プロジェクト企画③	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	企画会議	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
5	プロジェクト運営	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	実施計画に沿ってプロジェクト運営	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
6	プロジェクト運営	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	実施計画に沿ってプロジェクト運営	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
7	プロジェクト運営	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	実施計画に沿ってプロジェクト運営	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
8	プロジェクト運営	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	中間報告会	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
9	就職指導	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	実施計画に沿ってプロジェクト運営	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
10	プロジェクト運営	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	実施計画に沿ってプロジェクト運営	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
11	プロジェクト運営	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	実施計画に沿ってプロジェクト運営	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
12	プロジェクト運営	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	実施計画に沿ってプロジェクト運営	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
13	プロジェクト運営	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	実施計画に沿ってプロジェクト運営	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
14	プロジェクト運営	事前学習	企画に必要なデータ・資料の準備	4時間
	実施計画に沿ってプロジェクト運営	事後学習	授業内容の復習・次週企画への準備	
15	最終報告会	事前学習	今までの授業内容の振り返り	2時間
	実施内容のシェア	事後学習	各プロジェクト概要の感想のまとめ	

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0093	ビジネス実務 (インターン シップを含む)	阿久津 毅	通年	選択	講義・実習	3	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 本授業では、現在AIによってビジネスシーンは大きく変化しています。その状況下では、交渉力が重要性を増していると考えられます。そのため、本授業ではプレゼンテーション用のドキュメントを作成するパワーポイントの資料作成について学びます。AIによる成果物は人間による手直しが必要なことが多く、グループワークやファイルの管理なども同様です。また、グループワークやプレゼンテーションを通して、議論する力や論理的に考える力を養っていくものです。また、ビジネスにおいて必要な一般常識の修得も目指す。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	プレゼンテーションアプリの基礎的な利用法を理解する	受講態度	30	5	アプリの利用法を100%修得している。			
				4	アプリの利用法を90%以上修得している。			
				3	アプリの利用法を80%以上修得している。			
				2	アプリの利用法を70%以上修得している。			
				1	アプリの利用法を60%以上修得している。			
専門的知識・技術	プレゼンテーション用のアプリPowerPointを効果的に利用できるようになる。	確認テスト	40	5	アプリの活用法を100%修得している。			
				4	アプリの活用法を90%以上修得している。			
				3	アプリの活用法を80%以上修得している。			
				2	アプリの活用法を70%以上修得している。			
				1	アプリの活用法を60%以上修得している。			
社会人基礎スキル	ビジネス社会に必要な知識を習得する	確認テスト	30	5	ビジネスに必要な知識を100%修得している。			
				4	ビジネスに必要な知識を90%以上修得している。			
				3	ビジネスに必要な知識を80%以上修得している。			
				2	ビジネスに必要な知識を70%以上修得している。			
				1	ビジネスに必要な知識を60%以上修得している。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 特になし 参考書： 適宜資料を配布する								
【その他】 確認テストやレポートのフィードバックを授業内で行う								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション Microsoft365について	事前学習： シラバスの確認、就職活動の状況について調べておく 事後学習： 授業を振り返り、自身の課題を明確にする	2時間
2 プレゼンテーションの管理 オプションや表示の変更	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 当該パートの理解・復習	2時間
3 プレゼンテーションの管理 印刷設定	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 当該パートの理解・復習	2時間
4 プレゼンテーションの管理 スライドショーの設定、実行	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 当該パートの理解・復習	2時間
5 プレゼンテーションの管理 スライド、配布資料、ノートのマスタを変更	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 当該パートの理解・復習	2時間
6 プレゼンテーションの管理 印刷設定	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 確認テストの復習	2時間
7 スライド管理 スライドを挿入する	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 誤答箇所の確認、当該パートの理解・復習	2時間
8 スライドの管理 スライドを変更する	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 誤答箇所の確認、当該パートの理解・復習	2時間
9 スライドの管理 スライドを並べ替える、グループ化する	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 誤答箇所の確認、当該パートの理解・復習	2時間
10 テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 テキストを書式設定する	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 誤答箇所の確認、当該パートの理解・復習	2時間
11 テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 リンクを挿入する	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 誤答箇所の確認、当該パートの理解・復習	2時間
12 テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 図を挿入する、書式設定する	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 誤答箇所の確認、当該パートの理解・復習	2時間
13 テキスト、図形、画像の挿入と書式設定 グラフィック要素の挿入、配置、グループ化	事前学習： 前回授業での課題を意識し、今日の授業での目標を立てる 事後学習： 誤答箇所の確認、当該パートの理解・復習	2時間
14 インターンシップについて (小川)	事前学習： インターンシップについて調べてくる 事後学習： インターンシップ先の情報収集、調査	2時間
15 インターンシップについて (小川)	事前学習： インターンシップ先の情報について調べてくる 事後学習： インターンシップ先の情報収集、調査	2時間

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
16 インターンシップ実践 学内インターン	事前学習： インターンシップ先の情報について調べてくる 事後学習： 学内インターンに向けての準備	2時間
17 学内インターンシップ 企業の方の講話を通して	事前学習： インターンシップ先の情報について調べてくる 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
18 表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 表を挿入する、書式設定する	事前学習： インターンシップ先の情報について調べてくる 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
19 表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 グラフを挿入する、書式設定する	事前学習： 振り返り整理したものをまとめておく 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
20 表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 Smartを挿入する変更する	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
21 表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 3D モデルを挿入する、変更する	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
22 表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入 メディアを挿入する、管理する	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
23 画面の切り替えやアニメーションの適用 画面切り替えを適用する、設定する	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
24 画面の切り替えやアニメーションの適用 スライドのコンテンツにアニメーションを設定する	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
25 模擬試験①	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
26 模擬試験②	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
27 模擬試験③	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
28 模擬試験④	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
29 模擬試験⑤	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り整理する	2時間
30 まとめ	事前学習： これまでの授業の復習 事後学習： 授業を振り返り自身の課題について考察する	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0094	調剤薬局事務	岸本 智子	集中	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 医療事務Ⅰ、Ⅱ、Ⅲにて得た知識を取り入れながら、調剤薬局収入の柱となる調剤報酬の点数算定方法について学習し、その仕組みを理解する。 講義内にて修了試験を実施し、一般財団法人 日本医療教育財団「調剤報酬請求事務」の技能認定資格取得を目標とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	医療保険制度、患者接遇、調剤報酬に関する基礎が理解できる	確認テスト	30	5	調剤報酬請求事務の内容をよく理解し、目標を十分に達成した			
				4	調剤報酬請求事務の内容をよく理解し、目標を達成した			
				3	調剤報酬請求事務の内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成			
				2	調剤報酬請求事務の内容をほぼ理解したもの、目標達成には努力が必要			
				1	調剤報酬請求事務の内容の理解や目標達成にはかなりの努力が必要			
専門的知識・ 技術	調剤報酬の仕組みを理解し、正しく算定することができる	レポート	50	5	調剤報酬算定の内容をよく理解し、目標を十分に達成した			
				4	調剤報酬算定の内容をよく理解し、目標を達成した			
				3	調剤報酬算定の内容をほぼ理解し、目標をもう少しで達成			
				2	調剤報酬算定の内容をほぼ理解したもの、目標達成には努力が必要			
				1	調剤報酬算定の内容の理解や目標達成にはかなりの努力が必要			
専門的知識・ 技術	調剤薬局の窓口担当者としてのマナーが習得できている受講態度を含め、ルールを守ることができる	受講態度	20	5	レポートの提出期限をよく守り、無断欠席、遅刻なく講義に積極的に参加した			
				4	レポートの提出期限をよく守り、無断欠席、遅刻はほぼなく講義に集中した			
				3	欠席・遅刻は見られたものの、レポートの提出期限を守り、講義にも集中した			
				2	欠席・遅刻が見られ、講義への集中力を欠くこともあったが、レポートは提出した			
				1	欠席・遅刻が見られ、講義への集中力も欠き、レポートの提出期限も守らない			
【教科書・参考書】 教科書： (株)ニチイ学館/調剤薬局事務テキスト(調剤報酬編)、My Best Note(演習用サブテキスト)、保険薬早見表 参考書：								
【その他】 講義内にて確認テスト、レポートのフィードバックを行う。 医療事務Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを事前に履修すること。 本授業は前期に開講するが、成績及び単位の認定は後期末に行う。 テキスト類の他に電卓を毎回持参すること。(携帯電話の電卓機能使用は不可とする)								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 調剤報酬の仕組みと薬剤入門	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 演習問題に取り組み自己採点しておくこと インデックスを貼り索引し易くしておくこと	1時間
2 処方箋の記載と調剤技術料	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 演習問題に取り組み自己採点しておくこと	1時間
3 薬学管理料	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 演習問題に取り組み自己採点しておくこと	1時間
4 薬剤料	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 演習問題に取り組み自己採点しておくこと	1時間
5 点数算定と調剤録作成 (確認テストの実施)	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 実施した確認テストの内容を復習しておくこと	1時間
6 算定と明細書記載のまとめ	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 演習問題に取り組み自己採点しておくこと	1時間
7 調剤報酬明細書作成 1	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 演習問題に取り組み自己採点しておくこと	1時間
8 調剤報酬明細書作成 2	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 演習問題に取り組み自己採点しておくこと	1時間
9 調剤報酬明細書作成 3	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 演習問題に取り組み自己採点しておくこと	1時間
10 調剤報酬明細書作成 4 (確認テストの実施)	事前学習: テキストを読んでおくこと 事後学習: 実施した確認テストの内容を復習しておくこと	1時間
11 調剤報酬明細書点検 1 (技能対策レポート)	事前学習: これまでに学習した内容についてテキストを読み復習しておくこと 事後学習: 実施したレポートの内容を復習しておくこと	1時間
12 調剤報酬明細書点検 2 (技能対策レポート)	事前学習: これまでに学習した内容についてテキストを読み復習しておくこと 事後学習: 実施したレポートの内容を復習しておくこと	1時間
13 調剤報酬明細書点検 3 (技能対策レポート)	事前学習: これまでに学習した内容についてテキストを読み復習しておくこと 事後学習: 実施したレポートの内容を復習しておくこと	1時間
14 調剤報酬明細書点検 4	事前学習: これまでに学習した内容についてテキストを読み復習しておくこと 事後学習: 演習問題に取り組み自己採点しておくこと	1時間
15 受験対策と明細書点検のまとめ	事前学習: これまでに学習した内容についてテキストを読み復習しておくこと 事後学習: 演習問題に再度復習として取り組み自己採点しておくこと	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0095	マーケティング論	小川 弓美子	後期	選択	講義	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 マーケティングとは消費者の求めている商品・サービスを調査し、供給する商品や販売活動の方法などを決定することで、生産者から消費者への流通を円滑にする活動することである。商品・サービスの価値は誰のためにどのように発揮するものなのかをマーケティングの理論からアプローチし、ビジネス社会で活かせる分析・考え方を醸成する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	マーケティングの基礎理論 を理解している	確認テスト	40	5	授業内で実施する確認テストにて80以上に達している。			
				4	授業内で実施する確認テストにて70以上に達している。			
				3	授業内で実施する確認テストにて60以上に達している。			
				2	授業内で実施する確認テストにて50以上に達している。			
				1	授業内で実施する確認テストにて50未満に達している。			
思考力	身近な商品・サービスに関 して、マーケティングの視 界から分析ができる。	確認テスト	30	5	授業内でのマーケティング手法を用いて、自分なりの分析が的確にできている。			
				4	授業内でのマーケティング手法を用いているが、分析に関しては精度に努力が必要。			
				3	授業内でのマーケティング手法を用いているが、分析に関しては精度を欠き適切な分析ができていない。			
				2	授業内でのマーケティング手法を用いられているが、分析に至っていない。			
				1	授業内でのマーケティング手法を用いることができていない。			
実践力	身近な商品・サービスに関 して、マーケティングに関 して自分の言葉で人に語る ことができる。	レポート	30	5	授業内でのマーケティング手法を用いて、自分なり言葉で適切に伝えることができている。			
				4	授業内でのマーケティング手法を用いているが、伝達に関しては精度に努力が必要。			
				3	授業内でのマーケティング手法を用いているが、伝達に関しては精度を欠き適切に伝わってができていない。			
				2	授業内でのマーケティング手法を用いられているが、伝達ができていない。			
				1	授業内でのマーケティング手法を用いることができておらず伝達が全くできていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 授業の中で必要に応じて紹介する。 参考書：								
【その他】 確認テストのフィードバックは模範解答の提供および授業内解説をする。 ※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション(シラバスの確認) 『マーケティング』を学ぶ	事前学習: シラバスの確認 事後学習: 授業の要点を復習し、今後の学修計画を立てる	3時間
2 マーケティングとは 価値の交換の考え方	事前学習: 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
3 マーケティング理論 STP分析(理論)	事前学習: 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
4 マーケティング理論 STP分析(ワーク)	事前学習: 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
5 マーケティング理論 ファイブフォース分析(理論)	事前学習: 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
6 マーケティング理論 ファイブフォース分析(実践)	事前学習: 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
7 マーケティング理論 ケーススタディ①	事前学習: 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
8 マーケティング理論 ケーススタディ②	事前学習: 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
9 確認テスト	事前学習: テスト対策、今までの授業の復習 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
10 ブランディング ブランディングとは	事前学習: 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
11 ブランディング コンセプト設定・環境設定	事前学習: 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習: 授業の復習・要点のまとめ	3時間
12 ブランディング ブランディング施策の効果・評価	事前学習: 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習: グループごとに企画をまとめる	3時間
13 グループワーク 企画資料の作成・完成	事前学習: グループワーク準備 事後学習: プレゼン資料の完成	3時間
14 グループワーク 発表①	事前学習: 発表準備 事後学習: プレゼン内容の振り返り	3時間
15 グループワーク 発表①・総括	事前学習: 発表準備 事後学習: マーケティングとはを自分の言葉で語れるようにする	3時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0096	総合プロジェクト	阿久津 川田 小川 藤川	通年	必修	演習	2	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 個人またはグループで一つの課題に取り組み、調査、実験、制作などによって研究を進め、専門的な知識や技術、思考力、向上心を養うことをねらいとしている。 テーマは次の領域から選択する。①ファッション・ブライダル分野 ②フード分野 ③ビジネス・エアライン・観光分野 ④教職 ⑤医療事務の領域 ⑥IT 研究テーマに関する専門的知識・技術、思考力、向上心・責任感なども身につく。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	研究テーマに関する知識・技術 が身につく	レポート・作 品	40	5	研究テーマに関する専門領域をよく理解し、調査、情報収集などを的確に行い、卒業レポート・作品が適切にまとめられている。			
				4	研究テーマに関する専門領域をよく理解し、調査、情報収集などを行い、卒業レポート・作品がほぼ適切にまとめられている。			
				3	研究テーマに関する専門領域を理解し、調査、情報収集などを行い、卒業レポート・作品がまとめられている。			
				2	研究テーマに関する専門領域の理解がやや不足であり、卒業レポート・作品があまりできていない。			
				1	研究テーマに関する専門領域の理解があいまいであり、卒業レポート・作品がまとまっていない。			
思考力	研究内容に関して考察し、自 分なりの意見をまとめられる	レポート・作 品	30	5	研究内容、結果・考察が筋道をたててまとめられ、他者に説明できる。その際に創意工夫がみられる。			
				4	研究内容、結果・考察が筋道をたててまとめられ、他者に説明できる。			
				3	研究内容、結果・考察の纏めがされ、他者に説明できる			
				2	研究内容、結果・考察の纏めがやや不足である			
				1	研究内容、結果・考察の纏めが不十分でわかりにくい			
向上心・責任 感	研究内容に興味を持ちそれに 取り組むことができる	受講態度	30	5	自分のテーマに沿って意欲的・積極的に取り組む			
				4	自分のテーマに沿って前向きに取り組む			
				3	自らの取り組み方がやや乏しい。			
				2	自らの取り組み方が乏しい。			
				1	自らやろうとしない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 指導教員の指示による 参考書： 指導教員の指示による								
【その他】 レジメ及びレポート課題や制作物等のフィードバックを行う。 自主的に、積極的に取り組むこと。施設設備の関係で、学生の希望に添えないこともある。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 指導教員決定	事前学習： 研究分野を考えておく。 事後学習： テーマを決めるための事前調査等しておく。	1
2 4月末までにテーマ決定	事前学習： テーマに沿って事前学習する。 事後学習： 一年間の計画をたてる。	1
3 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
4 5月 事前調査	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
5 先行研究文献調査	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
6 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
7 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
8 6月 調査・研究・制作	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
9 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
10 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
11 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
12 7月 調査・研究・制作	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
13 (夏季休業中も含む)	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
14 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
15 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
16 調査・研究・製作をすすめる	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
17 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
18 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
19 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
20 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
21 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
22 中間まとめ、発表用レジュメ作成	事前学習： これまでの結果をまとめておく。 事後学習： これまでの結果をまとめ、今後の計画を見直す。	1
23 11月下旬～12月に中間発表実施	事前学習： 中間発表の準備をする。 事後学習： 発表の経験から学んだことをまとめておく。	1
24 12月 補足研究	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
25 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
26 同上	事前学習： テーマに沿って、事前学習する。 事後学習： テーマに沿って、事後学習する。	1
27 1月 卒業研究レポートのまとめ、作品を仕上げる	事前学習： 結果を整理する。 事後学習： これまでの結果をまとめる。	1
28 同上	事前学習： 結果を整理する。 事後学習： これまでの結果をまとめる。	1
29 2月 卒業レポート、作品の提出	事前学習： 結果を整理する。 事後学習： 1年間の成果をまとめ上げる。	1
30 2月 レジュメ作成	事前学習： レジュメの作成準備する。 事後学習： レジュメの原稿を点検する。	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0098	キャリア創造特別演習 I	阿久津・川田 ・小川	集中	必修	演習	1	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>学校行事への参加および学外見学会や講演会等の鑑賞・聴講により、学生の教養、日本文化への理解、コミュニケーション力、社会性を高めることを目的とする。また、レポートや報告書の作成を通して、文章作成能力や表現力の向上を図る。 社会人としての教養・マナーが身につく、自分自身を高める学習や行動、責任感ある行動が実践でき、思考力、コミュニケーション力などの能力を身に付けることができる。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会人としての教養・マナーを身につけることができる	受講態度	20	5	学外見学会時の団体行動を通して社会的モラルがきちんと身についている			
				4	学外見学会時の団体行動を通して社会的モラルが身についている			
				3	学外見学会時の団体行動を通して社会的モラルにやや欠ける			
				2	学外見学会時の団体行動を通して社会的モラルが欠ける			
				1	団体行動としてのモラルが全く身についていない			
思考力	知識・技術を活用して問題解決のためのプロセス考えることができる	レポート	20	5	全ての課題のレポート作成において自分の感じたこと考えたことを他者に分かりやすく文章でまとめることができる			
				4	全ての課題のレポート作成において自分の感じたこと考えたことを文章でまとめることができる。			
				3	全ての課題のレポート作成において自分の感じたこと考えたことを文章でまとめることができる。			
				2	レポート作成において読みにくい文章である			
				1	レポート提出がされていない			
コミュニケーション力	他者を尊重し、協力して問題解決ができる	受講態度	20	5	フレッシュマンセミナー、体育祭、真間祭での協力において他者を尊重して行われている			
				4	フレッシュマンセミナー、体育祭、真間祭での協力が性がある			
				3	フレッシュマンセミナー、体育祭、真間祭での協力度がやや低い			
				2	フレッシュマンセミナー、体育祭、真間祭での協力度が低い			
				1	フレッシュマンセミナー、体育祭、真間祭での協力が性が全くない			
実践力	知識・技術を活用し、実践のため応用力がある	レポート	20	5	テーブルマナーで学んだ内容を自分の生活への活用が具体的である			
				4	テーブルマナーで学んだ内容を自分の生活へ活用している			
				3	テーブルマナーで学んだ内容を自分の生活へやや活用している			
				2	テーブルマナーで学んだ内容を自分の生活へあまり活用されていない			
				1	テーブルマナーで学んだ内容の活用が全くされていない			
向上心・責任感	自分自身を高める学習や行動、責任感ある行動を実践できる	レポート	20	5	活動時に求められる役割に対して、よりよくするための提案があり、責任のある行動がとれている			
				4	活動時に求められる役割に対して責任を持って果たしている			
				3	活動時に求められる役割に対する責任にやや欠けている			
				2	活動時に求められる役割に対する責任に欠けている			
				1	活動時に求められる役割に対して責任を持っていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： プリント								
参考書： 企画内容に応じて指示する。								
【その他】 レポート課題をフィードバックする								
15時間相当分の内容で行事参加、実習・見学会等の課外活動を集中的に実施する。								
欠席の場合は別に課題の提出が義務づけられる。フードコーディネーター3級の必修科目。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 短大及びキャリア創造専攻の理解 (フレッシュマンセミナー)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
2 芸術鑑賞 (フレッシュマンセミナー)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
3 学生同士コミュニケーション (フレッシュマンセミナー)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
4 スポーツ・コミュニケーション(体育祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
5 スポーツ・コミュニケーション(体育祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
6 図書館講演会	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
7 ミュージカル鑑賞	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
8 研究発表(真間祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
9 研究発表(真間祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
10 研究発表(真間祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
11 研究発表(真間祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
12 研究発表(真間祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
13 展覧会見学	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
14 テーブルマナー	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1
15 まとめ	事前学習: 学習したことを総合的にまとめる準備をする。 事後学習: 学習したことを総合的にノートにまとめる。	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0099	キャリア創造特別演習Ⅱ	阿久津・川田 ・小川	集中	必修	演習	1	○	4

【授業のねらい及び身につく能力】

学校行事への参加および学外見学会や講演会等の鑑賞・聴講により、学生の教養、日本文化への理解、コミュニケーション力、社会性を高めることを目的とする。また、レポートや報告書の作成を通して、文章作成能力や表現力の向上を図る。
 社会人としての教養・マナーが身につく、自分自身を高める学習や行動、責任感ある行動が実践でき、思考力、コミュニケーション力などの能力を身に付けることができる。

【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】

学修成果評価			成績評価		
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価	
				評価	評価観点
社会人基礎スキル	社会人としての教養・マナーを身につけることができる	受講態度	20	5	学外見学会時の団体行動を通して社会的モラルがきちんと身についている
				4	学外見学会時の団体行動を通して社会的モラルが身についている
				3	学外見学会時の団体行動を通して社会的モラルにやや欠ける
				2	学外見学会時の団体行動を通して社会的モラルが欠ける
				1	団体行動としてのモラルが全く身についていない
思考力	知識・技術を活用して問題解決のためのプロセス考えることができる	レポート	20	5	全ての課題のレポート作成において自分の感じたこと考えたことを他者に分かりやすく文章でまとめることができる
				4	全ての課題のレポート作成において自分の感じたこと考えたことを文章でまとめることができる。
				3	全ての課題のレポート作成において自分の感じたこと考えたことを文章でまとめることができる。
				2	レポート作成において読みにくい文章である
				1	レポート提出がされていない
コミュニケーション力	他者を尊重し、協力して問題解決ができる	受講態度	20	5	台湾研修旅行、体育祭、真間祭での協力において他者を尊重して行われている
				4	台湾研修旅行、体育祭、真間祭での協力的性がある
				3	台湾研修旅行、体育祭、真間祭での協力度がやや低い
				2	台湾研修旅行、体育祭、真間祭での協力度が低い
				1	台湾研修旅行、体育祭、真間祭での協力的性が全くない
実践力	知識・技術を活用し、実践のため応用力がある	レポート	20	5	テーブルマナーで学んだ内容を自分の生活へ活用が具体的である
				4	テーブルマナーで学んだ内容を自分の生活へ活用している
				3	テーブルマナーで学んだ内容を自分の生活へやや活用している
				2	テーブルマナーで学んだ内容を自分の生活へあまり活用されていない
				1	テーブルマナーで学んだ内容の活用が全くされていない
向上心・責任感	自分自身を高める学習や行動、責任感ある行動を実践できる	レポート	20	5	活動時に求められる役割に対して、よりよくするための提案があり、責任のある行動がとれている
				4	活動時に求められる役割に対して責任を持って果たしている
				3	活動時に求められる役割に対する責任にやや欠けている
				2	活動時に求められる役割に対する責任に欠けている
				1	活動時に求められる役割に対して責任を持っていない
				5	
				4	
				3	
				2	
				1	

【教科書・参考書】

教科書： プリント

参考書： 企画内容に応じて指示する。

【その他】 レポート課題のフィードバックを行う。

15時間相当分の内容で行事参加、実習・見学会等の課外活動を集中的に実施する。

欠席の場合は別に課題の提出が義務づけられる。フードコーディネーター3級の必修科目。

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 スポーツ・コミュニケーション(体育祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
2 スポーツ・コミュニケーション(体育祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
3 図書館講演会	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
4 ミュージカル鑑賞	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
5 研究発表(真間祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
6 研究発表(真間祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
7 研究発表(真間祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
8 研究発表(真間祭)	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
9 研修旅行: パスポートの取得、空港でのマナー等、海外研修に必要な知識を修得する	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
10 研修旅行: 研修先となる地域の理解を深め、社会性を身に付ける	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
11 研修旅行: 専門の学びに関連した研修により専門知識を深める。	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
12 研修旅行: 学生間のコミュニケーション	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
13 研修旅行: 台湾料理、中国料理の理解を深める	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
14 研修旅行: 博物館見学	事前学習: 本時の内容について事前学習する。 事後学習: 学んだことをレポートする。	1時間
15 まとめ	事前学習: 学習したことを総合的にまとめる準備をする。 事後学習: 学習したことを総合的にノートにまとめる。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0101	マネープランニング	小川	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
人生100年時代と言われる現代において、自らのライフプランを考慮収入やこれから起こる人生のイベントをふまえ、お金の計画をたてることが重要性を増している。人生におけるライフイベント（結婚や出産、マイホーム購入など）を把握し、大きな出費に備えて計画的マネープランを作成することで自分は何を大事にして、何にお金を使って行くのかを検討するきっかけとする。また、基礎的な金融知識として、社会保険や年金、税金に関して学び、理解を深め社会に出てから必要となる個人資産運用において役立たせることを目標とする。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	収入と支出を基本としたマネープランの枠組みを理解できている。	確認テスト	30	5	確認テストで80点以上をとっている。			
				4	確認テストで70点以上をとっている。			
				3	確認テストで60点以上をとっている。			
				2	確認テストで50点以上をとっている。			
				1	確認テストで50点未満である。			
専門的知識・技術	ライフイベントに関わる金融、保険、税金、経済の基礎知識を備えている。	確認テスト	40	5	確認テストで80点以上をとっている。			
				4	確認テストで70点以上をとっている。			
				3	確認テストで60点以上をとっている。			
				2	確認テストで50点以上をとっている。			
				1	確認テストで50点未満である。			
思考力	自身のマネープランの設計ができる	レポート	30	5	レポートにおいて、マネープラン設計が分かりやすく緻密に記されている。			
				4	レポートにおいて、マネープラン設計が分かりやすく記されている。			
				3	レポートにおいて、マネープランが必要最低限記されている。			
				2	レポートにおいて、マネープランの設計で曖昧な部分があり完成度が低い。			
				1	レポートにおいて、マネープランの設計で分かりにくく完成とは言えない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜資料の配布								
参考書： 適宜資料の配布								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
授業内で確認テストの解説及びレポートのフィードバックを行う								
※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション/マネープランニングとは マネープランニングをする目的	事前学習: シラバスを読んでおく 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
2 ライフイベントとお金(住宅購入) 持ち家?賃貸?	事前学習: 授業内容の予習、課題資料の読み込み 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
3 ライフイベントとお金(教育資金) 子供一人育てるのにいくらかかる?	事前学習: 授業内容の予習、課題資料の読み込み 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
4 社会保険の制度 日本の保険の仕組みとメリット	事前学習: 授業内容の予習、課題資料の読み込み 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
5 年金制度 国民年金、厚生年金の違いは?	事前学習: 授業内容の予習、課題資料の読み込み 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
6 確認テスト①	事前学習: 確認テストの準備 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
7 保険契約 保険の種類と特徴	事前学習: 授業内容の予習、課題資料の読み込み 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
8 ゲスト講師 資産運用を考える	事前学習: 授業内容の予習、課題資料の読み込み 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
9 経済・金融基礎 経済指標とインフレ・デフレ	事前学習: 授業内容の予習、課題資料の読み込み 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
10 ゲスト講師(FP) 個人資産運用のトレンド	事前学習: 授業内容の予習、課題資料の読み込み 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
11 税金の基礎知識 所得税、贈与税	事前学習: 授業内容の予習、課題資料の読み込み 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
12 確認テスト②	事前学習: 確認テストの準備 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
13 個人マネープラン作成	事前学習: 授業内容の予習、課題資料の読み込み 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
14 個人マネープランニングの発表	事前学習: プレゼン準備 事後学習: 授業の内容を振り返り、資料を読み返す。	4
15 まとめ、総括	事前学習: プレゼン内容の振り返り 事後学習: 自身のマネープランニングを通して、将来のビジョンを考える。	4

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
16	事前学習： 事後学習：	
17	事前学習： 事後学習：	
18	事前学習： 事後学習：	
19	事前学習： 事後学習：	
20	事前学習： 事後学習：	
21	事前学習： 事後学習：	
22	事前学習： 事後学習：	
23	事前学習： 事後学習：	
24	事前学習： 事後学習：	
25	事前学習： 事後学習：	
26	事前学習： 事後学習：	
27	事前学習： 事後学習：	
28	事前学習： 事後学習：	
29	事前学習： 事後学習：	
30	事前学習： 事後学習：	

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0102	WebデザインA	七字 卓馬	前期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 これまで専門的プログラミング言語や、プロツールの習得を前提としていたウェブサイトの構築、SNS投稿用の画像、動画制作は、様々なアプリケーションが誕生し、ノンデザイナーでも対応できる時代となりました。この授業では、SNS投稿画像、動画を制作できるオンラインデザインアプリ、Adobe Express、専門的プログラミング言語、コーディングを必要としない美ノーコードWEB制作ツール「Studio」を用いて、オリジナルデザインを個人制作する授業です。デザイン知識、PCスキルを前提にしないゼロからの授業になります。ツールの操作を身につけ、デザインについて考えながら作品制作を進めます。								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	Adobe expressの操作を理解し、SNS投稿用の画像、動画を制作できる。	作品	30	5	課題に対してオリジナリティが発揮された作品ができています			
				4	課題に対して的確に踏まえた作品ができています			
				3	課題に対して調整が必要な箇所が3ヶ所以上ある作品ができています			
				2	課題に対して調整が必要な箇所が5ヶ所以上ある作品ができています			
				1	課題として与えられた内容を踏まえた作品ができていない			
実践力	Web制作ツール「Studio」の操作を理解し、PCとスマートフォン対応のレスポンシブサイトが完成させられる	作品	30	5	デザインの見やすさ美しさと、企画・デザイン意図の伝え方の双方を満たしている作品ができています			
				4	デザインの見やすさ美しさと、企画・デザイン意図の伝え方の8割を満たしている作品ができています			
				3	デザインの見やすさ美しさと、企画・デザイン意図の伝え方の5割を満たしている作品ができています			
				2	デザインの見やすさ美しさと、企画・デザイン意図の伝え方の2割を満たしている作品ができています			
				1	デザインの見やすさ美しさと、企画・デザイン意図の伝え方のいずれも満たした作品ができていない			
社会人基礎ス キル	授業への参加、課題への取り組みからWEBデザインへの理解と知識を深める。	受講態度	40	5	前向き、積極的に授業への参加、課題への取り組みができています			
				4	やや前向き、積極的に授業への参加、課題への取り組みができています			
				3	授業への参加、課題への取り組みができています			
				2	あまり前向き、積極的に授業への参加、課題への取り組みができていない			
				1	前向き、積極的に授業への参加、課題への取り組みができていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず 参考書： 使用せず								
【その他】 課題のフィードバックを行う。 ※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 授業の目的 授業内容・課題について	事前学習: シラバスの確認 事後学習: 授業の要点を復習する	1時間
2 イラストを描いてSNS用の画像、動画を制作 Adobe expressの操作を学ぶ	事前学習: イラストのイメージを考える 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
3 イラストを描いてSNS用の画像、動画を制作 Adobe expressの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
4 イラストを描いてSNS用の画像、動画を制作 Adobe expressの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
5 イラストを描いてSNS用の画像、動画を制作 Adobe expressの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
6 イラストを描いてSNS用の画像、動画を制作 Adobe expressの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
7 テーマに沿ってウェブサイトを制作 ウェブサイト制作ツールStudioの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
8 テーマに沿ってウェブサイトを制作 ウェブサイト制作ツールStudioの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
9 テーマに沿ってウェブサイトを制作 ウェブサイト制作ツールStudioの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
10 テーマに沿ってウェブサイトを制作 ウェブサイト制作ツールStudioの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
11 テーマに沿ってウェブサイトを制作 ウェブサイト制作ツールStudioの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
12 テーマに沿ってウェブサイトを制作 ウェブサイト制作ツールStudioの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
13 テーマに沿ってウェブサイトを制作 ウェブサイト制作ツールStudioの操作を学ぶ	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
14 ウェブサイトと告知画像・動画の完成	事前学習: PC操作や制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する	1時間
15 まとめ 作品発表	事前学習: 作品発表の準備をまとめる 事後学習: WEBデザインについての気づきをまとめる	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0103	WebデザインB	七字 卓馬	後期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 これまで専門的プログラミング言語や、プロツールの習得を前提としていたウェブサイトの構築、SNS投稿用の画像、動画制作は、様々なアプリケーションが誕生し、ノンデザイナーでも対応できる時代となりました。この授業では、SNS投稿画像、動画を制作できるオンラインデザインアプリ、Adobe Express、専門的プログラミング言語、コーディングを必要としない美ノーコードWEB制作ツール「Studio」を用いて、オリジナルデザインを個人制作する授業です。デザイン知識、PCスキルを前提にしないゼロからの授業になります。ツールの操作を身につけ、デザインについて考えながら作品制作を進めます。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	Adobe expressの操作を理解し、SNS投稿用の画像、動画を制作できる。	作品	30	5	課題に対してオリジナリティが発揮された作品ができています			
				4	課題に対して的確に踏まえた作品ができています			
				3	課題に対して調整が必要な箇所が3ヶ所以上ある作品ができています			
				2	課題に対して調整が必要な箇所が5ヶ所以上ある作品ができています			
				1	課題として与えられた内容を踏まえた作品ができていない			
実践力	Web制作ツール「Studio」の操作を理解し、PCとスマートフォン対応のレスポンシブサイトが完成させられる。	作品	30	5	デザインの見やすさ美しさと、企画・デザイン意図の伝え方の双方を満たしている作品ができています			
				4	デザインの見やすさ美しさと、企画・デザイン意図の伝え方の8割を満たしている作品ができています			
				3	デザインの見やすさ美しさと、企画・デザイン意図の伝え方の5割を満たしている作品ができています			
				2	デザインの見やすさ美しさと、企画・デザイン意図の伝え方の2割を満たしている作品ができています			
				1	デザインの見やすさ美しさと、企画・デザイン意図の伝え方のいずれも満たした作品ができていない			
社会人基礎ス キル	授業への参加、課題への取り組みからWEBデザインへの理解と知識を深める。	受講態度	40	5	前向き、積極的に授業への参加、課題への取り組みができています			
				4	やや前向き、積極的に授業への参加、課題への取り組みができています			
				3	授業への参加、課題への取り組みができています			
				2	あまり前向き、積極的に授業への参加、課題への取り組みができていない			
				1	前向き、積極的に授業への参加、課題への取り組みができていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず 参考書： 使用せず								
【その他】 課題のフィードバックを行う。 ※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 授業の目的 授業内容・課題について	事前学習: シラバスの確認 事後学習: 授業の要点を復習する	1時間
2 オリジナリティのあるウェブサイトの企画・デザインを考える Studioを用いてウェブサイトを制作	事前学習: Studioのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
3 オリジナリティのあるウェブサイトの企画・デザインを考える Studioを用いてウェブサイトを制作	事前学習: Studioのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
4 オリジナリティのあるウェブサイトの企画・デザインを考える Studioを用いてウェブサイトを制作	事前学習: Studioのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
5 オリジナリティのあるウェブサイトの企画・デザインを考える Studioを用いてウェブサイトを制作	事前学習: Studioのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
6 オリジナリティのあるウェブサイトの企画・デザインを考える Studioを用いてウェブサイトを制作	事前学習: Studioのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
7 オリジナリティのあるウェブサイトの企画・デザインを考える Studioを用いてウェブサイトを制作	事前学習: Studioのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
8 オリジナリティのあるウェブサイトの企画・デザインを考える Studioを用いてウェブサイトを制作	事前学習: Studioのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
9 オリジナリティのあるウェブサイトの企画・デザインを考える Studioを用いてウェブサイトを制作	事前学習: Studioのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
10 SNS用のウェブサイトの告知画像・動画を制作 Adobe expressを用いてSNS用画像・動画を制作	事前学習: Adobe expressのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
11 SNS用のウェブサイトの告知画像・動画を制作 Adobe expressを用いてSNS用画像・動画を制作	事前学習: Adobe expressのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
12 SNS用のウェブサイトの告知画像・動画を制作 Adobe expressを用いてSNS用画像・動画を制作	事前学習: Adobe expressのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
13 SNS用のウェブサイトの告知画像・動画を制作 Adobe expressを用いてSNS用画像・動画を制作	事前学習: Adobe expressのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する、課題制作	1時間
14 ウェブサイトと告知画像・動画の完成	事前学習: Adobe expressのチュートリアルや制作事例を確認 事後学習: 授業の要点を復習する	1時間
15 まとめ 作品発表	事前学習: 作品発表の準備をまとめる 事後学習: WEBデザインについての気づきをまとめる	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0105	マナー・接遇	福井 英二	前期	選択	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 社会において他者と円滑に関わるために必要なマナーおよび接遇の基本を理解し、基本的なビジネスマナーを学ぶとともに、実務経験に基づく具体的な事例や演習を通して、相手を尊重した適切な行動とコミュニケーションができる能力を身につける事を狙いとします。また、実際の社会場面を想定した演習を通して、社会生活や将来の職業生活において信頼される人材として主体的に行動できる基礎力を養うことを目指します。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	社会生活において必要な基本的なマナーや態度を理解し、適切に行動できる。	受講態度	30%	5	授業中に自ら積極的に参加し、挨拶・姿勢・言葉遣いなどを常に意識して行動でき、周囲にも良い影響を与えている。			
				4	授業中に主体的に参加し、挨拶や姿勢、言葉遣いなど基本的なマナーを意識して安定して実践できている。			
				3	授業の指示に従い参加し、挨拶や姿勢など基本的なマナーを概ね実践できている。			
				2	授業への参加はしているが、挨拶や姿勢などの基本的なマナーの実践にばらつきがある。			
				1	授業への参加が消極的であり、挨拶や姿勢など基本的なマナーの実践がほとんど見られない。			
専門的知識・技術	マナー接遇に関する基本的な知識を理解し、状況に応じて活用できる。	レポート	10%	5	授業で学んだマナー接遇の内容を正しく理解し、具体例を用いて自分の言葉で分かりやすく説明できている。			
				4	授業で学んだ内容を理解し、基本的な事項について自分の言葉で説明できている。			
				3	授業で学んだ内容の基本事項は理解しているが、説明がやや不十分な部分がある。			
				2	授業内容の理解が不十分であり、説明に誤りや不足が見られる。			
				1	授業内容の理解が不十分であり、基本事項について説明できていない。			
コミュニケーション力	相手の立場を尊重し、適切な言葉遣いや態度で円滑にコミュニケーションができる。	レポート	20%	5	相手の立場を意識した適切な言葉遣いや表現について理解し、自分の行動と結びつけて具体的に振り返りができている。			
				4	相手を意識したコミュニケーションの重要性を理解し、自分の学びとして整理できている。			
				3	コミュニケーションの基本的な内容は理解しているが、自分の行動との結びつきがやや弱い。			
				2	コミュニケーションの重要性について理解はしているが、振り返りが不十分である。			
				1	コミュニケーションに関する理解や振り返りがほとんど見られない。			
実践力	学んだビジネスマナー接遇を生活や社会場面で実践し適切に対応できる。 (授業内確認テスト3回)	確認テスト	40%	5	様々な場面において適切なマナー接遇の行動を正しく理解し、状況に応じた対応を判断できている。			
				4	基本的なマナー接遇について理解し、多くの場面で適切な対応を判断できている。			
				3	基本的なマナー接遇について概ね理解しているが、判断に迷いが見られる場面がある。			
				2	マナー接遇についての理解が不十分であり、適切な判断が難しい場面が多い。			
				1	マナー接遇についての理解が不十分であり、基本的な判断ができていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 特に指定しない。授業内で配布する資料を用いる。 参考書： 必要に応じて授業内で紹介する。								
【その他】 ※実務家教員による授業。課題については授業内でフィードバックを行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション：マナーとは何か マナーの意義と必要性の理解と社会において他者と関わる際の基本の姿勢	事前学習： 日常生活の中で、良い印象を受けた対応や不快に感じた対応について振り返り、マナーの重要性について考察する。 事後学習： 授業を振り返り生活の中でマナーを意識して実践する	1時間
2 第一印象と身だしなみ 第一印象の重要性と社会において求められる適切な身だしなみ	事前学習： 自身の身だしなみが相手にどのような印象を与えるかを考察する 事後学習： 授業を振り返り生活の中で身だしなみを意識して実践する	1時間
3 挨拶と基本マナー 社会生活において基本となる実践的挨拶と基本動作	事前学習： 日常生活の中で挨拶の場面を振り返り、挨拶の役割について考察する 事後学習： 授業を振り返り生活の中で挨拶を意識して実践する	1時間
4 言葉遣いと敬語の基本マナー 社会において必要な言葉遣いと敬語の基本	事前学習： 日常生活での自身の言葉遣いを振り返り、適切な表現について考察する。 事後学習： 授業を振り返り生活の中で適切な言葉遣いを意識して実践する	1時間
5 聞く力とコミュニケーション 相手の話を正しく理解するための聞き方	事前学習： 相手の話を聞く際の自身の態度について振り返る 事後学習： 授業を振り返り生活の中で相手の話を意識して聞くことを実践する	1時間
6 伝える力とコミュニケーション 相手に分かりやすく伝えるための方法	事前学習： 自身の伝え方について振り返り、必要な事を考察する。 事後学習： 授業を振り返り生活の中で相手に分かりやすく伝えることを実践する	1時間
7 報告・連絡・相談の基本(報連相) マナー 組織において必要な報告・連絡・相談の重要性と基本	事前学習： 報告・連絡・相談が必要となる場面について考える。 事後学習： 授業を振り返り生活の中で報告・連絡・相談を意識して実践するとともに、第10回の名刺交換演習に向けて自身の名刺を作成する。	1時間
8 デジタルコミュニケーションの基本マナー メール・電話・チャット・SNSの使い分け 適切なコミュニケーション方法	事前学習： メールやSNSの使用経験を振り返り、適切な使い方について考察する。 事後学習： 授業を振り返り生活の中で適切なデジタルコミュニケーションを実践する。	1時間
9 来客対応の基本 相手を迎える基本とマナー 安心感と信頼感を与える基本動作	事前学習： 接客や対応の場面を観察し、印象の良い対応について考える。 事後学習： 授業を振り返り生活の中で相手を意識した行動を実践する。	1時間
10 名刺交換と自己紹介の基本マナー 第一印象を意識した話し方や態度、自身を伝える方法	事前学習： 自身の名刺と自己紹介の内容について整理する。 事後学習： 授業を振り返り生活の中で適切な自己紹介を整理して実践する。	1時間
11 組織の中で求められる行動とコミュニケーション 他者と信頼関係を築くために必要な行動の基本	事前学習： 学校生活やアルバイト経験を振り返り、組織の中の行動を考察する。 事後学習： 授業を振り返り生活の中でのコミュニケーションを意識して実践する	1時間
12 ハラスメントの基礎知識 ハラスメントの基本的な理解と適切な対応	事前学習： ハラスメントについて考察する 事後学習： 授業を振り返り生活の中で適切な対応について整理し実践する	1時間
13 接遇とホスピタリティ 他者への配慮と関係性の構築	事前学習： 接遇とホスピタリティについて考察する 事後学習： 授業を振り返り生活の中でホスピタリティを意識して実践する	1時間
14 就活面接に対応できる基本マナー 面接における基本的想定演習	事前学習： 面接を想定して整理準備する。 事後学習： 面接の演習を活かし自身に必要な事を整理し準備する。	1時間
15 社会で活かすビジネスマナー・接遇 総合演習	事前学習： これまでの授業内容を振り返り、理解を整理する。 事後学習： 授業を振り返り生活の中で学んだマナーを継続して実践する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0108	ファッションデザイン	馬場 千晶	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 アパレル製品の企画・設計には、ファッションデザインに関する基礎的な知識が必要である。本講座ではアパレルの機能性、審美性、表現法を知り、適切な素材、デザイン、色彩の組み合わせによるファッションデザインを理解することを目的とし、その能力を身につける。また、ファッションデザインの表現法として、スタイル画を描く技能を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	アパレル製品のデザインに必要な要素を理解し、それぞれの要素を活かしたデザインの構築ができる	レポート	50	5	ファッションデザインに必要な要素をよく理解し、要素を活かしたデザインが構築できている			
				4	ファッションデザインに必要な要素をほぼ理解し、要素を活かしたデザインがほぼ構築できている			
				3	ファッションデザインに必要な要素を概ね理解し、要素を活かしたデザインがだいたい構築できている			
				2	ファッションデザインに必要な要素を少し理解し、要素を活かしたデザインが少し構築できている			
				1	ファッションデザインに必要な要素の理解が不十分で、要素を活かしたデザインが構築できていない			
思考力	ファッションデザインの発想力を高め、表現法を用いてデザインしたものを他者に伝えることができる	作品	50	5	自分のデザインを伝えるため、表現法を用いて他者にイメージがよく伝えられている			
				4	自分のデザインを伝えるため、表現法を用いて他者にイメージがほぼ伝えられている			
				3	自分のデザインを伝えるため、表現法を用いて他者にイメージが大体伝えられている			
				2	自分のデザインを伝えるため、表現法を用いて他者にイメージが少し伝えられている			
				1	自分のデザインを伝えるため、表現法を用いて他者にイメージが伝えられていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 随時プリントを配布する 参考書： アパレルデザインの基礎（日本衣料管理協会編）								
【その他】 レポートや制作物等のフィードバックを行う。								



〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間（時間）
1 オリエンテーション ファッションデザインとは 講義概要と授業の進め方について	事前学習： シラバスから授業内容を概観しておく 事後学習： ファッションデザインについて理解を深め、ノートにまとめる	4時間
2 ファッションの変遷とその背景について My Favorites デザインマップを作る	事前学習： 近代から現代のファッションについて調べる 事後学習： ファッションの変遷について理解を深め、マップをファイリングする	4時間
3 デザインの過程と発想法について アイデアスケッチについて デザイン画を描く①	事前学習： デザインの過程と発想法について調べる 事後学習： デザインの過程と発想法について理解を深め、デザイン画を練習する	4時間
4 ファッションデザインの基礎 1 色彩について 色見本を作る	事前学習： ファッションデザインにおける色彩について調べる 事後学習： 色彩について理解を深め、色見本をファイリングする	4時間
5 ファッションデザインの基礎 2 点・線・面のデザイン	事前学習： ファッションデザインにおける点・線・面について調べる 事後学習： 点・線・面について理解を深め、平面構成を練習する	4時間
6 ファッションデザインの基礎 3 シルエットについて 人体クロッキー	事前学習： ファッションデザインにおけるシルエットについて調べる 事後学習： シルエットについて理解を深め、クロッキーを練習する	4時間
7 ファッションデザインの基礎 4 ディテールについて デザイン画を描く②	事前学習： ファッションデザインにおけるディテールについて調べる 事後学習： ディテールについて理解を深め、デザイン画を練習する	4時間
8 ファッションデザインの構成 1 フォルム 服種とデザインポイント デザイン画を描く③	事前学習： ファッションデザインにおける素材効果と柄について調べる 事後学習： 素材効果と柄について調べ、デザイン画を練習する	4時間
9 ファッションデザインの構成 2 テキスタイル 素材効果と柄について テキスタイル画を描く	事前学習： ファッションデザインにおける素材効果と柄について調べる 事後学習： 素材効果と柄について理解を深め、テキスタイル画を練習する	4時間
10 ファッションデザインの構成 3 アイテム① アクセサリについて	事前学習： ファッションデザインにおけるアクセサリについて調べる 事後学習： アクセサリについて理解を深め、デザイン画を練習する□	4時間
11 ファッションデザインの構成 4 アイテム② 靴・帽子について	事前学習： ファッションデザインにおける靴・帽子について調べる□ 事後学習： 靴・帽子について理解を深め、ノートにまとめる	4時間
12 ファッションビジネスと商品企画 ブランド展開について（ゲストスピーカー）	事前学習： ファッションビジネスと商品企画について調べる 事後学習： ブランド展開について理解を深め、ノートにまとめる	4時間
13 デザインとマーケット 1 オリジナルブランドの企画を考える	事前学習： デザインとマーケット・ブランドについて調べる 事後学習： オリジナルブランドマップを提案し描きあげる	4時間
14 デザインとマーケット 2 オリジナルブランドのディールデザイン	事前学習： デザインとマーケット・店舗について調べる 事後学習： オリジナルブランドの展開を考えまとめる	4時間
15 デザインとマーケット 3 企画のプレゼンテーション・まとめ	事前学習： オリジナルファッションデザインの発表準備 事後学習： オリジナルファッションデザインを完成させ提出する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0109	アパレル企画	川田 江美	後期	選択	演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】								
ファッション業界構造、商品の特性などを理解したうえで、新商品提案をするための基礎を学ぶ。更に消費者動向の分析、実践的マーケティング能力も養う。企画における、背景、意図、商品化までのプロセスを、演習を通し学び実際に表現できる能力を養い、即戦力を身につける。実践力の向上を目指し、ファッションショー実施においてブランディングを強く意識し提案企画に関わっていく。本授業では将来的なスキルアップを意識し、企画に必要な専門的知識が身につく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	新商品企画や販売戦略等に活かせる専門知識を身につける	レポート	30	5	企画の基礎知識を正しく理解できており、独自性のある企画が考え訴求できる			
				4	企画の基礎知識を正しく理解し、独自性のある企画を考案できる			
				3	企画の基礎知識の理解はされているが表現力に欠ける			
				2	企画の基礎知識の理解にかけており、企画を表現できない			
				1	企画の基礎知識の理解がされていない			
思考力	各課題において専門的知識を理解し、それぞれのレポートに活かす事ができる	レポート	50	5	課題に関する考察が論理的にまとめられており、実践に生かせる			
				4	課題に関する考察が論理的にまとめられている			
				3	課題に関する考察において、状況分析ができていない			
				2	課題に関する考察が、正しくできていない			
				1	課題に関する考察の記述がない			
実践力	新たな発想で商品企画を、相応の作品ができる	作品	15	5	作品に独創性があり、実際に企画商品化となる可能性がある。			
				4	作品が良好で、修正を加えれば商品化できる			
				3	作品が良好だが商品化は難しい			
				2	独創性がなく商品化につながらない			
				1	商品化できない			
向上心・責任 感	職業意識を持ち授業に取り組む	受講態度	5	5	遅刻欠席なく授業に参加し将来目標を明確に定め、目標に向かって最大限の努力ができる			
				4	遅刻欠席なく授業に参加し将来目標を明確に定め目標に向かって努力できる			
				3	遅刻欠席なく授業に参加し、現状の課題に対して努力することができる			
				2	遅刻欠席があり、授業中の課題に取り組む意欲が低い			
				1	遅刻欠席があり、課題に取り組まない			
【教科書・参考書】								
教科書： 使用せず								
参考書： 適宜指示する								
【その他】								
課題や発表に対してフィードバックを行う								
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】				目安時間(時間)
1	ファッション商品の企画	ショー企画をの視点(1)	事前学習： ショー演出案作り(企画構想) 事後学習： 提出案の練り直し					1時間
2	ファッション商品の企画	ショー企画をの視点(2)	事前学習： ショー演出案作り(企画構想) 事後学習： 提出案の練り直し					1時間
3	アパレル企画の基礎知識		事前学習： 自分が売り出したい商品について企画考案する 事後学習： 企画の基礎が企画構想案に反映されているか検証する					1時間
4	商品企画の構想のための消費者動向分析法 -K J法		事前学習： 最近の特出すべき消費動向に目をむける 事後学習： 目を向けた最近の消費動向について、その要因を探る					1時間
5	演習 I K J法①消費者動向分析のための課題見つけ		事前学習： 課題選び 事後学習： 履修者全員の課題に対し意見を提出する					1時間
6	演習 I K J法②課題に対する意見の収集、意見のグループピング		事前学習： 自分の課題に対し、自分の意見を中心にグループを仮定する 事後学習： 自分の意見と他者意見の比較を行う					1時間
7	演習 I K J法③分析結果描写 表現 レポート・作品		事前学習： 他者意見の中で少数意見に関し、その理由を考案する					1時間

	事後学習： 視覚的にみて効果的な作品になるよう仕上げる	
8 商品企画のためのイメージ整理 コンセプトマップの作り方	事前学習： コンセプトマップ作成のため、ファッション雑誌を収集する 事後学習： 自身のワードローブの並び替えを実施する（1）	1時間
9 演習Ⅱ コンセプトマップ①アイテム決定と素材集め	事前学習： ファッション雑誌から興味深い素材を探し出す 事後学習： 自身のワードローブの並び替えを実施する（2）	1時間
10 演習Ⅱ コンセプトマップ②素材の並び替え	事前学習： 素材の不足分の収集を行う 事後学習： 並び替え結果の考察を行う	1時間
11 演習Ⅱ コンセプトマップ③素材のイメージ表現 レポート・作品	事前学習： イメージ表現案を考える 事後学習： マップより自身のファッション傾向を考える	1時間
12 企画書・仕様書の制作方法演習Ⅲ：マイブランドを立ち上げよう①ロゴとコンセプト	事前学習： お気に入りのブランドロゴを収集する 事後学習： お気に入りのブランドロゴを収集する	1時間
13 演習Ⅲ：マイブランドを立ち上げよう②デザインと及び商品企画	事前学習： リメイクしマイブランドに適する衣服を選択する 事後学習： リメイク作品の完成を目指す	1時間
14 演習Ⅲ：マイブランドを立ち上げよう③	事前学習： マイブランドの訴求効果がある企画書を考案する 事後学習： 企画書の完成を目指す	1時間
15 演習Ⅲ：マイブランドを立ち上げよう④企画提案発表会レポート・作品	事前学習： 企画発表の練習をする 事後学習： 自分の訴求方法について反省する	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0110	VMD (演習を含む)	松野 秀平	後期	選択	講義・演習	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
本講座では基本的な商業環境の在り方、知識、商空間を演出表現する美意識、商品の魅力を的確に伝える展示や技法を正しく学び修得することを目標とする。特に演習を通して、実戦で使える技法をしっかりと獲得していく。獲得した技術知識を実習にて表現するとともに、実践力を身につける。さらに商品装飾展示技能検定3級の取得を支援する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	VMDの基礎知識を正しく理解する	作品	30	5	作品においてコンセプトやニーズを理解した上で、自分の考えを表現するとともに、さらに発展的な思考を持っている。			
				4	作品においてコンセプトやニーズを理解した上で、自分の考えを表現できている。			
				3	作品において自分の考えを表現できている。			
				2	作品において自分の考えを表現できていない。			
				1	学んだこと、自分の考えを表現できていない。			
思考力	現場実習を通して得た知識や技術を正しく表現することができる	レポート	30	5	レポートにおいて自分の考えを表現するとともに、的確に現場の状況を把握でき、さらに発展的な思考をもっている			
				4	レポートにおいて自分の考えを表現するとともに、的確に現場の状況を把握できている			
				3	レポートにおいて自分の考えを表現することができる			
				2	レポートにおいて自分の考えを表現することができない			
				1	学んだこと、自分の考えを表現できない			
実践力	現場実習を通して自分のやるべき行動を考え実施できたか	受講態度	40	5	積極的に実習に取り組み、お客様への配慮、現場で必要なことを察知できている			
				4	積極的に実習に取り組み、お客様への配慮ができる			
				3	真面目に実習に取り組みむことができている			
				2	真面目に取り組んでいるが消極的である			
				1	実習への取り組み姿勢が悪い			
【教科書・参考書】								
教科書： なし								
参考書： 商品装飾展示技能検定ガイドブック 日本ビジュアルマーチャンダイジング協会 編著								
【その他】								
レポートはフィードバックを行う								
この授業では実際の店舗での実習を行う。(10月実施予定) アパレル企業へ訪問し見学、座談会を通じてアパレル業界への知識関心を深める(2月実施予定)								

〔授業の内容・スケジュール〕		〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1	オリエンテーション：VMDの基礎、3大要素について 雑貨実技	事前学習： VMD基礎用語調べ 事後学習： 学生の個性・センスを知りグループ分け	1時間
2	トレンドとコレクション 雑貨実技	事前学習： 自身のコーディネート提案 事後学習： 本時復習	1時間
3	VMD企画、定数×定量と陳列方法	事前学習： 店舗リサーチ 事後学習： 本時復習	1時間
4	店舗見学（ららぽーとTOKYO-BAY）	事前学習： 市場打ち出し調査 事後学習： 実習記録整理	1時間
5	店舗見学（ららぽーとTOKYO-BAY）	事前学習： 発表準備 事後学習： 実習記録整理	1時間
6	店舗見学について発表	事前学習： 市場打ち出し調査 事後学習： 本時復習	1時間
7	アパレルの仕事とVMD①、商品装飾展示技能検定対策	事前学習： 店舗リサーチ(フェイスアウト陳列) 事後学習： 資格試験 基礎知識の過去問に取り組む	1時間
8	アパレルの仕事とVMD②、商品装飾展示技能検定対策	事前学習： 店舗リサーチ(平台陳列) 事後学習： 資格試験 基礎知識の過去問に取り組む	1時間
9	テーマ、構成①	事前学習： 市場打ち出し調査 事後学習： 本時復習	1時間
10	テーマ、構成 実技①	事前学習： グループディスカッション準備 事後学習： 本時復習	1時間
11	テーマ、構成 実技②	事前学習： 発表準備 事後学習： 本時の復習	1時間
12	レイアウトMAP作り	事前学習： 素材集め 事後学習： 本時復習	1時間
13	企業見学（株式会社ZOZO）	事前学習： ECサイト閲覧、ZOZOTOWNと他サイトの違い 事後学習： 実習記録整理	1時間
14	企業見学（株式会社ZOZO）	事前学習： ECサイト閲覧、ZOZOTOWNと他サイトの違い 事後学習： 実習記録整理	1時間
15	企業見学についての発表/講義のまとめ	事前学習： 発表準備 事後学習： 本時復習	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0111	ファッションビジネス・販売	川田 江美	前期	選択	講義・演習	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 本講座では目まぐるしく変化するファッション業界の実情をリアルタイムな情報として受け止め、情報整理を行う。特に昨今ではマスメディアだけでなくSNSなど様々な情報発信手段にも目を向ける。将来を見据え企業の特徴的な戦略やライターの比較、新ブランドの設立状況や売れ筋商品の動向など様々な角度から企業分析を行う。加えて企業やブランドのコレクションにも目を向け、本学アクションショー演出を支援する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標(標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・技術	ファッションビジネスの基本的仕組みを理解し、説明することができること	確認テスト	40	5	ファッションビジネスの基本的な仕組みを理解、論理的に説明でき、業界の将来性を考えられる			
				4	ファッションビジネスの基本的な仕組みを理解でき論理的に説明できる			
				3	ファッションビジネスの仕組みをおおむね理解できている			
				2	ファッションビジネスの仕組みについて理解が乏しい			
				1	ファッションビジネスの仕組みが正しく理解できていない。			
思考力	自身の長所短所を考慮したコーディネート提案ができ、コーディネート提案後の検証結果を分析することができる	レポート	25	5	自己体型を把握し、体型を生かす着こなし提案ができ論理的に説明できる			
				4	自己体型を把握し、体型を生かす着こなし提案ができ説明できる			
				3	自己体型を把握し、体型を生かす着こなし提案ができる			
				2	自己体型把握はできるが着こなしに生かせていない			
				1	自己体型把握ができていない			
実践力	チームでのコーディネート提案	受講態度	20	5	積極的に発表に参加し、コンセプトにあった提案を論理的にできる			
				4	積極的に発表に参加し、コンセプトにあった提案ができる			
				3	積極的に発表に参加し、発表できる			
				2	発表に参加できる			
				1	参加に消極的である			
向上心・責任感	授業に意欲的に取り組んでいるか	受講態度	5	5	遅刻欠席なく授業に参加し、学ぶ姿勢ができています			
				4	遅刻欠席なく授業に参加している			
				3	遅刻欠席が若干みられるが、授業には参加している			
				2	遅刻欠席が多くみられるが、授業には参加している			
				1	遅刻欠席が多くみられ授業への参加度が極めて低い			
【教科書・参考書】 教科書： 「新版 ファッションビジネス論」 (日本衣料管理協会編) 参考書： 適宜指示する								
【その他】 レポートはフィードバックを行う								
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】				目安時間(時間)
1 ファッションの歴史からみるファッションビジネス 繊維素材産業・テキスタイル産業・アパレル産業・アパレル小売業のしくみ				事前学習： 自分及び家族員の写真からファッションの歴史を概観する 事後学習： 授業にて興味を持ったデザイナーについて詳しく調べる				1時間
2 効果的なファッション写真撮影の方法・実践 (外部講師)				事前学習： 自身の写真データの収集 事後学習： 自身の写真撮影				1時間
3 ファッションビジネス展望 グローバルビジネスと新ビジネスモデル				事前学習： 日本のファッション企業の世界進出状況を調べる 事後学習： 海外アパレル企業の日本進出状況を調べる				1時間
4 業態別ファッション小売企業の組織体制				事前学習： 就職の窓口である人事部について就職受験企業について調べる 事後学習： 自分が目指す就職先の組織体制を調べる				1時間
5 小売企業の職務と種類				事前学習： ファッション業界の仕事について調べる 事後学習： 自分を見つめ、適正のある職務について掘り下げる				1時間
6 小売企業における販売員の仕事				事前学習： 自分が受けた接客で良かった販売員と悪かった点を列記する 事後学習： 販売員の対応を観察に向かう				1時間
7 コーディネート提案				事前学習： コーディネート提案のコンセプトを考える				1時間

	事後学習： プレゼンシートの準備	
8 コーディネート提案	事前学習： コーディネート提案のコンセプトを考える 事後学習： プレゼンシートの準備	1時間
9 販売員に必要な接客技術（レポート1：コーディネート提案力）検証	事前学習： 販売員に必要な接客技術（レポート1：コーディネート提案力）検証 事後学習： コーディネート提案の裏づけを科学的な視点でまとめる	1時間
10 販売員に必要な接客技術（レポート1：コーディネート提案力）検証	事前学習： 販売員に必要な接客技術（レポート1：コーディネート提案力）検証 事後学習： コーディネート提案の裏づけを科学的な視点でまとめる	1時間
11 ファッション小売業の経営戦略	事前学習： 最近のファッション業界の動きをWWDから情報収集する 事後学習： 特異な経営戦略を行っている企業を調べ、その特徴をまとめる	1時間
12 小売業とマーケティング	事前学習： 最近のファッション業界の動きをWWDから情報収集する 事後学習： 就職活動を視野に入れ、受験企業の企業研究を実施する	1時間
13 小売業のプロモーション活動 インストアアプローチとプレストアアプローチ（ショー構成） レポート3	事前学習： ショー演出案を振り返り、小売業界で活用する方策を考える 事後学習： 実際の店舗における売り上げ増に繋がるショーを企画する	1時間
14 店舗運営に関する計数	事前学習： 事前に配布する売り上げ等の計数に関する予習プリントをやる 事後学習： 売り上げ計数を上げるための方策を思案する	1時間
15 確認テスト ファッション小売業の課題と展望	事前学習： 確認テスト勉強をする 事後学習： 自分の目指すべき仕事、就職先等の課題を考察する	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0112	ブライダル企画	水野 香苗	前期	選択	演習	1	○	3
<p>【授業のねらい及び身につく能力】 ブライダル業界に就職を目指す学生に対して、基礎の学習を生かしながら実践的にブライダルの現場を体験しながら仕事の側面に関わることを目指す。様々なケースに対して具現化するアイデア・方法を最新の方法を体験していく。本番のウェディングアシスタントの実務経験を行う事で、よりブライダル業界やサービス業などへの就職へ活かしていく</p>								
<p>【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	仕事にも通ずる、報告・連絡・相談をウェディング現場を通じて体感し、場面に応じた対応を行えている	受講態度		5	積極的に牽引し意見を述べ自ら体得を目指した			
				4	役割内の範囲において責任をもって体得を目指した			
				3	指示された内容においては体得に臨んだ			
				2	指示された内容を他社のサポートを借りながら体得に臨んだ			
				1	意志を持って対応できなかった			
実践力	ウェディングの1日の流れを理解している	レポート		5	授業内講義を通して自分なりのブライダル業界への理解・課題解決に向けた自分の意見をレポートとして発表する事が出来る			
				4	授業内講義を通して自分なりのブライダル業界への理解・課題解決に向けた自分の意見をレポートとして発表する事が概ね出来る			
				3	授業内講義を通して自分なりのブライダル業界への理解を発表する事が出来る			
				2	授業内講義を通して自分なりのブライダル業界への理解を概ね発表出来る			
				1	授業内講義を通して自分なりのブライダル業界への理解を発表する事が出来ない			
向上心・責任感	事前資料やマナーを体得した上でウェディングに携わり自分の考えを持って対応が出来ている	受講態度		5	現場体験や授業内での演習において積極的に参加し遂行した			
				4	現場体験や授業内での演習において責任をもって遂行した			
				3	現場体験や授業内での演習において指示された内容において遂行した			
				2	現場体験や授業内での演習において指示された内容を他社のサポートを借りながら遂行した			
				1	役割を遂行出来なかった			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】 教科書： 授業内で必要に応じて配布する 参考書：</p>								
<p>【その他】 演習・現場体験のフィードバックは授業内で開設する ※実務家教員による授業</p>								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション シラバスの確認 自己紹介	事前学習： シラバスの確認 事後学習： 授業の要点を復習する	1時間
2 ウェディングアシスタントとしての心得・マナー	事前学習： 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習： 授業の復習・要点のまとめ	1時間
3 ウェディングアシスタント実践	事前学習： 進行表・席次表など事前の資料の不明点を明確にしておく 事後学習： 現場体験後、気づいた事や感想等をまとめておく	1時間
4 ウェディングアシスタント実践	事前学習： 進行表・席次表など事前の資料の不明点を明確にしておく 事後学習： 現場体験後、気づいた事や感想等をまとめておく	1時間
5 ウェディングアシスタント実践	事前学習： 進行表・席次表など事前の資料の不明点を明確にしておく 事後学習： 現場体験後、気づいた事や感想等をまとめておく	1時間
6 ウェディングアシスタント実践	事前学習： 進行表・席次表など事前の資料の不明点を明確にしておく 事後学習： 現場体験後、気づいた事や感想等をまとめておく	1時間
7 ウェディングアシスタント実践	事前学習： 進行表・席次表など事前の資料の不明点を明確にしておく 事後学習： 現場体験後、気づいた事や感想等をまとめておく	1時間
8 ウェディングアシスタントの振り返り	事前学習： 現場実習の際の体験のメモの確認・言語化できるようまとめ 事後学習： 要点のまとめ	1時間
9 模擬ウェディングプランニング制作	事前学習： 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習： 授業の復習・要点のまとめ	1時間
10 模擬ウェディングプランニング制作	事前学習： 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習： 授業の復習・要点のまとめ	1時間
11 模擬ウェディングプランニング制作	事前学習： 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習： 授業の復習・要点のまとめ	1時間
12 模擬ウェディングプランニング制作	事前学習： 授業資料に目を通し不明点を確認しておく 事後学習： 授業の復習・要点のまとめ	1時間
13 発表・プレゼン	事前学習： 発表用資料を作成しておく 事後学習： 授業の復習・要点のまとめ	1時間
14 発表・プレゼン	事前学習： 発表用資料を作成しておく 事後学習： 授業の復習・要点のまとめ	1時間
15 まとめ・今後のウェディング業界への確認	事前学習： 事後学習： 資料の統括	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0113	トータルファッション	辻田 朋子	前期	選択	演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 各々に唯一無二の「魅力、があることを再認識し、ヘアメイク・ファッションでその魅力を場面に応じて最大限に表現できる知識・技術を習得する。グローバルに多くのイメージコンサルタントを育成してきた経験から、就職後も各分野で展開できる他者プロデュース力の底上げもサポートする								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	魅力を活かし、場面に応じた魅せ方(自・他プロデュース)について知識と技術を習得できる。	レポート	65	5	自・他プロデュースについて十分に習得し、独自性のある考察ができています			
				4	自・他プロデュースについて十分に習得できている			
				3	自・他プロデュースについて習得できている			
				2	自・他プロデュースについての習得が不十分である			
				1	自・他プロデュースについて習得できていない			
実践力	自・他プロデュースにおける適切なヘアメイクの知識と技術を習得できる	作品	35	5	ヘアメイクの知識と技術が十分に習得できている			
				4	ヘアメイクの知識と技術を適切に習得している			
				3	ヘアメイクの知識と技術を最低限は習得できている			
				2	ヘアメイクの知識と技術の習得が不十分である			
				1	ヘアメイクの知識と技術が習得できていない			
【教科書・参考書】 教科書： 使用しない 参考書： 適宜指示する								
【その他】 レポートと課題のフィードバックを適宜行う。 この授業は日本顔タイプ診断®協会資格「顔タイプアドバイザー1級」の準拠授業です。 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 あなたの魅力はなんですか？ 印象ゲーム、魅力の見つけ方	事前学習： これまでの自分の印象について考えてみる 事後学習： 自身に対する見方の変化についてレポート	1
2 自身を理論的に客観視する 顔タイプ診断®/印象分析について	事前学習： 顔タイプ診断®について事前リサーチ 事後学習： 身近な人の顔立ちや印象について観察してみよう	1
3 セルフプロデュースとは 魅力を活かす、意図を持って表現する	事前学習： 普段自分がどんなことを意識して服を選んでいるか考えてみる 事後学習： 新たな気づきや学びについてレポート	1
4 セルフプロデュースの組み立て方 設計図を作る 課題制作について	事前学習： セルフプロデュースのイメージを膨らます 事後学習： 具体例からセルフプロデュースの設計図を考えてみる	1
5 セルフプロデュース(メイク実習) スキンケア/ベース/眉メイク	事前学習： メイク品の準備 事後学習： 授業のメイクの実行、レポート	1
6 カラー講義 パーソナルカラーを理解する/コスメのカラー分別	事前学習： メイク品の準備 事後学習： パーソナルカラーについてレポート	1
7 メイク実習 眉メイク/ポイントメイク	事前学習： メイク用品の準備 事後学習： 授業のメイクの実行、撮影、レポート	1
8 メイク実習 トータルメイク/目的別	事前学習： メイク用品の準備 事後学習： 授業のメイクの実行、撮影、レポート	1
9 セルフプロデュース(ファッション) 魅力を活かすファッション/目的別	事前学習： ファッションについてイメージ作り 事後学習： 魅力を活かす/目的別ファッションの研究	1
10 骨格診断の講義 自分の骨格を知る/ファッションとの関係	事前学習： 骨格診断について事前リサーチ 事後学習： 骨格診断についてレポート	1
11 セルフプロデュース(髪形) 魅力を活かす髪形/応用	事前学習： 髪形についてイメージ作り 事後学習： 魅力を活かす/応用の研究	1
12 セルフプロデュース(まとめ) 振り返り、課題発表について	事前学習： 課題のイメージ作り 事後学習： 課題制作	1
13 課題制作 グループ課題制作	事前学習： 課題のイメージ作り 事後学習： 課題制作	1
14 課題制作 グループ課題制作	事前学習： 発表の準備 事後学習： 発表についてのレポート	1
15 グループ課題発表 発表、フィードバック	事前学習： 事後学習： 講義全体のレポート	1

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 メイクとは/自分の顔・魅力を知る メイクや自己理解を深める(顔タイプ®)	事前学習: メイクや顔タイプ®について事前リサーチ 事後学習: 授業で感じたことのレポート	1
2 肌の構造とケア 肌の構造を理解し、肌質に合わせたケアを学ぶ	事前学習: 自分の肌の観察をしてみる 事後学習: 授業での学びのレポート	1
3 メイク道具・アイテム メイク道具・アイテムについて正しく理解する	事前学習: メイクアイテムを準備 事後学習: 授業での学びをレポート	1
4 ベースメイク ベースメイクの知識、技術を習得する	事前学習: メイクアイテムを準備 事後学習: ベースメイクの習得、アイテムの研究	1
5 眉メイク<理論・実技> 眉メイクの基礎知識、技術を習得する	事前学習: メイクアイテムを準備 事後学習: 眉メイクの習得、アイテムの研究	1
6 眉メイク イメージコントロール<実技> イメージコントロールを習得する	事前学習: メイクアイテムを準備 事後学習: イメージコントロールの練習	1
7 アイメイク 魅力を活かす <理論・実技> アイメイクの基礎知識、技術を習得する	事前学習: メイクアイテムを準備 事後学習: アイメイクの習得、アイテムの研究	1
8 アイメイク イメージコントロール<理論・実技> イメージコントロールを習得する	事前学習: メイクアイテムを準備 事後学習: イメージコントロールの練習	1
9 チーク・リップ <理論・実技> 基礎、イメージコントロール	事前学習: メイクアイテムを準備 事後学習: メイクの習得、アイテムの研究	1
10 シェーディング・ハイライト<理論・実技> 基礎、イメージコントロール	事前学習: メイクアイテムを準備 事後学習: メイクの習得、アイテムの研究	1
11 テーマに合わせたメイク①(職業など) イメージコントロールメイクの習得	事前学習: 様々なメイクの特徴をリサーチ 事後学習: イメージコントロールメイクの習得	1
12 テーマに合わせたメイク② イメージコントロールメイクの習得	事前学習: 表現したいテーマを考える 事後学習: イメージコントロールメイクの習得	1
13 人へメイクをする 人にメイクをすることで学びを深める、視野を広げる	事前学習: これまでのおさらいをしておく 事後学習: 人にメイクをしてみて感じたことをレポート	1
14 課題制作 テーマを決めてメイクで表現する	事前学習: テーマを考える 事後学習: 課題を進める	1
15 発表 発表、フィードバック、振り返り	事前学習: 発表の準備 事後学習: 発表についてのレポート	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0115	ヘア	斎藤 千恵	前期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 本講座ではヘアデザインが与える印象や自己表現、なりたいイメージやTPOに合わせたスタイルを考え、社会に出たときに実践する力を養う。更にカラー、パーマ、コテ、ストレートアイロンなどで受けるダメージを最小限に抑える知識も修得する。またサロン現場での体験学習にて美容の仕事と実践的なスタイリングを学び『お客様』目線ではなく『働き手』側を体験する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	ヘアの基礎知識を正しく理解する	レポート	70	5	レポートにおいて自分の考えを表現するとともに、的確に現場の状況を把握でき、さらに発展的な思考をもっている			
				4	レポートにおいて自分の考えを表現するとともに、的確に現場の状況を把握できている			
				3	レポートにおいて自分の考えを表現することができる			
				2	レポートにおいて自分の考えを表現することができない			
				1	学んだこと、自分の考えを表現できない			
実践力	店舗実習を通して自分のやるべき行動を考え実施できたか	受講態度	30	5	積極的に実習に取り組み、お客様への配慮、現場で必要なことを察知できている			
				4	積極的に実習に取り組み、お客様への配慮ができる			
				3	真面目に実習に取り組みむことができている			
				2	真面目に取り組んでいるが消極的である			
				1	実習への取り組み姿勢が悪い			
【教科書・参考書】 教科書： なし 参考書： 適宜指示する								
【その他】 レポートはフィードバックを行う この授業では実際に店舗での実習を含む（8月実施予定）								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 ガイダンス：自己紹介・グループ作成 授業内容・評価の説明・なりたい自分アンケート調査・ヘアデザインと自己表現の関係・グループ分け	事前学習： 最新のヘア情報を収集する 事後学習： 本時の復習を行う	1
2 「髪型が与える印象1」理論 髪型・長さ・質感による印象の違い 第一印象とヘアスタイルの関係性・なりたいイメージの共有	事前学習： なりたいイメージを考える 事後学習： 本時の復習を行う	1
3 「髪型が与える印象2 自己分析」顔立ち・雰囲気分析 なりたいイメージとの違い・ディスカッション	事前学習： 自分の顔の分析 事後学習： ディスカッション結果のまとめ	1
4 「ヘアアイロン基礎1 理論」ストレートアイロン・カールアイロンの種類・使用目的と仕上がりの違い・温度設定・髪への影響	事前学習： 日常使用しているヘア用具の確認 事後学習： 本時の復習を行う	1
5 「ヘアアイロンの基礎2 実践」学生間同士での実践・個別指導	事前学習： 日常使用しているヘア用具の特長の再確認 事後学習： 本時の実技の復習を行う	1
6 「ヘアアレンジ1」基礎アレンジを学ぶ	事前学習： ヘアアレンジの方法を考える 事後学習： 本時のヘアアレンジを実施する	1
7 「ヘアアレンジ2」崩れにくいまとめ髪・ハーフアップ・実技演習	事前学習： 様々な髪形を調べる 事後学習： 本時のヘアアレンジを実施する	1
8 「TPO別ヘアスタイル」・フォーマル、就活、学校、カジュアル・シーン別スタイル提案・グループワーク	事前学習： ヘアアレンジの実践 事後学習： 本時の復習を行う	1
9 「カットによるイメージ変化の理解」・カットライン、長さ、重さ(画像・写真での解説)	事前学習： 最新流行のヘアアレンジを調査する 事後学習： 本時の復習を行う	1
10 「相モデル実習、まとめ」相モデルでのヘアセット・これまでの振り替り・フィードバック	事前学習： レポート作成 事後学習： 発表のまとめ	1
11 店舗実習	事前学習： 店舗実習の準備 事後学習： 店舗で気づいたことをまとめる	1
12 店舗実習	事前学習： 店舗実習の準備 事後学習： 店舗で気づいたことをまとめる	1
13 店舗実習	事前学習： 店舗実習の準備 事後学習： 店舗で気づいたことをまとめる	1
14 店舗実習	事前学習： 店舗実習の準備 事後学習： 店舗で気づいたことをまとめる	1
15 まとめ 実習報告	事前学習： 店舗実習の報告書を作成する 事後学習： 授業のまとめを行う	1

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 食品衛生の概要、行政と法規	事前学習： プリントで予習する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
2 食品の変質 ①	事前学習： プリントで予習する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
3 食品の変質 ②	事前学習： プリントで予習する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
4 食品と微生物	事前学習： プリントで予習する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
5 食品の変質と防止法	事前学習： プリントで予習する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
6 食中毒の概要と細菌性食中毒 ① 確認テスト①と解説	事前学習： 第1回から第5回の内容を整理する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
7 細菌性食中毒 ②	事前学習： プリントで予習する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
8 ウイルス性食中毒 感染症、寄生虫	事前学習： プリントで予習する 事後学習： 確認テストの復習をする	2時間
9 自然毒食中毒、化学性食中毒	事前学習： プリントで予習する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
10 有害物質と食品の汚染	事前学習： プリントで予習する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
11 食品添加物 ① 確認テスト②と解説	事前学習： 第6回から第10回の内容を整理する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
12 食品添加物 ②	事前学習： プリントで予習する 事後学習： 確認テストの復習をする	2時間
13 HACCPとISO	事前学習： プリントで予習する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
14 食品の安全性問題	事前学習： プリントで予習する 事後学習： スライドやプリント資料を参考にノートを整理し、内容をまとめる	2時間
15 食品用の器具と容器包装 確認テスト③と解説	事前学習： 第11回から第14回の内容を整理する 事後学習： 確認テストの復習をする	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0117	フードビジネス・MD	小川・飯塚	前期	選択	講義	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 多様化する消費者ニーズの中で、小売り、食品加工、外食、カフェ、フランチャイズ、中食、外食情報支援など様々なビジネスの実態やトレンドを学び、将来的に食に関わる分野や企業に就職を希望している人、飲食での起業を目指したい人に実践的な学びの場を提供します。製品として消費者に届けられるまでの工程において消費者の行動や心理をマーケティングの観点からアプローチし、発売される商品・サービスがどのように開発されていくかを事例を踏まえて学修していき、食分野における知見をビジネス視点で深めることを目指します。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
思考力	フードビジネスにおける、課題を認識し授業内での得た学びを通して問題を解決する自身の考えを打ち出すことができる。	レポート	40	5	授業内講義、課題を通して得た学びを通して、自分なりのフード業界の問題意識・課題解決に向けた意見をレポートとして発表することができる。			
				4	授業内講義、課題を通して得た学びを通して、自分なりのフード業界の問題意識を捉えてレポートとして発表することができる。			
				3	授業内講義、課題を通して得たフード業界の問題意識をまとめてレポートとして発表することができる。			
				2	授業内講義、課題を通して得た内容をレポートにまとめて発表することができる。			
				1	授業内講義、課題を通して得た学びに関して、レポートの提出ができていない。			
コミュニケーション力	授業内における事例や課題に対して、チームで解決策を取りまとめ発表することができる。	作品	30	5	チームにおいて積極的に牽引し意見を述べ発表に貢献した。			
				4	チームにおいて役割内においては責任をもって発表に貢献した。			
				3	チームにおいて指示された内容においては発表に貢献した。			
				2	チームにおいて指示された内容を他者のサポートを借りながら貢献した。			
				1	チームにおいて役割に貢献できなかった。			
実践力	フードビジネスの現状や流れを理解し、商品販売の立案をすることができる。	作品	30	5	授業内講義、課題を通して得た学びを通して、自分なりの商品販売の方法や計画に向けた意見をプレゼンとして効果的に発表することができた。			
				4	授業内講義、課題を通して得た学びを通して得た知識のまとめとして商品販売の方法をプレゼンとして効果的に発表することができた。			
				3	授業内講義、課題を通して得た学びを通して商品販売の理解を深めることができたが、効果的なプレゼンには至らなかった。			
				2	授業内講義、課題を通して得た学びを通して商品販売の理解を深めることができず、効果的なプレゼンには至らなかった。			
				1	授業内講義、課題を通して得た学びに関して、商品販売のプレゼンができなかった。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 必要に応じて授業内に提供するものとする。 参考書： 必要に応じて授業内に提供するものとする。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 授業内にレポート、作品のフィードバックを行う。								
※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション/小川 フードビジネスの現状(シラバス説明/市場動向と社会的役割)	事前学習: シラバスの確認・内容を読んでおく 事後学習: 授業配布のプリントを確認しておく	4
2 フードビジネスとは何か/飯塚 食品業界の全体像とキャリアの広がり(業界規模・業態構造・関連職種)	事前学習: 食品業界のビジネスはどのようなものがあるかを確認する 事後学習: 身近な食品業界のビジネスや関連業界の記事やニュースを確認する	4
3 食品業界のビジネスモデル/飯塚 サプライチェーンの仕組みと価値創造(物流・商流・情報流の統合)	事前学習: 外食、中食業界に関して調べておく 事後学習: 身近な外食、中食業界について確認しておく	4
4 食品企業の収益構造と競争戦略/飯塚 メーカー・卸・小売の利益モデルと競争優位(価格形成とポジショニング)	事前学習: 食品企業はどのようにして収益をあげているのか調べておく 事後学習: 業績が良い優良企業の強みについて確認しておく	4
5 フード業界のアントレプレナー事例/小川 フード業界で独立開業する事例(ゲスト講師)	事前学習: フード業界で独立開業するには何が必要か考える 事後学習: ゲスト講師の話をレポートにまとめる	4
6 課題授業/飯塚 課題レポート作成①	事前学習: 課題の内容を確認する 事後学習: 課題に取り組む	4
7 課題授業/飯塚 課題レポート作成②	事前学習: 課題の内容を確認する 事後学習: 課題に取り組む	4
8 食品マーケティングの基礎/飯塚 マーケティングミックスと消費者理解(商品・価格・流通・販促)	事前学習: マーケティングミックスに関して理解しておく 事後学習: グループ内でプレゼンの振り返りをする。	4
9 食品業界を知る①/飯塚 ゲスト講師(食品メーカー)	事前学習: 自分がおいしいと思う食品について理由を考えておく 事後学習: おいしさを伝える方法を考える	4
10 食ビジネスの現場体験①/小川 千葉県の食ビジネス	事前学習: 千葉県で収穫できる農産物を確認する 事後学習: 身近にある千葉県産の商材を確認する	4
11 小売業界の品揃えとオペレーション/飯塚 カテゴリー戦略と売場運営(棚割・作業効率)	事前学習: 小売業界の品揃えに関して身近な事例を調べておく 事後学習: 授業の内容を踏まえて、小売り現場を確認する	4
12 プライベートブランド戦略/飯塚 小売主導型商品開発とブランド構築(ニーズ探索と差別化)	事前学習: 小売業界のオリジナル商品について調べておく 事後学習: 身近な小売店舗のオリジナル商品について企業間の違いを確認する	4
13 食品業界を知る②/飯塚 ゲスト講師(食品メーカー)	事前学習: 自分がおいしいと思う食品について理由を考えておく 事後学習: おいしさを伝える方法を考える	4
14 食ビジネスの現場体験②/小川 原価計算、商品開発、利益構造	事前学習: 原価計算、利益の構造を調べておく 事後学習: 原価計算、利益の構造のケーススタディを見返す。	4
15 食品業界の課題と未来/飯塚 サステナビリティ経営と展望(食品ロス・持続可能調達・脱プラスチック)	事前学習: 食品業界の課題についてサステナブルな観点から調べておく 事後学習: サステナブルな取り組みを実施している企業を確認する	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0120	保育学	篠沢 薫	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
家庭科教育の保育領域を教授するために、乳幼児の発達、園や家庭での生活や遊び等を学ぶことをねらいとする。また保育の現状と課題について理解し、家庭科教員として説明できる力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	乳幼児の発達や遊びを理解し、その特徴に合った保育教材を作成する。	作品	20	5	乳幼児の発達や遊びを特徴に合った保育教材を作成し、指導例を説明できる。			
				4	乳幼児の発達や遊びの特徴に合った保育教材を作成できる。			
				3	乳幼児の発達や遊びの特徴にある程度合った保育教材を作成できる。			
				2	乳幼児の発達や遊びの特徴の理解不足ではあるが、保育教材は作成している。			
				1	乳幼児の発達や遊びの特徴を理解しておらず、教材も作成していない。			
思考力	保育の現状と課題について、その解決のために様々な資料を参考にして、根拠のある考察をする。	レポート	50	5	文献資料を参考にしながら、保育の現状や課題について自分なりの考察を根拠と共に述べることができる。			
				4	文献資料を参考にしながら、保育の現状や課題について自分なりの考察を述べるができる。			
				3	保育の現状や課題を自分なりに考察して述べるができる。			
				2	保育の現状や課題について、その理解が不足している。			
				1	保育の現状や課題を理解していない。			
コミュニケーション力	保育の現状と課題について理解し、乳幼児の健全な育ちを支えるためには、家庭・地域・保育所等の就学前施設が連携する必要性を理解する。	受講態度	30	5	授業内容を理解した上で説明ができ、授業で提示された課題について他の受講者と話し合うことができる。授業の欠席が2回以下である。			
				4	授業内容を理解した上である程度の説明ができ、授業で提示された課題について他の受講者と話し合うことができる。授業の欠席が3回である。			
				3	授業内容を理解した上で説明しようとする意欲があり、授業で提示された課題について他の受講者と話し合うことができる。授業の欠席が4回である。			
				2	授業内容を理解し、授業で提示された課題について他の受講者と消極的ではあるが話し合うことができる。授業の欠席が5回である。			
				1	授業内容を理解しておらず、他の受講者と話し合わない。授業の欠席が6回以上である。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 「新保育学 改訂5版」岡野雅子・松橋有子・熊澤幸子・武田京子・吉川はる奈 南山堂 (2011年)								
参考書： 「保育所保育指針解説」、「幼稚園教育要領解説」、「幼保連携型認定こども園・保育要領解説」フレーベル館 (2018年)								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
・ 課題やレポート等のフィードバックを行う。 ・ 中学校教諭二種免許状(家庭)の必修科目である。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 保育の意義と役割	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
2 母体の健康管理と子どもの誕生	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
3 乳幼児の心身の発育・発達	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
4 家庭における子育て	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
5 乳幼児の生活 (衣食住)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
6 乳幼児の遊び① (0歳児～1歳児の遊び)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
7 乳幼児の遊び② (3歳児～5歳児の遊び)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
8 乳幼児の遊びと教材① (絵本の役割と読み方)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
9 乳幼児の遊びと教材② (教材の作成)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
10 乳幼児の遊びと教材③ (発表とまとめ)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
11 児童福祉施設	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
12 家庭における看護 (乳幼児の病気や事故の予防と手当て)	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
13 家庭保育と集団保育	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
14 保育場面の読み取り	事前学習： 教科書の該当箇所を読み、授業に参加する。 事後学習： 参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間
15 保育に関する現状と課題 (これまでの学びの総括)	事前学習： これまでの授業内容を復習する。 事後学習： 教科書の該当箇所や参考資料を読み返し、疑問点があれば教員に尋ねるなどして解決する。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0121	カフェデザイン	中田 玲子	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 カフェデザインとは、自分のイメージするカフェを検討、設計していくことである。 この授業では、カフェの開業準備を疑似体験しながら、提供するフードやドリンクメニューの検討、インテリアやテーブルコーディネート等の基礎知識を学び、自分好みのカフェのイメージやプランを上げる。 またカフェ経営には財務面の知識が不可欠である。この基本を理解するため、実務家教員の事業計画立案経験・実績に基づき、開業に向けた投資計画、収支計画、原価計算などを学ぶ。 最終的には、授業で学習した内容をもとに、自分がイメージするカフェ経営についての企画をとりまとめ、聞き手に伝えることのできる力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	カフェ経営に必要なデザイン面のプランニングができ、財務面の検討を行える	レポート	40	5	カフェ経営に必要な事項を網羅的に理解し、実現可能性の高い魅力的な企画を立案できる			
				4	カフェ経営に必要な事項を理解し、魅力的な企画を立案できる			
				3	カフェ経営に必要な事項を認知し、企画を立案できる			
				2	カフェ経営に必要な事項をある程度認知しているが、十分な企画立案には至っていない			
				1	カフェ経営に必要な事項の認知が不十分であり、企画を立案できない			
思考力	検討事項について十分に思考することができ、自分なりの考えを確立できる	受講態度	20	5	自分の空想カフェを主体的に考え、整合性の高い行き届いた企画を検討できる			
				4	自分の空想カフェを主体的に考え、整合性のある企画を検討できる			
				3	自分の空想カフェを考え、ある程度整合性のある企画を検討できる			
				2	自分の空想カフェを考えられているが、整合性が十分とはいえない			
				1	自分の空想カフェの検討が不十分であり、企画として成立していない			
実践力	十分な検討に基づいた作品(メニュー表など)を作り上げ、他者に企画の意図を説明することができる	作品	40	5	企画意図が聞き手に伝わり、受講生を代表するほどの魅力ある作品を作成できる			
				4	企画意図が聞き手に伝わる、魅力ある作品を作成できる			
				3	企画意図に沿った作品を作成できる			
				2	作品を作成したが、企画意図を十分に伝えられていない			
				1	作品を作成したが、指示事項に沿っていない			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 毎回の授業時にレジユメを配布する 参考書： 日本フードコーディネーター協会編『新・フードコーディネーター教本2023 3級資格認定試験対応テキスト』（柴田書店）								
【その他】 企画書、作品のフィードバックを行う。 フードコーディネーターの必修科目 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 カフェデザインとは シラバスの確認、カフェの歴史、基礎知識	事前学習： シラバスを確認する、流行しているカフェを調べる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
2 カフェのスタイルを知る、考える 様々なスタイルの理解、自分の好みの発見	事前学習： 様々なカフェのスタイルに着目し、自分が好きなスタイルを考える 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
3 カフェのメニューを知る、検討する カフェフード(食事、デザート、ドリンク)	事前学習： カフェでどのような食が提供されているか調べる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
4 カフェのレイアウト、インテリアを考える インテリア、設備、什器(食器など)	事前学習： カフェの店内レイアウト、インテリアを調べる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
5 カフェの厨房、導線を考える 必要な厨房設備、機器、人員	事前学習： カフェの店員や来店客の導線を調べる 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
6 自分の理想カフェのイメージを固める(1) 強み(特徴)、スタイル、メニュー、設備など	事前学習： これまでの学習から自分の好みのカフェのイメージを整理する 事後学習： 他者の案の良い点悪い点を考え、自分の企画案を見直す	4
7 カフェの立地、店舗物件を選定する 立地や店舗物件の選定観点など	事前学習： 様々なカフェの立地を調べ、メリット・デメリットを考える 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
8 カフェの起業に必要な投資を把握する 投資計画の作成、資金の調達方法	事前学習： 参考書の第11章を読む 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
9 カフェ経営の収支を考える 売上と費用、収支計画の作成	事前学習： 参考書の第11章を読む 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
10 カフェ経営の損益分岐点を知る 損失が出るか利益が出るかの分かれ目となる売上	事前学習： 参考書の第11章を読む 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
11 自分の理想カフェのイメージを固める(2) 立地、店舗規模、営業内容など	事前学習： これまでの学習から自分の理想カフェの出店イメージを整理する 事後学習： 作成した企画案を見直す	4
12 カフェのサービス内容を具体的に考える セルフ/フルサービス、制服、スタッフ教育など	事前学習： 様々なカフェでどのようにサービスしているか観察する 事後学習： 授業で配布した資料を読み直し、復習する	4
13 メニュー表、カフェプランを完成する 個性を表現したメニュー表、カフェプラン作成	事前学習： 自分の理想カフェにふさわしいメニュー表のスタイルを考える 事後学習： 作成したメニュー案、カフェプランを見直す	4
14 自分の理想カフェのプラン、作品を発表する 個性豊かなカフェプランの共有、意見交換	事前学習： 理想カフェのプランを取りまとめる 事後学習： 自分の作品や発表内容の改善点を考える	4
15 カフェデザインのまとめ カフェ経営についての総まとめ、意見交換	事前学習： 授業全体を振り返り、資料を読み直す 事後学習： 授業資料や自分の作品を振り返り、今後に生かせるよう整理する	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0122	ビジネススタートアップ	小川 弓美子	前期	選択	講義・演習	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>マーケットの成熟化やビジネスの多様化に伴い、既存事業のみに頼ってはいは業績や利益を伸ばし続けることは難しい時代となっている。また、個人のキャリア形成においても働き方も多様化しており、個人事業主や副業をすることを選択する人も増加している。時代背景を踏まえた上で、自らが事業を立ち上げるとなった際に、何を準備をすべきかを具体的な事例を挙げながら学んでいく。授業の最後には学びの集大成としてビジネスプランの考案をし、プレゼンを行っていく。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
思考力	新規事業立ち上げの構造や準備に関して理解をしている。	作品	70	5	授業の内容の理解及び主体的に捉えることができている。作品に自分の観点をいれることができている。			
				4	授業の内容を理解し、作品に自分の観点をいれることができている。			
				3	レポートにおいて授業の内容を理解し、作品には一般的な内容をいれることができている。			
				2	作品には一般的な内容をいれることができている。			
				1	作品の内容が授業や一般概念を踏まえておらず適切ではない。			
コミュニケーション力	グループワークに関して問題点があった際にも他者と協業して行うことができる。	受講態度	15	5	自ら問題点や躓きに気づき、自ら周囲に働き掛け対処ができている。			
				4	周囲の助けを借りながら問題点や躓きに気づき、自ら周囲に働き掛け対処ができている。			
				3	周囲の助けを借りながら問題点や躓きに気づき、対処法を周囲と共に考えていくことができている。			
				2	周囲の助けを借りながら問題点や躓きに気づくが、対処に関しては踏み出せていない。			
				1	周囲の助けを借りながらも問題点や躓きに気づくことができず、且つ対処に関しては踏み出せていない。			
向上心・責任感	プロジェクトを最後まで周囲の人と遂行できる	受講態度	15	5	自ら働きかけプロジェクトの成果を見据えて完遂できた。			
				4	自ら働きかけプロジェクトを完遂できた。			
				3	周囲の助けを借りながらプロジェクトを完遂できた。			
				2	周囲の助けを借りながらプロジェクトに能動的に参加はできた。			
				1	プロジェクトに関しては、受動的であった。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 適宜プリントを配布する。								
参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。								
【その他】 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。								
作品のフィードバックを行う。								
※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション(シラバスの確認) ビジネススタートアップとは	事前学習: シラバスの確認 事後学習: 授業内容の復習	2時間
2 事業立ち上げの種類 イントレプレナー、アントレプレナーの違い	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
3 事例紹介(リクルート) リクルート社の新規事業立ち上げの仕組み	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
4 社内新規事業立ち上げまでの軌跡(イントレプレナー) 当事者インタビュー	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
5 法人の種類 個人事業主、株式会社、合同会社、NPO	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
6 法人登記ってなに? ゲスト: 行政書士(中山法律事務所)	事前学習: 作品発表の準備をしておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
7 MVV 企業におけるmission、vision、value	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
8 スタートアップ企業研究①	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
9 スタートアップ企業研究②	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
10 社会課題解決×スタートアップ	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
11 社内新規事業立ち上げまでの軌跡(社会課題解決とビジネス) 当事者インタビュー	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
12 ビジネスプラン作成のポイントレクチャ	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
13 ビジネスプラン作成 グループワーク	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
14 ビジネスプラン作成 グループワーク	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
15 ビジネスプラン発表	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 今までの授業内容を振り返る。	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0124	ビジネスプロジェクトⅡ	小川 弓美子	前期	選択	演習	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 学生が主体性を持ちビジネスを運営することを目指す。原価、費用を計算し、損失が出ることを無いうようにビジネスプロジェクトを企画・運営をしていく中で実践力を学ぶと共に、予期せぬ事象やリスクを想定しながらリプランしていく柔軟性も身につけていく。また、チームで取り組むことでリーダーシップをそれぞれが発揮し、組織において自身ができることは何かを考えていく鍛錬もしていく。								
1								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	プロジェクト実現のための調整力、協同して課題に取り組む力を身につける	受講態度	30	5	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、自ら率先して当事者意識を発揮し対応することができている。			
				4	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、協力を仰ぎながらチームワークを意識し対応することができている。			
				3	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができている。			
				2	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていないが、対応の意思はある。			
				1	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていない上に、対応の意思がない。			
実践力	企画書に基づき、机上での検討内容を作品として形にする力を身につける	作品	40	5	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、自ら率先して当事者意識を発揮し対応することができている。			
				4	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、協力を仰ぎながらチームワークを意識し対応することができている。			
				3	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができている。			
				2	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていないが、対応の意思はある。			
				1	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていない上に、対応の意思がない。			
思考力	損失が出ないよにリスクを考えながら、予算の組み立て、運営を俯瞰的に考えることができる。	作品	30	5	採算性のあるプランを自ら立案し、その実現に向けて継続的に検討できる			
				4	採算性のあるプランを自ら立案し一定の理解を得ることができている			
				3	採算性のあるプランにおいて必要な検討事項に意見を出すことができている			
				2	採算性のあるプランにおいて、検討事項を記録、確認することができている			
				1	採算性のあるプラン・プロジェクトにおいて参加の姿勢が見えない			
【教科書・参考書】 教科書： 授業の中で必要に応じて紹介をする 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介をする								
【その他】 レポート・作品のフィードバックを授業の中で行う。 ※実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
1	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
2	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
3	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
4	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
5	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
6	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
7	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
8	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
9	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
10	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
11	プロジェクト実施準備 小川 プロジェクト実施に向けての詳細の確認・準備	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
12	プロジェクト実施準備 小川	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
13	プロジェクト実施準備 小川	事前学習 事後学習	授業のために必要な材料や資材を集める 授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	2時間
14	プロジェクト実施後振り返り 小川	事前学習 事後学習	今までの授業の振り返り	2時間
15	まとめ 小川	事前学習 事後学習	総括	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0125	SNSリテラシー	太田 大資	前期	選択	講義・演習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 現代は多くの人が情報収集においてSNSを活用している。ビジネスにおいてもSNSを利用して、広報、マーケティングなどの訴求をしていくことが求められている。各種SNSごとの利用者の年代、情報発信上の特徴や、効果測定の数値分析の立て方、分析に関する構造を学んでいく。授業内では、ケーススタディの中でサイトの閲覧における数値分析を行う。また、SNSに効果的なショート動画やサムネイルの作成などにも取り組んでいく。本授業を通して、今後の産学連携やマーケティングを行う際の礎とする。SNSマーケティングおよび企業広報の実務経験を踏まえ、現実の投稿事例やトラブル事例を教材化しながら、情報の真偽判断能力、発信責任、デジタル社会における倫理観を体系的に理解することを目指す。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・技術	各種SNSの特徴や効果測定の方法について理解している	作品	70	5	授業の内容の理解及び主体的に捉えることができ、作品に自分の観点をいれることができる。			
				4	授業の内容を理解し、作品に自分の観点をいれることができる。			
				3	授業の内容を理解し、作品には一般的な内容をいれることができる。			
				2	作品には一般的な内容をいれることができる。			
				1	作品の内容が授業や一般概念を踏まえておらず適切ではない。			
コミュニケーション力	SNSを運営していく上での作業を問題点があった際にも他者と協業して行うことができる。	受講態度	30	5	自ら問題点や躓きに気づき、自ら周囲に働き掛け対処ができている。			
				4	周囲の助けを借りながら問題点や躓きに気づき、自ら周囲に働き掛け対処ができている。			
				3	周囲の助けを借りながら問題点や躓きに気づき、対処法を周囲と共に考えていくことができる。			
				2	周囲の助けを借りながら問題点や躓きに気づくが、対処に関しては踏み出せていない。			
				1	周囲の助けを借りながらも問題点や躓きに気づくことができず、且つ対処に関しては踏み出せていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 適宜プリントを配布する。 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。								
【その他】 作品のフィードバックを行う。 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション(シラバスの確認) SNSとは	事前学習: シラバスの確認 事後学習: 授業内容の復習	2時間
2 SNSの種類 LINE、YouTube、Instagram、Xの利用者属性	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
3 サムネイル サムネイル制作のポイント、作成	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
4 動画 SNS動画の種類と特徴	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
5 動画制作 ショート動画制作	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
6 作品発表会	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
7 SNSの効果測定 impression、preview、conversion、CVR	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
8 ケーススタディ① YouTubeサイトの立ち上げ方法	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
9 ケーススタディ② YouTubeサイトの運営、拡散に関して	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
10 ケーススタディ③ YouTubeサイトの視聴数拡大マーケティング実践	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
11 ケーススタディ④ YouTubeサイトの視聴数拡大マーケティング実践	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
12 ケーススタディ⑤ YouTubeサイトの効果測定・分析	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
13 Instagram実践 Instagramのフォロワー拡散方法の考案	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
14 Instagram実践 Instagramのフォロワー獲得実践	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間
15 Instagram実践 Instagramの効果測定	事前学習: 授業内容において、事前に調べておく 事後学習: 授業内容の復習	2時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0126	簿記	小川 弓美子	後期	選択	演習	2	○	1
〔授業のねらい及び身につく能力〕 あらゆるビジネスにおいて必要とされる会計の流れを把握することを目指す。具体的には、利益を計算するために日々の取引を把握するための損益の計算や、会社の財政状況を把握するための貸借対象を書類として作成するための手順を基礎から学んでいく。日商簿記3級の資格取得を視野に入れながら、取引記録の仕訳作業から帳簿管理、決算処理までの流れを修得していく。								
〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	仕訳、帳簿、決算の流れと構造を理解している。	確認テスト	70	5	テストスコア 80以上			
				4	テストスコア 65以上			
				3	テストスコア 50以上			
				2	テストスコア 40以上			
				1	テストスコア 40未満			
実践力	会計処理における不明点修正・確認作業を行うことができる	受講態度	30	5	自ら問題点や躓きに気づき、自ら周囲に働き掛け対処ができています。			
				4	周囲の助けを借りながら問題点や躓きに気づき、自ら周囲に働き掛け対処ができています。			
				3	周囲の助けを借りながら問題点や躓きに気づき、対処法を周囲と共に考えていくことができています。			
				2	周囲の助けを借りながら問題点や躓きに気づくが、対処に関しては踏み出せていない。			
				1	周囲の助けを借りながらも問題点や躓きに気づくことができず、且つ対処に関しては踏み出せていない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
〔教科書・参考書〕 教科書： みんなが欲しかった！簿記の教科書 日商簿記3級（TAC出版）、日商簿記検定模擬試験問題集3級（ネットスクール出版） 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介する。								
〔その他〕 課題や制作物等のフィードバックの方法について個々の評価方法に応じて、具体的にお書きください。 確認テスト・レポートのフィードバックを行う。 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション(シラバスの確認) 簿記とは	事前学習: シラバスの確認 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
2 仕訳 商品売買	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
3 仕訳 現金預金、手形・電子記録債権	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
4 仕訳 有形固定資産、その他の取引	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
5 仕訳テスト 確認テスト	事前学習: 確認テスト対策として今までの学習内容を振り返る 事後学習: 確認テストの内容を復習する	3時間
6 帳簿 総勘定元帳、仕訳帳	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
7 帳簿 現金出納帳、当座預金出納帳、小口現金出納帳	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
8 帳簿 仕入帳、売上帳、その他の帳簿	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
9 試算表	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
10 伝票、伝票日計表	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
11 決算処理 精算表	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
12 決算処理 消費税納付、減価償却、法人税計上など	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
13 決算処理 財務諸表作成①	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
14 決算処理 財務諸表作成②	事前学習: 授業部分の教科書を読んでおく 事後学習: 教科書の指導箇所を復習する	3時間
15 過去問チャレンジ 確認テスト	事前学習: 確認テストのための授業内容総復習 事後学習: テスト復習	3時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0127	コリアンコミュニケーション	石 智雅	後期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】								
韓国語を体系的に学び、ハングルの読み書きと基本的な日常会話の基礎を身につける。後半は学生主体のグループワークを通して韓国文化（食・生活・大衆文化等）を調査し、日本との比較を踏まえて発表できる力を養う。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 （規準）	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	ハングルの読み書き、語彙・文法の基礎を理解し、簡単な日常会話（挨拶・自己紹介・予定のやり取り等）ができる。	確認テスト	50	5	確認テスト・会話、筆記試験等で80以上に達している。			
				4	確認テスト・会話、筆記試験等で70以上に達している。			
				3	確認テスト・会話、筆記試験等で60以上に達している。			
				2	確認テスト・会話、筆記試験等で50以上に達している。			
				1	確認テスト・会話、筆記試験等で50点未満である。			
コミュニケーション力	韓国文化への関心を持ち、根拠資料に基づいて日本との共通点・相違点を説明し、グループ発表で共有できる。	作品	50	5	出典3点以上で正確、背景まで説明し日韓比較2点以上・構成明確・参加活動効果的・協働良好で考察が深い。			
				4	出典3点以上で概ね正確、日韓比較1～2点・構成概ね良・参加活動あり・協働概ね良好で考察もある。			
				3	出典1～2点または根拠弱く、説明/比較が浅め・構成やや不安定・参加活動はあるが効果不明・貢献に偏り。			
				2	出典が乏しく正確性に不安、説明不足で比較はぼなし・構成不明瞭・参加活動なし/形だけ・協働不十分。			
				1	出典なしで誤り多く、比較/考察はぼなし・構成不可・参加活動/協働も確認不可。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 金 順玉・阪堂 千津子『最新チャレンジ！韓国語』（白水社）								
参考書： （必要に応じて配布資料を使用）								
【その他】								
確認テストは授業内で解説し、必要に応じて個別フィードバックを行う。文化プロジェクト（第11～15回）はルーブリックに基づき評価し、リハーサル後に改善点をフィードバックする。 ※第11回～第15回は、学生主体のグループワークを中心に進め、調査・整理・発表準備を段階的に行う。								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 オリエンテーション/ハングルの成立と仕組み/基本挨拶 (アイスブレイク)	事前学習: シラバスを確認し、授業の目標・評価・使用教材を把握する。 事後学習: ハングルの仕組みと基本挨拶を復習し、音読練習を行う。	4時間
2 母音字母・合成母音 (発音・書き取り)	事前学習: 教科書の該当ページを読み、母音・合成母音の一覧を確認する。 事後学習: 書き取り・音読を行い、例語を用いて発音を定着させる。	4時間
3 基本子音字母 (発音・読解練習)	事前学習: 子音の形と音価を予習し、代表語を確認する。 事後学習: 子音+母音の読み練習 (音読/書き取り)を行う。	4時間
4 濃音・合成母音 (発音の区別と練習)	事前学習: 濃音・平音の違いを教科書で確認し、例語を準備する。 事後学習: 最小対 (例: ㄷ/ㅌ等) の聞き分け・発音練習を行う。	4時間
5 パッチム (終声) / 基礎的な音変化 ワークブック提出、確認テスト①	事前学習: パッチムの基本規則を整理し、テスト範囲を確認する。 事後学習: 間違えた問題を解き直し、パッチム語の音読・書き取りを行う。	4時間
6 自己紹介 (「私は～です」) / 語彙・文法①②	事前学習: 自己紹介表現と基本語彙を予習し、例文を確認する。 事後学習: 自己紹介文を作成し、ペア練習用に音読して覚える。	4時間
7 文法③④ / 簡単な質問・応答練習	事前学習: 質問文の型を確認し、使う語彙を準備する。 事後学習: Q&Aの型を反復し、短い対話を暗唱できるようにする。	4時間
8 会話① (自己紹介・教室表現) / ペアワーク	事前学習: 教室表現 (指示・依頼) の例文を確認する。 事後学習: 授業で扱った会話を音読し、言い換え表現を整理する。	4時間
9 時間・予定表現 (「時間ありますか?」) / 語彙・文法①②	事前学習: 物に言い方や位置表現を予習し、読み方を確認する。 事後学習: 物がどこあるか質問/答える練習を行い、例文を3つ作る。	4時間
10 会話② (誘い・予定) / 前半まとめ (口頭確認) 確認テスト②	事前学習: 前半 (1~9回) の要点を復習し、テスト対策を行う。 事後学習: テストの解き直しと弱点補強 (発音・語彙・文法) を行う。	4時間
11 韓国文化プロジェクト導入: グループ編成、テーマ決定、リサーチ課題設定	事前学習: テーマ候補を考え、関心分野のキーワードをメモしておく。 事後学習: テーマ・リサーチ質問3つ・役割分担を整理し、次回の調査計画を立てる。	4時間
12 グループリサーチ①: 資料収集と要点整理 (根拠の提示、日韓比較ポイント整理)	事前学習: 信頼できる資料の探し方 (公的機関・報道等) を確認する。 事後学習: 参考資料 (最低3点) をまとめ、各資料の要約 (各3行) を作成する。	4時間
13 グループリサーチ②: 発表構成作成、参加型活動 (クイズ/討論等) の設計	事前学習: 発表の型 (導入→本論→結論) と活動例 (クイズ等) を確認する。 事後学習: 発表構成 (3~5パート) を固め、参加型活動 (問題・台本等) を完成させる。	4時間
14 発表リハーサル: 模擬発表とポイントバック、内容・スライド改善	事前学習: スライドを整え、発表7~8分に収まるよう練習する。 事後学習: 指摘事項を反映し、根拠 (出典) と日韓比較を明確化して修正する。	4時間
15 最終発表 (グループ) + 質疑応答/総括	事前学習: 最終スライド・原稿を確認し、Q&A想定問答を準備する。 事後学習: 振り返りを行い、学んだ点・今後の課題を簡潔にまとめる。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0128	ファッション造形	川田 江美	後期	選択	実習	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 アパレル製品を生産するための、布を製品に仕上げるまでの諸工程の作業計画及び作業内容、更には品質上の意義を実習を通して学ぶ。実習することで技術力向上がはかれ、作品を作り上げる達成感を得ることができる。実際に自己体型あったシャツワンピースを製作するにあたり、立体構成の基礎知識も学ぶ。更にシャツワンピースは製作は基本的な知識のみならず、使用する布や糸、ボタンといった副資材選定等も総合的に習得する。実習を通して基礎技術の修得のみならず実践で役立つ応用力が身につく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	基礎的な縫い方が正確にできる 人体寸法とサイズに関する知識、シャツワンピースの製作工程を理解し、日常の着用できるシャツワンピースを製作する	作品	80	5	基礎的な縫い方が正確かつ丁寧に仕上がっており、シャツワンピースではすべての面で正確に制作でき、なおかつ作品に工夫がみられる			
				4	基礎的な縫い方が正確かつ丁寧に仕上がっており、シャツワンピースでは正確に制作でき、なおかつ作品に工夫がみられる			
				3	基礎的な縫い方が正確かつ丁寧に仕上がっており、シャツワンピースでは正確に制作できている			
				2	基礎的な縫い方が正確に仕上がっており、シャツワンピースでは正確に制作できる			
				1	基礎的な縫い方が正しくされており、シャツワンピースが完成している			
実践力	製作する衣服に創意工夫がみられ、それに適した材料を選定できるか	作品	20	5	デザインに工夫がありそれに適合した素材・副資材を正しく選択できる			
				4	デザインに工夫がありそれを考慮した素材・副資材を選択できる			
				3	適合した素材・副資材を正しく選択できる			
				2	デザインに適合した素材・副資材を選択がやや正しくない			
				1	デザインに適合した素材・副資材を選択が正しくない			
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず 参考書： 適宜指示する								
【その他】 作品はフィードバックを行う 中学校教諭2種免許状(家庭)の必修科目								
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】				目安時間(時間)
1	実習上の心構えと諸注意・人体形態の把握、採寸方法の実習			事前学習： シラバスから授業内容を概観しておく 事後学習： 授業で配布されたプリントを復習し、縫製道具を準備する				4時間
2	素材についての知識、表地と副資材の選択、様々な縫製(パーツ・アッセンブリー)縫製作業の効率化について			事前学習： 家庭科で学んだ内容を確認する 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる				4時間
3	子ども服制作① 裁断・印付け・脇縫い			事前学習： 原型とは何かを確認する 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる				4時間
4	子ども服制作② 見返し・ファスナー・ポケット			事前学習： 胸部原型の展開について調べる 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる				4時間
5	子ども服制作③ 裾、フリル			事前学習： 腕部原型を確認し衿部の展開に必要な胸部原型を確認する 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる				4時間
6	子ども服制作④ ボレロ			事前学習： 実際のワンピースにはどのような素材が使われているか調べる 事後学習： 製作するシャツワンピースに使用する材料について検討する				4時間
7	シャツワンピース制作①…裁断・印付け	YKK講習		事前学習： 製作に使用する生地を選定し用意する 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる				4時間
8	シャツワンピース制作②…ポケット付け			事前学習： デザイン案を考える 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる				4時間
9	シャツワンピース制作③…脇・裾の始末			事前学習： しるし付けにはどのような方法があるか調べる 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる				4時間
10	シャツワンピース制作④…袖・衿づくり			事前学習： 仮縫い、試着、補正の意義を調べる 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる				4時間
11	シャツワンピース制作⑤…袖・衿づくり			事前学習： 衿の作り方を確認しておく 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる				4時間
12	シャツワンピース制作⑥…袖・衿付け			事前学習： 衿付けについて確認しておく				4時間

人間生活学科学科 キャリア創造専攻 1年次

12 シャツワンピース制作⑥…裾上げ	事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる	4時間
13 シャツワンピース制作⑦…衿付け	事前学習： 衿付けについて確認しておく 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる	4時間
14 シャツワンピース制作⑧…ボタンホール・ボタン付け	事前学習： 適したボタンの大きさ、ボタンホールの向き、位置を確認する 事後学習： 授業内の課題を次の授業までに完成させる	4時間
15 シャツワンピース制作仕上げ・着装発表	事前学習： 縫製中の留意点、反省点などをまとめておく作品を自己評価し、完成させて提出する。 事後学習：	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC0129	製菓・製パン実習	中村 香織	前期	選択	実習	1	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 個人として、食に関する知識や扱い方、保存方法などを学ぶ グループとして、役割分担や協力して作り上げる力を身につける 仕上げと盛り付けのアイデア、幅広くスイーツのジャンルを学ぶ								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	生活を科学的に観察し理解することができ、目指すビジネス社会に対応した知識・技術を身につける	レポート	50	5	作り方、道具の使用方法、食品の扱い方などの理解がしっかりとできている。			
				4	作り方、道具の使用方法、食品の扱い方などの理解ができている。			
				3	実習内容がある程度、理解できている。			
				2	実習内容をあまり理解できていない。			
				1	実習内容を理解できていない。			
コミュニケー ション力	グループ学習や実験実習等において他者と関わることで他者を尊重し協力して問題解決ができる	受講態度	10	5	周りとの協力し、スムーズにメニューを作り上げ、他者のサポートもできる。			
				4	周囲と協力し、スムーズにメニューを作り上げることができている。			
				3	周りとの協力し、メニューを作り上げることができている。			
				2	周りとの協力し合っているが、自分自身では率先して作れない。			
				1	実習の目的からも外れ、非協力的である。			
実践力	専門的知識や技術を家庭生活や社会生活の中で活用できる	受講態度	40	5	出席状況も良く、真面目に取り組む、基本的な道具の使い方ができる。			
				4	出席状況も良く、基本的な道具の使い方ができる。			
				3	ある程度出席状況も良く、基本的な道具の使い方が大体できている。			
				2	出席状況があまり良くなく、授業中の態度も良くない。			
				1	出席状況が悪く、授業中の態度も悪い。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず 参考書： フードコーディネーター教本								
【その他】 レポートのフィードバックを行う フードコーディネーターの必修科目 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 授業内容の説明 コックコートの採寸 計量方法、材料の扱い方、生地作りの基本	事前学習： どの本でも良いので、お菓子に関する本を読んでくる。 事後学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと	1
2 コックコートの着方 ディアマンクッキー お菓子のラッピングの基本	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
3 フィナンシェ プレーン生地とアレンジ生地の違い	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
4 マーブルパウンドケーキ(フラワーバター法) マーブルの出し方 生地の作成方法と焼き上がりの比較	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
5 クレームキャラメル 温度管理と湯煎法	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
6 フォッカッチャ 高加水パン	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
7 ドーナツ 揚げ菓子の作成	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
8 ラミネートゼリー ゼラチン アガー 寒天の扱い方	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
9 フルーツロールケーキ 基本のスポンジ生地の焼き方	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
10 アメリカンクッキー 視覚的美しさと味のバランス	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
11 シナモンロール 無水鍋でのパンの焼成	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
12 スコーン スポンジケーキの作成 素材選び	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
13 ショートケーキ 基本のスポンジケーキの作成とナッペ フルーツの扱い方	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
14 ミニバーガー パンズの作成 ハンバーガーの組み立て方	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1
15 タルトフリユイ タルト生地	事前学習： 授業時に提示した課題に取り組むこと 事後学習： レポート	1

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0130	スイーツアート	栗岡 優希	後期	選択	演習	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 本科目ではスイーツにおける食品および料理の見た目に関する知識と技術を習得する。食品の特徴や物性を活用することで料理の仕上がりの違いを理解するとともに、テーマに合わせた調理操作の学習によって専門的知識・技術を身に付ける。また、食品および料理を魅力的に表現するための方法を様々な視点で考察しながらデザインへの応用へとつなげていく。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	食品および調理の特徴が理解でき、デザイン技術の活用方法について自らの言葉で表現できている	レポート	20	5	テーマにおける操作や結果が適切にまとめられ、食品とデザインの特徴を捉えた十分な情報と自身の工夫点が記載されている			
				4	テーマにおける操作や結果が適切にまとめられ、食品とデザインの特徴を捉えた十分な情報が記載されている			
				3	テーマにおける操作や結果が適切に記載されている			
				2	テーマにおける操作や結果が記載されている			
				1	書式に従って記載されている			
コミュニケーション力	他者の考えを尊重しながら意見交換ができ、レポートや作品の完成に向けて協力して取り組める	受講態度	30	5	積極的にコミュニケーションを取り、授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				4	積極的にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				3	授業に前向きに臨む姿勢が見受けられる			
				2	一部にコミュニケーションを取る姿勢が見受けられる			
				1	グループワークに参加する姿勢が見受けられる			
実践力	授業内で学習した食品特性およびデザイン性に関する内容について、基本的な知識および技術を習得することができる	作品	50	5	食品特性と調理性をデザインに活用し、テーマに合った表現ができている			
				4	食品特性と調理性をデザインに活用し、自由な表現ができている			
				3	食品特性と調理性を部分的にデザインへ活用し、表現することができる			
				2	食品特性または調理性を活用し、表現できている			
				1	作品を提出している			
【教科書・参考書】 教科書： 授業時に資料を配布する。 参考書： 授業時に適宜、紹介する。								
【その他】 レポートおよび作品の提出後に適宜フィードバックを行う。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間（時間）
1 授業説明（授業形式、評価方法など） 自分の得意な表現方法の理解、食品の特徴と基礎知識	事前学習： 身の回りにある食品の広告、メニュー表を観察しデザインを確認する 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
2 パイピングのための筆記練習 筆記体の練習と活用イメージ	事前学習： アルファベットの太文字と小文字を確認する 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
3 (調理)パイピング(1) チョコソースを使った平皿へのパイピング	事前学習： 祝辞やイベント時に記載できる文言例を調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
4 (調理)パイピング(2) コルネ作りとパイピングを応用した描画	事前学習： 1色で描画できるイラストやデザインを調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
5 オブアート オブラートを使った食用ペンでのデザイン	事前学習： 食品に描いてみたいイラストを考えておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
6 (調理)マシュマロフォンダント 焼き菓子等のデコレーションに使える砂糖菓子	事前学習： シュガークラフトの活用方法を調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
7 (調理)果物の飾り切り 印象がガラリと変わる果物の切り方と盛り付け	事前学習： スーパーに陳列されている果物を調べておく、果物の旬を調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
8 (調理)砂糖の温度と物性変化を利用した盛付け あめかけ・糖かけ・アフォガードで仕掛けのある魅せ方	事前学習： 砂糖を使った料理およびその使用目的を調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
9 (調理)生クリームを使ったデコレート(1) 成分と泡立ちの差による生クリームの特徴	事前学習： 生クリーム起泡性と砂糖の役割について調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
10 (調理)生クリームを使ったデコレート(2) 着色で魅せる生クリームのデコレーション応用	事前学習： デコレーション例を調べ、盛付けデザインを考えておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
11 (調理)チョコプレートアート(1) チョコレートとココアを使ったモノトーンデザイン	事前学習： チョコレートを使ったプレートデザインを調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
12 (調理)チョコプレートアート(2) 4色のチョコレートを使った盛り付けデザイン	事前学習： 市販チョコレートのデザインと季節による配色の特徴を調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
13 (調理)和菓子の洋風デコレーション 材料の物性を活用した魅せる和菓子アイデアとテクニック	事前学習： 一般的に和菓子で使用される材料と原料を調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
14 (調理)宝石のようなゼリー作り ゲル化食品(寒天・ゼラチン・アガー)の特徴と活用	事前学習： ゲル化食品(寒天・ゼラチン・アガー)の融解・凝固の温度と特徴を調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間
15 ラテアート・まとめ フレンチプレスとミルクフォーマーを使ったラテアート	事前学習： 牛乳の成分と特徴を調べておく 事後学習： 講義内容を振り返る	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0071	イベントプロデュース	菅沼 恵子 川田 江美	通年	選択	演習	(2)	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 イベントを学問的に検証し、専門性を探求するとともにイベントプロデュースの資質を身につける。実施イベントは、真間祭でのファッションショーである。ファッションショーというイベントを開催するにあたり、学問的な視点を持って企画・構成・演出・実施を目指す。特にイベントは個人で成しえるものではなく、チームで丸となり作り上げることから、協調性・コミュニケーション力が高く身につく。加えてショーは実施する側の思いを如何に訴求するかが課題であり、論理的な思考、先を読む力の習得にもなる。更に個人作品として、社会に出て活用できるラッピングの基礎実技を修得する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
思考力	ファッションショーの企画提案や実施後の反省を今後活かす事ができる	レポート	30	5	ファッションショー実施に向けて、計画性を持ち思考をめぐらし取り組めることができる			
				4	ファッションショー実施に向けて、計画性を考えて持ち取り組むことができる			
				3	ファッションショー実施に向けて、考えてまじめに持ち取り組むことができる			
				2	ファッションショー実施に向けて考えて取り組む姿勢はある			
				1	ファッションショー実施に対して考えることができない			
コミュニケーション力	調和を持って話し合いや実施の協力姿勢を持つことができる	受講態度	30	5	チームワークを乱すことなく周りの意見を尊重しリーダーシップ力を生かしながらグループワークを進めることができる			
				4	チームワークを乱すことなく周りの意見を尊重しながらグループワークを進めることができる			
				3	チームワークを乱すことなく周りの意見を尊重することができる			
				2	自分の意見を押しとおしチームワークを乱すことがたまにある			
				1	自分中心のところがみられる			
実践力	物の形を把握し効果的な装飾を考案し、実際の舞台に実現できる	受講態度	30	5	舞台空間把握、環境など係る要因を考え、実際に想定して舞台演出を考案することができ、周りを動かせる			
				4	舞台空間把握、環境など係る要因を考え、実際に想定して舞台演出を考案することができ、自分で動くことができる			
				3	舞台空間把握、環境など係る要因を考え、実際に想定して舞台演出を考案することができる			
				2	舞台空間把握、環境など係る要因を考案することができないが言われたことは実施できる			
				1	舞台空間把握、環境など係る要因を考案することができない			
向上心・責任感	現状より向上し更に良いものを作ることを目指すことができる	受講態度	10	5	現状に満足することなく最後までよい舞台になるよう惜しみなく努力できる			
				4	現状に満足することなく最後までよい舞台になるよう努力できる			
				3	最後までよい舞台になるよう努力できる			
				2	よい舞台になるよう努めることができる			
				1	よい舞台になるよう努めることができない			
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず 参考書： 適宜指示する								
【その他】 作品・レポートはフィードバックする 1年次後期と2年次前期の30回の授業で単位を修得する								
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】				目安時間(時間)	
1	オリエンテーション・・・ファッションショー実施に向けて 等	事前学習： シラバスから授業内容を概観しておく 事後学習： WEB上のショーの閲覧					1時間	
2	WEB上のショー閲覧 インスタライブ閲覧	事前学習： 自身の研究テーマを確認し、何を重点的に視察するか確認しておく 事後学習： 視察内容をレポートにまとめる					1時間	
3	実践（以下すべての実践はグループワーク）・・・本年度ファッションショー舞台合わせ（モデル、証明、音響、映像等を総合的に）	事前学習： 自身が準備すべきことを把握し、用意、練習、しておく 事後学習： 自身が準備すべきことを把握し、用意、練習、しておく					1時間	
4	実践・・・本年度ファッションショー舞台合わせ（モデル、証明、音響、映像等、各担当最終確認）	事前学習： 自身が準備すべきことを把握し、用意、練習、しておく 事後学習： 自身が準備すべきことを把握し、用意、練習、しておく					1時間	
5	実践・・・本年度ファッションショー舞台合わせ（モデル、証明、音響、映像等、各担当最終確認）	事前学習： 自身が準備すべきことを把握し、用意、練習、しておく 事後学習： 舞台合わせの反省をし、本番に活かす					1時間	
6	ファッションショー宣伝広報活動	事前学習： 効果的な宣伝について考える 事後学習： ポスター、チラシ、放送などを駆使し、実際に広報活動する					1時間	
7	本年度ファッションショー反省	事前学習： 自分個人の反省点をまとめておく 事後学習： 全体を見て事故が感じたこと、他者の評価をまとめる					1時間	
8	次年度ファッションショー計画	事前学習： 本年度のショーの良かった点、改善したい点を整理しておく 事後学習： 自分は何で貢献できるか熟考する					1時間	

人間生活学科 キャリア創造専攻 1年次

9	次年度ファッションショー概要とコンセプトの立案	事前学習： 次年度のショーのコンセプトを考えておく 事後学習： 決定した内容についてイメージを膨らませる	1時間
10	ラッピング(菅沼)	事前学習： ラッピングするプレゼントの大きさや中身をイメージしておく 事後学習： 学んだ内容を実際の場面で役立てる	1時間
11	実践・・・コスチュームデザイン2（全体でデザイン調整、制作に向けた素材等検討）	事前学習： コンセプトに沿ったイメージを意識した衣装デザインの構想 事後学習： 次回までにさらにデザイン画を追加するよう作成を進める	1時間
12	実践・・・コスチュームデザイン2（全体でデザイン調整、制作に向けた素材等検討）	事前学習： デザインの偏りを調整し、イメージを定めるべく布地を調べる 事後学習： 希望素材の入手方法を店舗やインターネットなどで探す	1時間
13	実践・・・コスチューム作成1（パターン作成）	事前学習： パターン作成について調べる 事後学習： パターン作成に必要な参考書や過去の作品などを調べる	1時間
14	実践・・・コスチューム作成2（パターン作成、裁断）	事前学習： パターンの完成と布の入手 事後学習： 裁断、しつけなど、段階に応じてできることを進めていく	1時間
15	実践・・・コスチューム作成3（仕上げ）	事前学習： この時点でできていることの確認 春休み以降の活動を確認し、自分のすべきことを把握する 事後学習：	1時間
【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】	目安時間(時間)
16	オリエンテーション 本年度ファッションショー計画	事前学習： ショーへ取り組みへの心構えを記述する 事後学習： 本年度の計画案から自分のすべき仕事を列記する	1時間
17	ファッションショー概要とコンセプトの修正	事前学習： ショーコンセプトから連想するモノ・コトについて画像収集を行う 事後学習： ショーコンセプトから、イメージワードを抽出し新たな提案をする	1時間
18	舞台構成 音響 映像	事前学習： すでに公開されているいくつかのショー映像を視聴する 事後学習： 考案の舞台構成・音楽とコンセプトの一致性を考察する	1時間
19	訴求方法の検討（広報活動）	事前学習： 集客増を目指して新たな宣伝方法を探す 事後学習： より効果的な宣伝広告になるよう手を加える	1時間
20	実践・・・コスチュームコーディネート（衣装）	事前学習： 衣装縫製の方法など、洋裁の基礎知識を確認する 事後学習： 衣装の修正を行う	1時間
21	実践・・・コスチュームコーディネート（ヘア）	事前学習： 最新のヘアスタイルなどの情報を収集する 事後学習： ヘアスタイリングの実技復習を行う	1時間
22	実践・・・コスチュームコーディネート（小物）	事前学習： 最新の効果的な小物の情報を収集する 事後学習： 小物など更なる創意工夫をし、装飾性を加える	1時間
23	実践・・・コスチュームコーディネート（メイク）	事前学習： 最新の効果的なメイク技術、メイク用品の情報を収集する 事後学習： メイクの技術の向上を図る	1時間
24	実践・・・コスチュームコーディネート（メイク）	事前学習： 舞台での効果的なメイク情報を収集する 事後学習： 鑑賞舞台のメイクに関して考察する	1時間
25	実践・・・舞台リハーサル（モデルの動き）	事前学習： 自身の身体バランス、歩行、姿勢等を観察する 事後学習： 歩行練習、姿勢矯正等を実施し安定した歩行の定着をはかる	1時間
26	実践・・・舞台リハーサル（モデルの動きと照明の調和）	事前学習： 歩行練習、姿勢矯正等を実施し定着をはかる 事後学習： 照明に合わせた動きを確認し定着させる	1時間
27	実践・・・舞台リハーサル（モデルの動きと音響の調和）	事前学習： 歩行練習、姿勢矯正等を実施し定着をはかる 事後学習： 音楽に合わせた動き、ポーズを確認し定着させる	1時間
28	ファッションショーのリハーサル	事前学習： 歩行練習、姿勢矯正等を実施し定着をはかる 事後学習： 自分の動きを繰り返し視聴し修正を図る	1時間
29	ファッションショーリハーサル映像の確認	事前学習： 自分の動きを繰り返し視聴し修正を図る 事後学習： 全体のバランスからみて自分の動きを再確認する	1時間
30	ファッションショーの衣装修正 まとめ	事前学習： 全体のバランスからみて衣装の修正箇所を抽出する 事後学習： 衣装の修正を行う	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC007102	イベントプロデュース (フード)	菅沼 恵子 小川 弓美子	通年	選択	演習	(2)	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 イベントとは行事や催し物のことであり、それを企画し制作することがイベントプロデュースである。 授業では、フードに関わる商品のプロデュースや販売において重要な点を学ぶとともに、実際にイベントを企画し、それを形にする演習を行う。この授業を通じて、共同して作業する力、個人としての企画立案力、実践力を養い、イベントをプロデュースする力を身につける。								
1								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	イベント実現のための調整力、協同して課題に取り組む力を身につける	受講態度	30	5	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、自ら率先して当事者意識を発揮し対応することができている。			
				4	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、協力を仰ぎながらチームワークを意識し対応することができている。			
				3	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができている。			
				2	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていないが、対応の意思はある。			
				1	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていない上に、対応の意思がない。			
実践力	企画書に基づき、机上での検討内容を作品として形にする力を身につける	作品	40	5	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、自ら率先して当事者意識を発揮し対応することができている。			
				4	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、協力を仰ぎながらチームワークを意識し対応することができている。			
				3	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができている。			
				2	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていないが、対応の意思はある。			
				1	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていない上に、対応の意思がない。			
向上心・責任感	課題などを確実に実行し、よりよい作品を目指す力を身につける	レポート	30	5	期日までに独自性のある企画を立案し、その実現に向けて継続的に検討できる			
				4	期日までに、一定の理解を得られる、独自性のある企画を立案できる			
				3	期日までに、必要な検討事項を網羅した企画を立案できる			
				2	期日までに企画を立案したが、検討項目が十分ではない			
				1	企画を立案したが、期日までの提出ができず、検討項目が十分ではない			
【教科書・参考書】 教科書： 授業の中で必要に応じて紹介をする 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介をする								
【その他】 レポート・作品のフィードバックを授業の中で行う。 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕		〔準備学習の内容〕		目安時間(時間)
1	オリエンテーション(シラバス確認) 小川 イベントとは	事前学習	シラバスの確認	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
2	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
3	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
4	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
5	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
6	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
7	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
8	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
9	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
10	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
11	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
12	イベントに係る装飾 菅沼 ラッピング	事前学習	ラッピングに関して調べておく	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
13	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
14	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
15	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
16	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
17	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
18	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
19	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
20	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
21	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
22	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
23	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
24	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
25	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
26	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
27	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
28	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
29	イベント実施後振り返り 小川	事前学習	今までの授業の振り返り	2時間
		事後学習		
30	まとめ 小川	事前学習	総括	2時間
		事後学習		

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0071	イベントプロデュース	菅沼 恵子 川田 江美	通年	選択	演習	2	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 イベントを学問的に検証し、専門性を探求するとともにイベントプロデュースの資質を身につける。実施イベントは、真間祭でのファッションショーである。ファッションショーというイベントを開催するにあたり、学問的な視点を持って企画・構成・演出・実施を目指す。特にイベントは個人で成しえるものではなく、チームで丸となり作り上げることから、協調性・コミュニケーション力が高く身につく。加えてショーは実施する側の思いを如何に訴求するかが課題であり、論理的な思考、先を読む力の習得にもなる。更に個人作品として、社会に出て活用できるラッピングの基礎実技を修得する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標(規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
思考力	ファッションショーの企画提案や実施後の反省を今後活かす事ができる	レポート	30	5	ファッションショー実施に向けて、計画性を持ち思考をめぐらし取り組み、終了後も経験を次につなげる意識が高い			
				4	ファッションショー実施に向けて、計画性を考えて持ち取り組みむことができる			
				3	ファッションショー実施に向けて、考えてまじめに持ち取り組むことができる			
				2	ファッションショー実施に向けて考えて取り組む姿勢はある			
				1	ファッションショー実施に対して考えることができない			
コミュニケーション力	調和を持って話し合いや実施の協力姿勢を持つことができる	受講態度	30	5	チームワークを乱すことなく周りの意見を尊重しリーダーシップ力を生かしグループワークを進めることができる			
				4	チームワークを乱すことなく周りの意見を尊重しグループワークを進めることができる			
				3	チームワークを乱すことなく周りの意見を尊重することができる			
				2	自分の意見を押しとおしチームワークを乱すことがたまにある			
				1	自分中心のところのみられる			
実践力	物の形を把握し効果的な装飾を考案し、実際の舞台に実現できる	受講態度	30	5	舞台空間把握、環境など係る要因を考え、実際に想定して舞台演出を考えることができ、周りを動かせる			
				4	舞台空間把握、環境など係る要因を考え、実際に想定して舞台演出を考えることができ、自分で動くことができる			
				3	舞台空間把握、環境など係る要因を考え、実際に想定して舞台演出を考えることができる			
				2	舞台空間把握、環境など係る要因を考えることができないが言われたことは実施できる			
				1	舞台空間把握、環境など係る要因を考えることができない			
向上心・責任感	現状より向上し更に良いものを作ることを目指すことができる	受講態度	10	5	現状に満足することなく最後までよい舞台になるよう惜しみなく努力できる			
				4	現状に満足することなく最後までよい舞台になるよう努力できる			
				3	最後までよい舞台になるよう努力できる			
				2	よい舞台になるよう努めることができる			
				1	よい舞台になるよう努めることができない			
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず 参考書： 適宜指示する								
【その他】 作品・レポートはフィードバックする 1年次後期と2年次前期の30回の授業で単位を修得する								
【授業の内容・スケジュール】				【準備学習の内容】				目安時間(時間)
1	オリエンテーション・・・ファッションショー実施に向けて 等	事前学習： シラバスから授業内容を概観しておく 事後学習： WEB上のショーの閲覧						1時間
2	WEB上のショー閲覧 インスタライブ閲覧	事前学習： 自身の研究テーマを確認し、何を重点的に視察するか確認しておく 事後学習： 視察内容をレポートにまとめる						1時間
3	実践(以下すべての実践はグループワーク)・・・本年度ファッションショー舞台合わせ(モデル、証明、音響、映像等を総合的に)	事前学習： 自身が準備すべきことを把握し、用意、練習、しておく 事後学習： 自身が準備すべきことを把握し、用意、練習、しておく						1時間
4	実践・・・本年度ファッションショー舞台合わせ(モデル、証明、音響、映像等、各担当最終確認)	事前学習： 自身が準備すべきことを把握し、用意、練習、しておく 事後学習： 自身が準備すべきことを把握し、用意、練習、しておく						1時間
5	実践・・・本年度ファッションショー舞台合わせ(モデル、証明、音響、映像等、各担当最終確認)	事前学習： 自身が準備すべきことを把握し、用意、練習、しておく 事後学習： 舞台合わせの反省をし、本番に活かす						1時間
6	ファッションショー宣伝広報活動	事前学習： 効果的な宣伝について考える 事後学習： ポスター、チラシ、放送などを駆使し、実際に広報活動する						1時間
7	本年度ファッションショー反省	事前学習： 自分個人の反省点をまとめておく 事後学習： 全体を見て事故が感じたこと、他者の評価をまとめる						1時間
8	次年度ファッションショー計画	事前学習： 本年度のショーの良かった点、改善したい点を整理しておく						1時間

人間生活学科 キャリア創造専攻 2年次

	事後学習： 自分は何で貢献できるか熟考する	1時間
9 次年度ファッションショー概要とコンセプトの立案	事前学習： 次年度のショーのコンセプトを考えておく 事後学習： 決定した内容についてイメージを膨らませる	1時間
10 ラッピング(管沼)	事前学習： ラッピングするプレゼントの大きさや中身をイメージしておく 事後学習： 学んだ内容を実際の場面で役立てる	1時間
11 実践・・・コスチュームデザイン2 (全体でデザイン調整、制作に向けた素材等検討)	事前学習： コンセプトに沿ったイメージを意識した衣装デザインの構想 事後学習： 次回までにさらにデザイン画を追加するよう作成を進める	1時間
12 実践・・・コスチュームデザイン2 (全体でデザイン)	事前学習： デザインの偏りを調整し、イメージを定めるべく布地を調べる 事後学習： 希望素材の入手方法を店舗やインターネットなどで探す	1時間
13 実践・・・コスチューム作成1 (パターン作成)	事前学習： パターン作成について調べる 事後学習： パターン作成に必要な参考書や過去の作品などを調べる	1時間
14 実践・・・コスチューム作成2 (パターン作成、裁断)	事前学習： パターンの完成と布の入手 事後学習： 裁断、しつけなど、段階に応じてできることを進めていく	1時間
15 実践・・・コスチューム作成3 (仕上げ)	事前学習： この時点でできていることの確認 春休み以降の活動を確認し、自分のすべきことを把握する 事後学習：	1時間
【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
16 オリエンテーション 本年度ファッションショー計画	事前学習： ショーへ取り組みへの心構えを記述する 事後学習： 本年度の計画案から自分のすべき仕事を列記する	1時間
17 ファッションショー概要とコンセプトの修正	事前学習： ショーコンセプトから連想するモノ・コトについて画像収集を行う 事後学習： ショーコンセプトから、イメージワードを抽出し新たな提案をする	1時間
18 舞台構成 音響 映像	事前学習： すでに公開されているいくつかのショー映像を視聴する 事後学習： 考案の舞台構成・音楽とコンセプトの一致性を考察する	1時間
19 訴求方法の検討 (広報活動)	事前学習： 集客増を目指して新たな宣伝方法を探す 事後学習： より効果的な宣伝広告になるよう手を加える	1時間
20 実践・・・コスチュームコーディネート (衣装)	事前学習： 衣装縫製の方法など、洋裁の基礎知識を確認する 事後学習： 衣装の修正を行う	1時間
21 実践・・・コスチュームコーディネート (ヘア)	事前学習： 最新のヘアスタイルのなどの情報を収集する 事後学習： ヘアスタイリングの実技復習を行う	1時間
22 実践・・・コスチュームコーディネート (小物)	事前学習： 最新の効果的な小物の情報を収集する 事後学習： 小物など更なる創意工夫をし、装飾性を加える	1時間
23 実践・・・コスチュームコーディネート (メイク)	事前学習： 最新の効果的なメイク技術、メイク用品の情報を収集する 事後学習： メイクの技術の向上を図る	1時間
24 実践・・・コスチュームコーディネート (メイク)	事前学習： 舞台での効果的なメイク情報を収集する 事後学習： 鑑賞舞台のメイクに関して考察する	1時間
25 実践・・・舞台リハーサル (モデルの動き)	事前学習： 自身の身体バランス、歩行、姿勢等を観察する 事後学習： 歩行練習、姿勢矯正等を実施し安定した歩行の定着をはかる	1時間
26 実践・・・舞台リハーサル (モデルの動きと照明の調和)	事前学習： 歩行練習、姿勢矯正等を実施し定着をはかる 事後学習： 照明に合わせた動きを確認し定着させる	1時間
27 実践・・・舞台リハーサル (モデルの動きと音響の調和)	事前学習： 歩行練習、姿勢矯正等を実施し定着をはかる 事後学習： 音楽に合わせた動き、ポーズを確認し定着させる	1時間
28 ファッションショーのリハーサル	事前学習： 歩行練習、姿勢矯正等を実施し定着をはかる 事後学習： 自分の動きを繰り返し視聴し修正を図る	1時間
29 ファッションショーリハーサル映像の確認	事前学習： 自分の動きを繰り返し視聴し修正を図る 事後学習： 全体のバランスからみて自分の動きを再確認する	1時間
30 ファッションショーの衣装修正 まとめ	事前学習： 全体のバランスからみて衣装の修正箇所を抽出する 事後学習： 衣装の修正を行う	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CC007104	イベントプロデュース (フード・ビジネス)	菅沼 恵子 小川 弓美子	通年	選択	演習	2	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 イベントとは行事や催し物のことであり、それを企画し制作することがイベントプロデュースである。 授業では、フードに関わる商品のプロデュースや販売において重要な点を学ぶとともに、実際にイベントを企画し、それを形にする演習を行う。この授業を通じて、共同して作業する力、個人としての企画立案力、実践力を養い、イベントをプロデュースする力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
コミュニケーション力	イベント実現のための調整力、協同して課題に取り組む力を身につける	受講態度	30	5	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、自ら率先して当事者意識を発揮し対応することができている。			
				4	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、協力を仰ぎながらチームワークを意識し対応することができている。			
				3	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができている。			
				2	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていないが、対応の意思はある。			
				1	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていない上に、対応の意思がない。			
実践力	企画書に基づき、机上での検討内容を作品として形にする力を身につける	作品	40	5	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、自ら率先して当事者意識を発揮し対応することができている。			
				4	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、協力を仰ぎながらチームワークを意識し対応することができている。			
				3	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができている。			
				2	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていないが、対応の意思はある。			
				1	授業内での課題・ディスカッション・各種計画立案に対して、指示を受けたことに対して対応することができていない上に、対応の意思がない。			
向上心・責任感	課題などを確実に実行し、よりよい作品を目指す力を身につける	レポート	30	5	期日までに独自性のある企画を立案し、その実現に向けて継続的に検討できる			
				4	期日までに、一定の理解を得られる、独自性のある企画を立案できる			
				3	期日までに、必要な検討事項を網羅した企画を立案できる			
				2	期日までに企画を立案したが、検討項目が十分ではない			
				1	企画を立案したが、期日までの提出ができず、検討項目が十分ではない			
【教科書・参考書】 教科書： 授業の中で必要に応じて紹介をする 参考書： 授業の中で必要に応じて紹介をする								
【その他】 レポート・作品のフィードバックを授業の中で行う。 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕		〔準備学習の内容〕		目安時間(時間)
1	オリエンテーション(シラバス確認) 小川 イベントとは	事前学習	シラバスの確認	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
2	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
3	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
4	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
5	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
6	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
7	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
8	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
9	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
10	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
11	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
12	イベントに係る装飾 菅沼 ラッピング	事前学習	ラッピングに関して調べておく	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
13	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
14	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	
15	イベント企画 小川 学園祭に向けての準備(グループワーク)	事前学習	イベントに関連する企画を考え、意見をまとめておく。	2時間
		事後学習	授業の復習、次回に向けての話し合いの実施	

【授業の内容・スケジュール】		【準備学習の内容】		目安時間(時間)
16	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
17	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
18	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
19	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
20	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
21	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
22	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
23	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
24	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
25	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
26	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
27	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
28	イベント実施準備 小川	事前学習	授業のために必要な材料や資材を集める	2時間
	イベント実施に向けての詳細の確認・準備	事後学習	授業の内容を振り返り次回に生かす工夫を考える	
29	イベント実施後振り返り 小川	事前学習	今までの授業の振り返り	2時間
		事後学習		
30	まとめ 小川	事前学習	総括	2時間
		事後学習		

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CC0091	キャリアデザイン演習	川田 江美	前期	選択	演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 本講座では目まぐるしく変化するファッション業界の実情をリアルタイムな情報として受け止め、情報整理を行う。特に流行を意識しマスメディアだけでなくSNSなど様々な情報発信手段にも目を向ける。将来を見据え企業の特徴的な戦略やライバル社の比較、新ブランドの設立状況や売れ筋商品の動向など様々な角度から企業分析を行う。加えて企業やブランドのコレクションにも目を向け、本学ショー演出を支援する。ファッション業界の基本的知識を学び、業界で働くための思考力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標(規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
思考力	ファッション業界・ブライダル業界に強い興味関心を持ち、学んだ知識を的確にさらに論理的に活用できる	レポート	60	5	各業界について深く探求することができ、その内容を論理的にまとめることができる			
				4	各業界について探求することができ、その内容を理解できる			
				3	各業界について探求しまとめることができる			
				2	各業界について興味関心をもつことができる			
				1	各業界について興味が薄い			
社会人基本スキル	グループ課題について協調性を持って取り組むことができる	受講態度	10	5	他者と協力ができ、回りを巻き込むリーダーシップ力がある			
				4	他者と協力し積極的に調和を持つことができる			
				3	他者と協力することができる			
				2	他者に協力する姿勢がない			
				1	他者を尊重することができない			
実践力	情報を実際の就職活動や研究課題解決に活用、提案することができる	レポート	15	5	探求の成果を実際の就職活動に効果的に生かすことができる			
				4	探求の成果を就職活動に応用しようとする姿勢がある			
				3	探求の成果を就活の参考にできる			
				2	探求の成果を就活に生かすことが難しい			
				1	探求の成果と就活を結びつけることができない。			
向上心・責任感	最新情報を積極的に取り組みより良くなる積極性を持つ	受講態度	15	5	遅刻欠席がなく何事にも意欲的に取り組み、情報収集に前向きに取り組む			
				4	遅刻欠席なく何事にも意欲的に取り組む			
				3	遅刻欠席なくまじめに取り組む			
				2	遅刻欠席が多く意欲がやや低い			
				1	遅刻欠席が多く、授業に取り組む意欲がない			
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず 参考書： 適宜指示する								
【その他】 作品・ レポートはフィードバックを行う 1年次後期と2年次前期の30回の授業で単位を修得する								
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】					目安時間(時間)
1	解説：ファッション業界の仕組み	事前学習： 自分の知っているファッション分野の店舗名を列記する 事後学習： 本時の復習						1時間
2	解説：様々なファッション業界・・・ラグジュアリーブランド、ファストファッション、セレクトショップ、専門店、百貨店、アウトレット等、ブライダル業界（ホテル・専門施設・レストランなど）	事前学習： 自分の知っている店舗についてグループ分けを行う 事後学習： 自分が希望したグループ分けを確認し、各々のテーマを考える						1時間
3	ファッション業界・ブライダル業界の就活に関して（1）リクルートサイトの見方	事前学習： 興味関心のある企業のリクルートサイトに目を通す 事後学習： 各企業へのエントリーをする						1時間
4	ファッション業界・ブライダル業界の就活に関して（2）エントリーシートについて	事前学習： 就職体験集を読む 事後学習： 面接記録をまとめる						1時間
5	ファッション業界・ブライダル業界の就活に関して（3）面接について	事前学習： グループディスカッションの候補テーマを考える 事後学習： 就職ノートを整理する						1時間
6	ファッション業界の就活に関して（4）グループディスカッションについて 1	事前学習： グループディスカッションの候補テーマを考える 事後学習： 就職ノートを整理する						1時間
7	ファッション業界の就活に関して（4）グループディスカッションについて 2	事前学習： グループディスカッションの候補テーマを考える 事後学習： 就職ノートを整理する						1時間

8	ファッション業界の就活に関して (5) プレゼンテーション 2		事前学習： 企業プレゼンテーションの練習 事後学習： 就職ノートを整理する	1時間
9	ファッション業界の就活に関して (5) プレゼンテーション 2	プレ	事前学習： 企業プレゼンテーションの練習 事後学習： 就職ノートを整理する	1時間
10	ファッション業界の就活に関して (5) プレゼンテーション 3		事前学習： 企業プレゼンテーションの練習 事後学習： 就職ノートを整理する	1時間
11	ファッション業界の就活に関して (5) 自己アピールプレゼンテーション 2		事前学習： 企業へのプレゼンテーションの練習 事後学習： 就職ノートを整理する	1時間
12	ファッション業界の就活に関して (5) 自己アピールプレゼンテーション 3		事前学習： 企業へのプレゼンテーションの練習 事後学習： 就職ノートを整理する	5時間
13	ファッション業界の就活に関して (6) ライバル企業との比較		事前学習： 就職用写真の収集 事後学習： モチベーションシートの作成	1時間
14	ファッション業界の就活に関して (7) ライバル企業との比較		事前学習： 就職用写真の収集 事後学習： モチベーションシートの作成	1時間
15	就活報告会 まとめ 発表		事前学習： 就活反省記録の整理 事後学習： 発表の感想レポートを作成する	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0002	教育心理学	白岩 等	前期	選択	講義	2	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 教育心理学の主たる領域である成長と発達、学習、人格、適応、評価などに関する基本的な知識や考え方について、実務家教員の視点から解説する。乳幼児期や児童期の発達や学習過程等に関する基礎的な知識を獲得することで、学校教育の中で、教育心理学的な視点から子どもや子どもを取り巻く諸問題に対応する力を身に付ける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	教育心理学に関する基礎的な知識や考え方を習得する。	定期試験	70	5	定期試験の得点が8割以上			
				4	定期試験の得点が7割以上			
				3	定期試験の得点が6割以上			
				2	定期試験の得点が5割以上			
				1	定期試験の得点が5割未満			
思考力	教育上の諸問題を、教育心理学の視点から理解を深め、問題をよりよく解決する力を身に付ける。	レポート	30	5	教育上の課題を積極的に学び、問題をよりよく解決するレポートを作成することができる。			
				4	教育上の課題を積極的に学び、解決するレポートを作成することができる。			
				3	教育上の課題を学び、解決するレポートを作成することができる。			
				2	教育上の課題を学んでいるが、問題を解決するレポートを作成することができない。			
				1	教育上の課題の学びが不十分であり、問題を解決するレポートを作成することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 神藤貴昭・久木山健一「ようこそ教育心理学の世界へ」(第3版)北樹出版 参考書： 授業時に適宜指示する								
【その他】 ・レポート等についてフィードバックを行う。 ・中学校教諭二種免許状家庭の必修科目 ・実務家教員による授業								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 オリエンテーション 教育心理学とは何か	事前学習： 教育心理学とは何か、自分なりにイメージする。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
2 「発達」とは何か	事前学習： 教科書第2章「発達」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
3 自己の発達	事前学習： 子どもがどのように自己を発達させるかについて考える。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
4 認知発達と言語発達	事前学習： 教科書第2章「発達」第4節「ピアジェの認知発達」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
5 発達障害	事前学習： 教科書第14章「発達障害と特別支援教育」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
6 学習行動の基礎	事前学習： 教科書第4章「動機づけ」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
7 学びの動機付け	事前学習： 教科書第3章「学習」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
8 知的能力の発達	事前学習： 教科書第5章「知能・記憶・メタ認知」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
9 パーソナリティーの発達	事前学習： 教科書第10章「パーソナリティー」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
10 教育の評価	事前学習： 教科書第7章「教育評価」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
11 社会性の発達と集団活動	事前学習： 教科書第9章「仲間関係」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
12 子どもをめぐる教育的な諸問題	事前学習： 教科書第11章「学校における不適応」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
13 教育相談	事前学習： 教科書第13章「教育相談」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
14 教授学習過程	事前学習： 教科書第6章「教授学習過程」を読み、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4
15 まとめ	事前学習： これまでに授業で気負った資料を確認し、授業に参加する。 事後学習： 新たに理解できたこと、考えたこと、疑問点を整理する。	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0003	教職概論	佐野 典行	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 将来、教職や学校職員、教育に携わる職務を志望する学生が、必要な教職の基礎・基本を身に付ける。 教育基本法や学校教育法などの教育関係法規に沿って、学校教育の意義、教員の身分や勤務条件、職務内容等について理解する。 新学習指導要領で求められている教員としての資質・能力、現在の学校教育が抱える課題について、ディベート、討論、演習等のアクティブラーニングを通して考え、必要な教育観・教職観、実践的指導力を身に付ける。以上を教論並びに教育委員会の指導主事の経験を活かし実例等を交えて教授する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
思考力	教育関係法規を理解し、教職の意義やその職責の重大さを認識し、新学習指導要領が求めている学校教育の在り方と課題について考え、課題解決の具体策を見つける。	定期試験	50	5	定期試験(知識・理解・課題解決等)の解答が8割を満たしている。			
				4	定期試験(知識・理解・課題解決等)の解答が6割を満たしている。			
				3	定期試験(知識・理解・課題解決等)の解答が4割を満たしている。			
				2	定期試験(知識・理解・課題解決等)の解答が2割を満たしている。			
				1	定期試験(知識・理解・課題解決等)の解答が2割未満である。			
		レポート	25	5	新学習指導要領が求めている学校教育の在り方と課題を的確に捉え、課題解決の効果的な具体策が多角的に記されている。			
				4	新学習指導要領が求めている学校教育の在り方と課題を的確に捉え、課題解決の具体策が多角的に記されている。			
				3	新学習指導要領が求めている学校教育の在り方と課題を捉え、課題解決の具体策が記されている。			
				2	新学習指導要領が求めている学校教育の在り方と課題について記されている。			
				1	新学習指導要領が求めている学校教育の在り方について記されている。			
向上心・責任感	これからの教員に求められる資質能力を考えることで、教員としての向上心と責任感を培う。	レポート	25	5	これからの教員に求められる資質・能力の視点に立って、自己分析に基づき自己研鑽の具体的なかつ計画的な取組が記されている。			
				4	これからの教員に求められる資質・能力の視点に立って、自己研鑽の具体的なかつ計画的な取組が記されている。			
				3	これからの教員に求められる資質・能力の視点に立って、自己研鑽の具体的な取組が記されている。			
				2	これからの教員に求められる資質・能力と自己研鑽について記されている。			
				1	これからの教員に求められる資質・能力について記されている。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 参考書： 赤星晋作 編著 「新 教職概論」(学文社)								
【その他】 課題(レポート等)に対してフィードバックを行う。 中学校教諭2種免許状(家庭)の必修科目 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 教師の歴史	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
2 現代社会の子ども	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
3 教育観と教職観 ～ディベート～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
4 学校教育の意義と教師の役割 ～討論～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
5 教師の資質能力 ～中央教育審議会（答申）に学ぶ～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
6 教師の職務と関係法規Ⅰ ～教育基本法・学校教育法・教育公務員特例法等～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
7 教師の職務と関係法規Ⅱ ～学校保健安全法・地方公務員法・教育職員免許法等～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
8 教師の質の保証と研修、教員評価（人事考課）	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
9 主体的・対話的で深い学びⅠ（理論）	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
10 主体的・対話的で深い学びⅡ（指導案検討） ～実践演習～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
11 主体的・対話的で深い学びⅢ（模擬授業） ～実践演習～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
12 学校の危機管理Ⅰ 人権：事例検討	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
13 学校の危機管理Ⅱ チーム学校	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
14 学校教育が抱える課題	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
15 理想の教師像 ～討論～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0005	家庭科教育法	川田 江美	前期	選択	講義	2	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 今日的な家庭科の教科の特性と役割を理解して、特に中学校における「技術・家庭」（家庭分）を教える立場で、生きる力と生活的自立能力など、その本質を踏まえた家庭科教育を担う家庭科教員の養成を行う。特に昨今の教育の中心にある「問題解決力」を持つ教員、更には育成できる教員になるよう実践的な学びを取り入れる。本講座では教員になることを視野に入れ、社会人基礎力を身につけ、教員としての専門的知識、及び実践力が身につく。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
社会人基礎スキル	教員として生徒の模範となる受講態度で授業に臨むことができる	受講態度	5	5	教員になる意識が高く、何事も学びに結びつくことを理解し授業に取り組む			
				4	教員になる意識が高く、授業に取り組む			
				3	教員になる意識している			
				2	教員になる意識が低く学ぶ姿勢が低い			
				1	教員になる意識がなく授業への取り組む姿勢ができていない			
専門的知識・技術	家庭科の重要性を理解し、生徒を指導する知識・技術が身につける	定期試験	50	5	定期試験における解答が8割を満たしている			
				4	定期試験における解答が6割を満たしている			
				3	定期試験における解答が4割を満たしている			
				2	定期試験における解答が2割を満たしている			
				1	定期試験における解答ができていない			
思考力	教員としての考えを持ち、取るべき態度・あるべき姿が身につける	定期試験	15	5	定期試験における論理的な記述問題部分の解答が8割を満たしている			
				4	定期試験における論理的な記述問題部分の解答が6割を満たしている			
				3	定期試験における論理的な記述問題部分の解答が4割を満たしている			
				2	定期試験における論理的な記述問題部分の解答が2割を満たしている			
				1	定期試験における論理的な記述問題部分の解答ができていない			
実践力	学習指導案が作成でき、指導案どおり実際の授業が実施することができる	レポート	25	5	学習指導案作成において授業目標・授業展開等が実際に授業を想定して工夫し組み立て記述されている			
				4	学習指導案作成において授業目標・授業展開等が正しく組み立て記述されている			
				3	学習指導案作成において授業目標正しく表記されているが、授業展開に不足がみられる			
				2	学習指導案作成において授業目標・授業展開に不足がみられる			
				1	学習指導案へ対する理解ができていない			
向上心・責任感	教員になる意識と意欲を持って授業に取り組むことができる	受講態度	5	5	教員になる意識が高く、教える立場を理解し授業に臨んでいる			
				4	教員になる意識を持ち、教える立場を理解し授業に臨んでいる			
				3	教員になる意識は低いが、教える立場を理解し授業に臨んでいる			
				2	教員になる意識は低く教える立場の理解が低い			
				1	教員になる意識がない			
【教科書・参考書】 教科書： 使用せず 参考書： 適宜指示する								
【その他】 学習指導案はフィードバックを行う 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目								
【授業の内容・スケジュール】			【準備学習の内容】				目安時間(時間)	
1 家庭科教育とは①学校教育②家庭科教育③家政学			事前学習： 家庭科教員を目指すために必要なことを考える 事後学習： 学校教育法等の復習を行う				4時間	
2 家庭科教育の目標及び家庭科の変遷 家庭科の独自性、家庭科教育が育てる能力			事前学習： 自らが学んだ家庭科の振り返りを行う 事後学習： 授業の復習により家庭科の歴史を理解する				4時間	
3 家庭科の学習指導①教育課程②学習指導の工夫と実践			事前学習： 家庭教員を思い出し、良かったこと悪かったことを列記する 事後学習： 家庭科教員としての資質向上を目指し必要な事をレポートする				4時間	
4 導要領について 中学校技術・家庭（家庭分野）の目標と学習内容			事前学習： 家庭科の授業中に起こり得る事態を創造し列記する 事後学習： 問題解決力の定着を図る				4時間	
5 年間授業計画と学習指導案の作成方法			事前学習： 事前に教科書を読んでおく				4時間	

人間生活学科 キャリア創造専攻 2年次

	事後学習： 教員採用試験対策プリントを実施する	
6 家庭科教員としての資質 問題解決力とその実践例 (学力・授業態度)	事前学習： 教員採用試験対策プリントを実施する 事後学習： 教員採用における家庭科の教員志望理由をまとめる	4時間
7 衣領域学習内容 衣生活論知識の授業展開例服飾造形基礎からの授業展開例 (実技・実習)	事前学習： 事前に学習指導要領に目を通す 事後学習： 技術家庭、家庭分野両方の目標を暗記する	4時間
8 食領域学習内容 食生活論知識活用した授業展開例食生活実習技術活用した授業展開例 (実技・実習)	事前学習： 該当領域にあたる中学校家庭科の教科書を読んでおく 事後学習： 衣領域の教材提案を行う	4時間
9 生活領域学習内容 生活学・家庭経済学・家族関係学知識を活かした授業展開例 (準備・実践・評価)	事前学習： 該当領域にあたる中学校家庭科の教科書を読んでおく 事後学習： 食領域の教材提案を行う	4時間
10 住・保育・その他の領域学習内容 住生活論・保育学知識を活かした授業展開例	事前学習： 該当領域にあたる中学校家庭科の教科書を読んでおく 事後学習： 生活領域の教材提案を行う	4時間
11 授業展開例①講義②演習③実験④実習⑤グループ学習⑥視聴覚教材等	事前学習： 該当領域にあたる中学校家庭科の教科書を読んでおく 事後学習： 住・保育領域の教材提案を行う	4時間
12 学習指導案に基づく授業展開例の考案①シナリオ(発問例・板書計画)	事前学習： 中学校家庭科の教科書に記載されている不明用語を抽出する 事後学習： 不明用語に関し詳細に調べ、理解し定着に努める	4時間
13 学習指導案に基づく授業展開例の考案②補助教材 VTR視聴「授業実践事例」	事前学習： 自分が授業を行う領域に関し教えるべき内容を導き出す 事後学習： 学習指導案内、細案(シナリオ)作成に取り組む	4時間
14 授業実践及び授業実践の振り返り	事前学習： 自身のシナリオに効果的補助教材活用することを思案する 事後学習： シナリオを用いてシュミュレーション自身で授業を行う	4時間
15 授業実践及び授業実践の振り返り まとめ 「今後の家庭科教育の展望」	事前学習： 今までの復習をする 事後学習： 自分の目指すべき家庭科教員像を描く	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0006	道徳の指導法	佐野 典行	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 学校教育における道徳教育の中核をなす「特別の教科 道徳」（道徳科）の必要性を理解し、必要な知識・指導方法・評価方法を身に付ける。 道徳科の全体計画の作成・指導案の作成・模擬授業等のアクティブラーニングを通じて、「考え、議論する道徳」に適した教材や指導方法について考え、併せて実践的指導力を身に付ける。以上を教諭並びに教育委員会の指導主事の経験を活かし実例等を交えて教授する。								
【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (標準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	道徳科に必要な知識・指導方法・評価方法について理解し、全体計画と指導案を作成することができる。	定期試験	50	5	定期試験（知識・理解・指導方法等）の解答が8割を満たしている。			
				4	定期試験（知識・理解・指導方法等）の解答が6割を満たしている。			
				3	定期試験（知識・理解・指導方法等）の解答が4割を満たしている。			
				2	定期試験（知識・理解・指導方法等）の解答が2割を満たしている。			
				1	定期試験（知識・理解・指導方法等）の解答が2割未満である。			
		レポート	10	5	葛藤場面があり、生徒が自己を見つめ、他者との議論の中で多面的・多角的に考えを深め、道徳的な判断力や心情、実践意欲と態度が高まる指導案である。			
				4	葛藤場面があり、生徒が自己を見つめ、他者との議論の中で考えを深め、道徳的な判断力が高まる指導案である。			
				3	葛藤場面がなく、議論は広がらないが、生徒が個々に自己を見つめ、道徳的な価値観を再認識できる指導案である。			
				2	題材に工夫が見られず、一般的な道徳的価値観を再認識する指導案である。			
				1	授業のねらいや主発問、授業の展開が不明確で、指導案として不十分である。			
思考力	道徳科の全体計画の作成・指導案の作成・模擬授業を通じて、「考え、議論する道徳」に適した教材やより良い指導方法について考え併せて実践的指導力を身に付ける。	レポート	30	5	模擬授業を振り返り、「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントが題材設定・議論の場の設定・発問等の視点から整理され、詳細に記されている。			
				4	模擬授業を振り返り、「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントが詳細に記されている。			
				3	模擬授業を振り返り、「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントが記されている。			
				2	模擬授業の振り返りがあまり反映されず、「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントが一部しか記されていない。			
				1	模擬授業の振り返りが反映されず、「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントが記されていない。			
		受講態度	10	5	「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントについて、グループで中心になって積極的に検討・協議し、効果的なポイントを導き出すことができる。			
				4	「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントについて、グループで積極的に検討・協議し、効果的なポイントを導き出すことができる。			
				3	「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントについて、グループで検討・協議し、ポイントを導き出すことができる。			
				2	「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントについて、グループで意見を交換しているが消極的である。			
				1	「考え、議論する道徳」の授業で大切なポイントについて、グループで意見を交換することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 参考書： 中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編								
【その他】 課題（レポート等）に対してフィードバックを行う。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 日本における道徳教育と諸外国における価値教育の変遷	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
2 道徳の本質と道徳教育 ～「道徳」の教科化と必要性～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
3 道徳教育の目標・内容と全体計画 ～模擬授業と道徳科学習指導案作成のポイント～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
4 道徳科学習指導案の作成Ⅰ ～主体的・対話的で深い学びの授業づくり～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 指導案を作成する。	4時間
5 道徳科学習指導案の作成Ⅱ ～主体的・対話的で深い学びの授業づくり～	事前学習： 指導案を作成する。 事後学習： 指導案を完成して提出する。	4時間
6 模擬授業Ⅰ ～指導と評価の一体化～	事前学習： 模擬授業と振り返りレポート作成の準備をする。 事後学習： 本時の模擬授業の振り返りを行い、レポートにまとめて提出する。	4時間
7 模擬授業Ⅱ ～指導と評価の一体化～	事前学習： 模擬授業と振り返りレポート作成の準備をする。 事後学習： 本時の模擬授業の振り返りを行い、レポートにまとめて提出する。	4時間
8 理想の授業を目指して ～模擬授業の振り返り(討論)～	事前学習： 全ての模擬授業を振り返り、意見交換の準備をする。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0008	生徒指導・進路指導	佐野 典行	後期	選択	講義	2	○	2
<p>【授業のねらい及び身につく能力】 生徒指導の意義と原理について、法制度等にも触れながら理解を深め、確かな根拠と理論に裏付けされた指導方法を身に付ける。 複雑化・多様化する児童生徒をめぐる様々な課題（いじめ、暴力行為、児童虐待、不登校、発達障がいなど）に対する具体的な対応策を考え、事例検討やロールプレイングなどのアクティブラーニングにより、実践的指導力を身に付ける。 キャリア教育の必要性と意義を理解し、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てキャリア発達を促すための実践的指導力を身に付ける。以上を教諭並びに教育委員会の指導主事の経験を活かし実例等を交えて教授する。</p>								
<p>【学修成果項目（達成目標）及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	生徒指導の意義と原理について、法制度等にも触れながら理解を深め、確かな根拠と理論に裏付けされた指導方法を身に付ける。 キャリア教育の必要性と意義について理解を深め、確かな根拠と理論に裏付けされた指導方法を身に付ける。	定期試験	50	5	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が8割を満たしている。			
				4	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が6割を満たしている。			
				3	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が4割を満たしている。			
				2	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が2割を満たしている。			
				1	定期試験（知識・理解・課題解決等）の解答が2割未満である。			
		レポート	10	5	生徒指導（キャリア教育）の意義と原理等に触れながら、確かな根拠と理論に裏付けされた指導方法が具体的に記されている。			
				4	生徒指導（キャリア教育）の意義と原理等に触れながら、理論に裏付けされた指導方法が具体的に記されている。			
				3	生徒指導（キャリア教育）の意義と原理等に触れながら、指導方法が具体的に記されている。			
				2	生徒指導（キャリア教育）の原理に触れながら、指導方法が記されている。			
				1	指導方法は記されているが、生徒指導（キャリア教育）の原理や根拠が不明確である。			
コミュニケーション力	様々な生徒指導上の課題について主体的に考え、他者と検討・協議し、解決策を導き出す。 キャリア教育の課題について主体的に考え、他者と検討・協議し、解決策を導き出す。	レポート	10	5	個人と他者の考えが併記され、グループ内で検討・協議して深まった効果的な課題解決策が具体的に記されている。			
				4	個人と他者の考えが併記され、グループ内で検討・協議した課題解決策が具体的に記されている。			
				3	グループ内で検討・協議した課題解決策が具体的に記されている。			
				2	グループ内で検討した課題解決策が記されているが、解決策として不十分である。			
				1	個人で考えた課題解決策だけが記され、解決策としても不十分である。			
		受講態度	10	5	課題解決のためにグループで中心になって積極的に検討・協議し、より効果的な解決策を導き出すことができる。			
				4	課題解決のためにグループで積極的に検討・協議し、解決策を導き出すことができる。			
				3	課題解決のためにグループで検討・協議し、解決策を考えることができる。			
				2	課題解決のためにグループで意見を交換しているが消極的である。			
				1	課題解決のためにグループで意見を交換することができない。			
実践力	様々な生徒指導上の課題について演習や協議を行うことで、実際に役立つ実践的指導力を身に付ける。 キャリア教育の課題について演習や協議を行うことで、実際に役立つ実践的指導力を身に付ける。	レポート	10	5	生徒指導（キャリア教育）の課題の解決策が、個人と組織の視点から具体的かつ理論的に記され、実際に役立つ実践的指導力に結びつく内容になっている。			
				4	生徒指導（キャリア教育）の課題に関する解決策が、具体的かつ理論的に記され、実際に役立つ実践的指導力に結びつく内容になっている。			
				3	生徒指導（キャリア教育）の課題に関する解決策が、具体的に記され、実際に役立つ実践的指導力に結びつく内容になっている。			
				2	生徒指導（キャリア教育）の課題に関する解決策が記されているが、具体性に欠ける。			
				1	記されている生徒指導（キャリア教育）の課題に関する解決策が不明確である。			
		受講態度	10	5	生徒指導（キャリア教育）の課題について、中心になって積極的に演習や協議を行うことで、実際に役立つ実践的指導力を身に付けようとしている。			
				4	生徒指導（キャリア教育）の課題について、積極的に演習や協議を行うことで、実際に役立つ実践的指導力を身に付けようとしている。			
				3	生徒指導（キャリア教育）の課題について、演習や協議を行うことで、実践的指導力を身に付けようとしている。			
				2	生徒指導（キャリア教育）の課題に関する演習や協議に消極的である。			
				1	生徒指導（キャリア教育）の課題に関する演習や協議に参加することができない。			
<p>【教科書・参考書】 教科書： 参考書： 「生徒指導提要」（文部科学省） 「中学校 キャリア教育の手引き」（文部科学省）</p>								
<p>【その他】 課題（レポート等）に対してフィードバックを行う。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目 ※実務家教員による授業</p>								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 生徒指導の定義と基礎的理論	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
2 生徒指導の意義と原理	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
3 児童生徒理解と教育相談 (ロールプレイング)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
4 学校における生徒指導体制 (事例検討)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
5 児童生徒の心理と児童生徒理解 (事例検討)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
6 生徒指導の具体的な対応 (ロールプレイング)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
7 児童生徒の発達・生徒指導に関する法規	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
8 具体事例から学ぶ生徒指導 (体罰)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
9 キャリア教育とは ～キャリア教育の意義 (討論)～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
10 教育活動全体を通じたキャリア教育の実践 ～職業観・勤労観の形成と全体計画～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
11 キャリア教育の実践的な取組① ～「私のキャリア発達」の作成～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
12 キャリア教育の実践的な取組② ～「私のキャリア発達」の作成～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
13 キャリア教育の実践的な取組③ ～「私のキャリア発達」の発表と評価～	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
14 キャリア教育の評価と教師 (学校) の役割	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間
15 教師にとって一番大切なこと (討論会)	事前学習： 事前課題に取り組む。 事後学習： 学習内容をレポートにまとめて提出する。	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0009	教職実践演習	川田 江美	後期	選択	演習	2	○	4
〔授業のねらい及び身につく能力〕 授業を通して、短期大学でのこれまでの学び、諸活動、更には教育実習等で得た知識・能力を、教員として必要な資質能力として有機的に結びつけていく。そのうえで、自己にとっての課題を自覚し、不足の知識・技術を補い修得する努力をし、将来の教員としての職業を円滑に行う力を身につけていく。								
〔学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法〕								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	教員として生徒指導・学級経営に関する知識を持ち、そのうえで家庭科の重要性を理解し、生徒を指導する知識・技術が身につける	レポート	50	5	教員として必要な知識を持ち、生徒を指導する知識・技術が特に優れている			
				4	教員として必要な知識を持ち、生徒を指導する知識・技術が優れている			
				3	教員として必要な知識を持ち、生徒を指導する知識・技術を習得している			
				2	生徒を指導する知識を身につけている			
				1	家庭科の知識・技術をもっている			
コミュニケー ション力	グループ討議に積極的に取り組み、自分の意見を論理的に説明し他者の意見を尊重する能力を身につける	受講態度	25	5	積極的にグループ討議に参加し自分の意見を論理的に説明し他者意見を聴取しまとめることができる			
				4	積極的にグループ討議に参加し自分の意見を説明し他者意見を聴取しまとめることができる			
				3	グループ討議に参加し自分の意見を論理的に説明し他者意見を聴取することができる			
				2	グループ討議に参加し自分の意見を説明することができる			
				1	グループ討議に参加し他者意見を聴取することができる			
実践力	教育現場で起きる様々な課題を円滑に解決し、その事例を次に生かす能力を身につける	レポート	25	5	学習指導案作成において授業目標・授業展開等が実際に授業を想定して工夫し組み立て記述されている			
				4	学習指導案作成において授業目標・授業展開等が正しく組み立て記述されている			
				3	学習指導案作成において授業目標正しく表記されているが、授業展開に不足がみられる			
				2	学習指導案作成において授業目標・授業展開に不足がみられる			
				1	学習指導案へ対する理解ができていない			
〔教科書・参考書〕 教科書： 使用せず 参考書： 適宜指示する								
〔その他〕 学習指導案はフィードバックを行う 中学校教諭2種免許状(家庭)の必修科目								
〔授業の内容・スケジュール〕				〔準備学習の内容〕				目安時間(時間)
1 教員としての資質 教員の役割				事前学習： 教員に必要な資質を考える 事後学習： 自身を振り返り教員として不足部分の抽出を行う				4時間
2 教育実習教材づくり、授業展開の方法(食分野)				事前学習： 食分野の中学校の教科書を確認する 事後学習： 授業で終わらなかった課題に取り組む				4時間
3 教育実習教材づくり、授業展開の方法(衣分野)				事前学習： 衣分野の中学校の教科書を確認する 事後学習： 授業で終わらなかった課題に取り組む				4時間
4 教育実習教材づくり、授業展開の方法(住・保分野)				事前学習： 住分野の中学校の教科書を確認する 事後学習： 授業で終わらなかった課題に取り組む				4時間
5 教育実習教材づくり、授業展開の方法(生活分野)				事前学習： 生活分野の中学校の教科書を確認する 事後学習： 授業で終わらなかった課題に取り組む				4時間
6 実践事例発表会(1)				事前学習： 発表会準備をする 事後学習： 実践事例を参考に自分の授業を想定する				4時間
7 実践事例発表会(2)				事前学習： 発表会準備をする 事後学習： 実践事例を参考に自分の授業を想定する				4時間
8 学習方法 (ロールプレイング・視聴覚教材の利用)				事前学習： 授業実践事例を調べる 事後学習： 実践事例を参考に自分の授業を想定する				4時間
9 グループ討議：生活指導				事前学習： 指導例を調べる 事後学習： グループ討議の結果を踏まえ、自分の指導例を考える				4時間

10 グループ討議：学習困難	事前学習： 指導例を調べる 事後学習： グループ討議の結果を踏まえ、自分の指導例を考える	4時間
11 グループ討議：実習からの問題提起	事前学習： 実習中の問題を抽出する 事後学習： グループ討議の結果を踏まえ、自分の指導例を考える	4時間
12 グループ討議：実習からの問題提起	事前学習： 実習中の問題を抽出する 事後学習： グループ討議の結果を踏まえ、自分の指導例を考える	4時間
13 教育実習反省会準備	事前学習： 自分が授業を行う領域に関し教えるべき内容を導き出す 事後学習： 学習指導案内、細案(シナリオ)作成に取り組む	4時間
14 教育実習反省会	事前学習： 自身のシナリオに効果的補助教材活用することを思案する 事後学習： シナリオを用いてシミュレーション自身で授業を行う	4時間
15 まとめ	事前学習： 教員になる自覚を高める 事後学習： 自分の目指すべき教員像を描く	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0010	教育実習指導	佐野 典行	前期	選択	演習	1	○	3
【授業のねらい及び身につく能力】 実習校で行われる教育実習に先立って、教育実習に対する心構え・技術・態度などを学習し、身につける。 実習生として学校の教育活動に参画する意識を高め、学習指導案の作成や模擬授業等を通して主体的に学ぶことで、実践的な力を身につける。 また、各自治体の教員採用に関わる課題についての理解を深める。以上を教諭並びに教育委員会の指導主事の経験を活かし実例等を交えて教授する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	中学校教員の職務と責任を理解するとともに、家庭科教員としての基礎的な知識と技術を身につける。	レポート	50	5	家庭科教員としての確かな知識と技術を身につけ、学習指導要領の趣旨に沿って完成度の高い学習指導案を作成することができる。			
				4	家庭科教員としての確かな知識と技術を身につけ、学習指導要領の趣旨に沿って学習指導案を作成することができる。			
				3	家庭科教員としての知識と技術を身につけ、学習指導案を作成することができる。			
				2	家庭科教員としての知識と技術を身につけているが、学習指導案の作成が不十分である。			
				1	家庭科教員としての知識と技術が身についておらず、学習指導案を作成することができない。			
実践力	家庭科教員として、実際の指導や教材研究等を通して実践的な力を身につける。	受講態度	50	5	課題や教材研究、模擬授業に意欲的に取り組み、主体的・対話的で深い学びの視点から模擬授業を展開することができる。			
				4	課題や教材研究、模擬授業に意欲的に取り組み、主体的・対話的で深い学びの視点から模擬授業を工夫しようとしている。			
				3	課題や教材研究、模擬授業に取り組み、分かる授業の視点から模擬授業を工夫している。			
				2	課題や教材研究が不十分であり、模擬授業に工夫が見られない。			
				1	課題や教材研究が不十分であり、模擬授業ができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 参考書： 石井英真・渡邊洋子 編著 「教職教養講座第15巻 教職実習教職実践演習フィールドワーク」 (共同出版) 教育実習ガイド (時事通信社)								
【その他】 課題(レポート等)に対してフィードバックを行う。 中学校教諭2種免許状(家庭)の必修科目 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 教育実習の意義と心得 ～ガイダンス・グループディスカッション～	事前学習： 教育実習に対する抱負をまとめる。 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる。	1時間
2 教師の役割 ～教師の1日と法的義務～	事前学習： 教師の役割と関連法規について調べる。 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる。	1時間
3 教育実習までの手順 ～実習校との事前打ち合わせ内容の確認～	事前学習： 実習校の概要や特色、指導方針について調べる。 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる。	1時間
4 学習指導案作成のポイントと授業例 ～書式、書き方、主体的・対話的で深い学びの視点～	事前学習： 主体的・対話的で深い学びについて調べる。 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる。	1時間
5 学習指導案の作成と検討① ～題材名、指導目標、指導計画・評価規準の作成～	事前学習： 題材名、指導目標、指導計画を調べて決定する。 事後学習： 学習内容を振り返り、学習指導案を吟味・修正する。	1時間
6 学習指導案の作成と検討② ～本時の目標、展開（発問・板書計画等）の作成～	事前学習： 本時の目標、展開（発問・板書計画等）について考える。 事後学習： 学習内容を振り返り、学習指導案を吟味・修正する。	1時間
7 学習指導案の作成と検討③ ～本時の目標、展開（発問・板書計画等）の作成～	事前学習： 本時の展開について、同様な学習指導案を探し、資料として準備する。 事後学習： 学習内容を振り返り、学習指導案を吟味・修正する。	1時間
8 学習指導案の作成と検討④ ～本時の展開（発問・板書計画等）の修正～	事前学習： 本時の展開について、同様な学習指導案を探し、資料として準備する。 事後学習： 学習内容を振り返り、学習指導案を吟味・修正する。	1時間
9 学習指導案の作成と検討⑤ ～本時の展開（発問・板書計画等）の修正～	事前学習： 学習指導案全体を吟味し、完成に必要な資料・教材等を準備する。 事後学習： 模擬授業に必要な教材・教具を準備する。	1時間
10 学習指導案の完成と模擬授業の準備⑥	事前学習： 模擬授業の準備をする。 事後学習： 模擬授業を振り返り、学習指導案を修正する。	1時間
11 模擬授業① ～実践・反省・検討～	事前学習： 模擬授業の準備をする。 事後学習： 模擬授業を振り返り、学習指導案を修正する。	1時間
12 模擬授業② ～実践・反省・検討～	事前学習： 模擬授業の準備をする。 事後学習： 模擬授業を振り返り、学習指導案を修正する。	1時間
13 模擬授業③ ～実践・反省・検討～	事前学習： 模擬授業の準備をする。 事後学習： 模擬授業を振り返り、学習指導案を修正する。	1時間
14 模擬授業④ ～実践・反省・検討～	事前学習： 模擬授業の準備をする。 事後学習： 模擬授業を振り返り、学習指導案を修正する。	1時間
15 教育実習に向けて ～模擬授業の総括と実習に関する質疑・応答～	事前学習： 学習指導案を修正する。 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0011	教育実習	佐野 典行	後期	選択	実習	4	○	4
【授業のねらい及び身につく能力】 教育実習は、教育現場である中学校において、観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての使命感を持ち、将来教員になる上での能力や適性を考えるとともに課題を自覚する機会である。指導教員の下で職務内容を学び、学校教育の実際を体験することで総合的に理解し、教育実践並びに教育実践研究の基礎的な能力と態度を身につける。実習時期と期間は、原則として10月末～11月の4週間とし、実習終了後に報告会を行う。事前・事後指導において、教諭並びに教育委員会の指導主事の経験を活かして必要な支援を行う。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	中学校教員の職務を理解し、家庭科に関する指導の基礎的な知識と技術を身につける。	レポート	30	5	中学校教員の職務を十分理解し、家庭科に関する指導の知識・技術を積極的に身につけ、実習日誌に成果や課題を的確にまとめることができる。			
				4	中学校教員の職務を十分理解し、家庭科に関する指導の知識・技術を積極的に身につけ、実習日誌に成果や課題をまとめることができる。			
				3	中学校教員の職務を理解し、家庭科に関する指導の知識・技術を身につけ、実習日誌にまとめることができる。			
				2	中学校教員の職務や家庭科に関する指導の知識・技術の習得が不十分であり、実習日誌の内容も不十分である。			
				1	中学校教員の職務や家庭科に関する指導の知識・技術が身につかず、実習日誌も書けていない。			
実践力	家庭科教員として、実際の指導や教材研究等を通して実践的な力を身につける。	受講態度	40	5	教材研究に意欲的に取り組み、主体的・対話的で深い学びの視点から授業を展開することができる。			
				4	教材研究に意欲的に取り組み、主体的・対話的で深い学びの視点から授業を工夫しようとしている。			
				3	教材研究に取り組み、分かる授業の視点から授業を工夫している。			
				2	教材研究が不十分であり、授業に工夫が見られない。			
				1	教材研究が不十分であり、授業ができない。			
向上心・責任 感	実習校で教師の役割や責任を自覚し、自らの課題を解決しようと努力する。	受講態度	30	5	教師の役割や責任を十分理解し、自らの課題を積極的に解決しようと努力する。			
				4	教師の役割や責任を十分理解し、自らの課題を解決しようと努力する。			
				3	教師の役割や責任を理解し、自らの課題を解決しようと努力する。			
				2	教師の役割や責任を理解するが、自らの課題を解決する姿勢が見られない。			
				1	教師の役割や責任の理解が不十分であり、自らの課題を解決する姿勢が見られない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 教育実習日誌 参考書： 教育実習ガイド（時事通信社）								
【その他】 課題や教育実習日誌に対してフィードバックを行う。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目 教育実習の履修者は原則1年次のGPA2.5以上の学生に限定 ※実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
2 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
3 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
4 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
5 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
6 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
7 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
8 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
9 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
10 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
11 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
12 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
13 各中学校における教育実習	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返り、実習日誌にまとめる。	1時間
14 各中学校における教育実習 ～教育実習日誌の提出～	事前学習： 実習内容の確認と諸準備。 事後学習： 実習を振り返りまとめ、実習日誌を完成させる。	1時間
15 実習報告会における発表	事前学習： 実習報告書の作成と発表の準備。 事後学習： 実習報告会を振り返り、実習のまとめをする。	1時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CD0012	特別活動の指導法 (教育の方法と技術含む)	白岩 等	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
特別活動は、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決するための資質・能力を育成することを目標としている。授業では、特別活動における基本理念や意義、目標、内容等を読み、特別活動の指導に必要な基礎的な知識と技術を習得する。また、学習指導案の作成や模擬授業を通して、指導における実践的な力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	特別活動の指導と運営について、理論面、技術面から理解し、基礎的な知識と技術を身につける。	確認テスト	40	5	特別活動についての知識と技術を積極的に学び、指導計画に十分活かすことができる。			
				4	特別活動についての知識と技術を積極的に学び、指導計画に活かすことができる。			
				3	特別活動についての知識と技術を学び、指導計画に活かすことができる。			
				2	特別活動についての知識と技術を学んでいるが、指導計画に活かすことができない。			
				1	特別活動についての知識と技術が身につけていない。			
専門的知識・ 技術	特別活動の指導と運営について、理論面、技術面から理解し、基礎的な知識と技術を身につける。	作品	30	5	特別活動の目標を十分理解し、学習指導案を作成することができる。			
				4	特別活動の目標を理解し、学習指導案を作成することができる。			
				3	特別活動の目標を理解しているが、学習指導案の作成が十分でない。			
				2	特別活動の目標をある程度理解しているが、学習指導案を作成することができない。			
				1	特別活動の目標を理解しておらず、学習指導案を作成することができない。			
思考力	授業で学んだ知識と技術を活用して、模擬授業を行うことができる。	受講態度	30	5	授業で学んだ知識と技術を十分活用して、模擬授業をよりよく行うことができる。			
				4	授業で学んだ知識と技術を活用して、模擬授業を行うことができる。			
				3	授業で学んだ知識と技術を活用しようとしているが、模擬授業が十分ではない。			
				2	授業で学んだ知識と技術が不十分で、模擬授業がうまくできない。			
				1	知識と技術が身につけていないため、模擬授業ができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編」文部科学省								
参考書： 授業中に適宜指示する								
【その他】								
学習指導案や小レポート提出後、また模擬授業後にフィードバックを行う。								
中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 特別活動の目標と内容	事前学習： 小中高等学校で受けてきた特別活動を振り返り、まとめる 事後学習： 学習内容を振り返り、まとめる（小レポート）	4
2 学級活動・ホームルーム活動の理論と実践	事前学習： 学級活動・ホームルーム活動について教科書で調べておく 事後学習： 学習内容を振り返り、まとめる（小レポート）	3
3 児童会・生徒会活動とクラブ活動の理論と実	事前学習： 児童会・生徒会活動とクラブ活動について教科書で調べておく 事後学習： 学習内容を振り返り、まとめる（小レポート）	3
4 学校行事の理論と実践	事前学習： 学校行事について教科書で調べておく 事後学習： 学習内容を振り返り、まとめる（小レポート）	3
5 特別活動の指導の実際① 学習指導案を作成する	事前学習： 特別活動の学習指導計画について調べておく 事後学習： 特別活動の学習指導案を作成する	4
6 特別活動の指導の実際② 学習指導案を検討する	事前学習： 特別活動の学習指導案を完成させる 事後学習： 特別活動の学習指導案の修正点を検討する	4
7 特別活動の指導の実際③ 模擬授業（1）	事前学習： 模擬授業の準備をする 事後学習： 模擬授業を振り返る（小レポート）	4
8 特別活動の指導の実際④ 模擬授業（2）	事前学習： 模擬授業の準備をする 事後学習： 模擬授業を振り返る（小レポート）	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0013Q	特別支援教育論	浅田 聡	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】 通常の学級にも在籍している発達障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が、授業において学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう支援方法を考える。幼児、児童及び生徒の学習上または生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	特別の支援を必要とする子どもの障害の特性や心身の発達を理解するとともに、教育課題や支援方法について、基礎的な知識と技術を身につける。	確認テスト	50	5	確認テストの得点が9割以上である。			
				4	確認テストの得点が8割以上である。			
				3	確認テストの得点が7割以上である。			
				2	確認テストの得点が6割以上である。			
				1	確認テストの得点が5割以上である。			
思考力	特別の支援を必要とする子どもに対する支援の在り方について、授業で学んだ知識と技術を活用して、自分なりの考えを深めることができる。	レポート	50	5	授業で学んだ知識と技術を十分活用して、十分に論理的なレポートを作成することができる。			
				4	授業で学んだ知識と技術を十分活用して、論理的なレポートを作成することができる。			
				3	授業で学んだ知識と技術を活用することはできるが、論理的なレポートの作成が十分ではない。			
				2	授業で学んだ知識と技術を活用することはできるが、論理的なレポートを作成することができない。			
				1	授業で学んだ知識と技術を活用することはせず、論理的なレポートを作成することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 授業時に資料を配布する。 参考書： 授業時に適宜指示する。								
【その他】 レポート提出後にフィードバックを行う。 中学校教諭2種免許状(家庭)の必修科目 実務家教員による授業								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 特別に支援を必要とする子どもの現状	事前学習： 特別に支援を必要とする子どもの現状について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
2 特別支援教育の現状と課題	事前学習： 特別支援教育の現状と課題について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
3 個別の支援計画及び個別の教育支援計画 通級による指導	事前学習： 個別の支援計画及び個別の教育支援計画について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
4 発達障害等の理解と指導、支援	事前学習： 発達障害について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
5 身体障害等の理解と指導、支援	事前学習： 身体障害について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
6 その他の支援が必要な子どもの理解と指導、支援	事前学習： その他の支援が必要な子どもについて調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
7 専門機関の役割と地域・保護者との連携	事前学習： 専門機関の役割と地域・保護者との連携について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
8 授業のまとめと振り返り 確認テスト	事前学習： これまでの授業内容を復習する 事後学習： まとめの内容を確認する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0014	総合的な学習の時間の指導法	白岩 等	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
「総合的な学習の時間」は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通してよりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指すことを目標としている。授業では、「総合的な学習の時間」が創設された背景を理解するとともに、その基本理念や意義、目標等を学び、教員として「総合的な学習の時間」の指導に必要な基礎的な知識と技術を習得する。また、グループワークによる「総合的な学習の時間」の指導計画や単元展開案の作成とその発表を通して実践的な力を身につける。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	「総合的な学習の時間」の指導・運営について、理論面、技術面から理解し、基礎的な知識と技術を身につける。	確認テスト	30	5	「総合的な学習の時間」についての知識と技術を積極的に学び、指導計画に十分活かすことができる。			
				4	「総合的な学習の時間」についての知識と技術を積極的に学び、指導計画に活かすことができる。			
				3	「総合的な学習の時間」についての知識と技術を学び、指導計画に活かすことができる。			
				2	「総合的な学習の時間」についての知識と技術を学んでいるが、指導計画に十分活かすことができない。			
				1	「総合的な学習の時間」についての知識と技術が身につけていない。			
専門的知識・ 技術	「総合的な学習の時間」の指導・運営について、理論面、技術面から理解し、基礎的な知識と技術を身につける。	作品	40	5	「総合的な学習の時間」の目標を十分理解し、単元展開案を作成することができる。			
				4	「総合的な学習の時間」の目標を理解し、単元展開案を作成することができる。			
				3	「総合的な学習の時間」の目標を理解しているが、単元展開案の作成が十分でない。			
				2	「総合的な学習の時間」の目標をある程度理解しているが、単元展開案を作成することができない。			
				1	「総合的な学習の時間」の目標を理解しておらず、単元展開案を作成することができない。			
思考力	授業で学んだ知識を活用して、自ら学び自ら考える力や主体的な判断によってよりよく問題を解決しようとする力を身につける。	受講態度	30	5	授業で学んだ知識や技術を十分活用して、主体的な判断によってよりよく問題を解決する意義を提案できる。			
				4	授業で学んだ知識や技術を活用して、よりよく問題を解決する意義を提案できる。			
				3	授業で学んだ知識や技術を活用することはできるが、よりよく問題を解決する意義の提案が十分できない。			
				2	授業で学んだ知識や技術を活用することはできるが、よりよく問題を解決する意義を提案できない。			
				1	授業で学んだ知識や技術を活用することができず、よりよく問題を解決する意義を提案できない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編」文部科学省								
参考書： 授業中に適宜指示する								
【その他】								
レポート提出後と単元構想のプレゼンテーション後にフィードバックを行う。								
中学校教諭2種免許状(家庭)の必修科目。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 総合的な学習の時間の意義と導入経緯 総合的な学習の時間に育む資質・能力	事前学習： 小中高等学校で受けてきた総合的な学習の時間を振り返りまとめる 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4
2 総合的な学習の時間の年間計画の事例とカリキュラムマネジメント	事前学習： 総合的な学習の時間の各学校の年間計画について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	3
3 単元構成の方法と探求的な見方・考え方 教科横断的・体験的な活動の事例	事前学習： 総合的な学習の時間の単元構成について調べておく 事後学習： 今までの学習を復習し、確認テストの準備をする	3
4 総合的な学習の時間の単元づくり (1) テーマ設定のグループワーク 確認テスト	事前学習： 総合的な学習の時間のテーマについて調べておく 事後学習： 総合的な学習の時間のテーマについてまとめる	3
5 総合的な学習の時間の単元づくり (2) 単元展開案のグループワーク	事前学習： 総合的な学習の時間の単元展開例について調べておく 事後学習： 総合的な学習の時間の単元展開案を作成する	4
6 総合的な学習の時間の単元づくり (3) 指導計画のグループワーク	事前学習： 総合的な学習の時間の指導計画について調べておく 事後学習： 総合的な学習の時間の指導計画を作成する	4
7 単元構想のプレゼンテーション①	事前学習： 単元構想のプレゼンテーションの準備をする 事後学習： 単元構想のプレゼンテーションを振り返る	4
8 単元構想のプレゼンテーション② 授業のまとめと振り返り 小レポート	事前学習： 単元構想のプレゼンテーションの準備をする 事後学習： 単元構想のプレゼンテーションを振り返る	4

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0015Q	教育相談	浅田 聡	後期	選択	講義	1	○	2
<p>【授業のねらい及び身につく能力】</p> <p>教育相談は、子どもが自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。授業では、子どもの発達状況に即しつつ、個々の心理的特性や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的な知識と技術を習得するとともに、子どもたちが抱える課題についてグループワークによる事例検討を通して実践的な力を身につける。</p>								
<p>【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】</p>								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	教育相談の意義や理論、方法を理解し、基礎的な知識と技術を身につける。	確認テスト	40	5	教育相談についての知識と技術を積極的に学び、確認テストでは9割以上理解することができる。			
				4	教育相談についての知識と技術を積極的に学び、確認テストでは8割理解することができる。			
				3	教育相談についての知識と技術を学び、確認テストでは7割理解することができる。			
				2	教育相談についての知識と技術を学びが不十分であり、確認テストでは6割しか理解することができない。			
				1	教育相談についての知識と技術が身についておらず、確認テストでは5割以下しか理解することができない。			
コミュニケーション力	授業で学んだ知識と技術を活用して、グループワークによる事例検討に積極的に参加する。	受講態度	30	5	授業で学んだ知識と技術を活用して、グループワークによる事例検討に積極的に参加することができる。			
				4	授業で学んだ知識と技術を活用して、グループワークによる事例検討に積極的に参加することができる。			
				3	授業で学んだ知識と技術を活用して、グループワークによる事例検討に参加することができる。			
				2	グループワークによる事例検討への参加が消極的である。			
				1	グループワークによる事例検討への参加することができない。			
実践力	子どもたちが抱える課題を適切に捉え支援する実践的な力を身につける。	レポート	30	5	子どもたちが抱える課題を適切に捉え、支援に結びつく実践的なレポートを作成することができる。			
				4	子どもたちが抱える課題を適切に捉え、支援に結びつくレポートを作成することができる。			
				3	子どもたちが抱える課題について、支援に結びつくレポートを作成することができる。			
				2	子どもたちが抱える課題について、支援に結びつくレポートを作成が十分ではない。			
				1	子どもたちが抱える課題について、支援に結びつくレポートを作成することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
<p>【教科書・参考書】</p> <p>教科書： 授業時に資料を配布する。</p> <p>参考書： 授業時に適宜指示する。</p>								
<p>【その他】</p> <p>レポート提出後とグループワークによる事例検討後にフィードバックを行う。</p> <p>中学校教諭2種免許状(家庭)の必修科目 実務家教員による授業</p>								

〔授業の内容・スケジュール〕	〔準備学習の内容〕	目安時間(時間)
1 教育相談の必要性と意義	事前学習： 小中高等学校で行われている教育相談について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
2 教育相談の理論と方法	事前学習： 教育相談の方法について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
3 教育相談におけるカウンセリングマインド	事前学習： 教育相談におけるカウンセリングマインドについて調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
4 教育相談の事例検討(グループワーク) (1) いじめについて考える	事前学習： いじめの現状について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
5 教育相談の事例検討(グループワーク) (2) 不登校について考える	事前学習： 不登校の現状について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
6 教育相談の事例検討(グループワーク) (3) 虐待について考える	事前学習： 虐待の現状について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
7 教育相談の事例検討(グループワーク) (4) 発達障害・保護者対応について考える	事前学習： 発達障害・保護者対応の現状について調べておく 事後学習： 学習内容を振り返りまとめる	4時間
8 授業のまとめと振り返り(メンタルヘルス・ソーシャルスキルなど) 確認テスト	事前学習： これまでの授業の復習をする 事後学習： まとめの内容を確認する	4時間

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブ ラーニング	ナンバリング
CD0016	教育原理	白岩 等	前期	選択	講義	2	○	1
【授業のねらい及び身につく能力】 「教育」という言葉の意味を端緒として、教育に関する思想や制度を辿り、教育の意義・あり方などを考察する。そして、人間にとって教育はなぜ必要なのかという視点を常に持って、教育の必要性を考察する。教育に関する用語や制度・法令などを理解するとともに、それらの知識をふまえて考察する力を身につける。用語などを単に知識として吸収するだけではなく、自らの教育観を確立する手立てとしたい。								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価			成績評価					
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	教育史・教育思想・教育制度 などを理解できる。	定期試験	40	5	該当内容について9割以上理解している。			
				4	該当内容について8割以上理解している。			
				3	該当内容について7割以上理解している。			
				2	該当内容について6割以上理解している。			
				1	該当内容についての理解が6割未満である。			
専門的知識・ 技術	教育史・教育思想・教育制度 などを理解できる。	受講態度	20	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる。			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
思考力	学習内容をふまえて、自分な りの教育観を深めることがで きる。	定期試験	20	5	該当内容について8割以上理解している。			
				4	該当内容について7割以上理解している。			
				3	該当内容について6割以上理解している。			
				2	該当内容について5割以上理解している。			
				1	該当内容についての理解が5割未満である。			
思考力	学習内容をふまえて、自分な りの教育観を深めることがで きる。	受講態度	20	5	求められる内容を理解し、十分な内容の課題を作成できる。			
				4	求められる内容を理解し、おおむね十分な内容の課題を作成できる			
				3	求められる内容を理解し、課題を作成できる。			
				2	求められる内容の理解が不足しているが、課題を提出する。			
				1	求められる内容の理解が不足し、課題も完成できない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】 教科書： 教育の原理 深谷 潤／広岡 義之 編著（ミネルヴァ書房） 参考書： 「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」、その他テーマに合わせて適宜紹介する。								
【その他】 提出物のフィードバックを行う。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目。								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 「教育」とは何か	事前学習： シラバスの記述内容を理解する。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、指定図書を読む。	4
2 人間と教育、それを取り巻く文化と社会	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
3 子どもと家庭	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
4 古代から中性にかけての教育	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
5 近代公教育制度の誕生	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
6 現代教育の分析	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
7 西洋教育思想の潮流	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
8 教育思想の転換の始まり	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
9 啓蒙主義・新人文主義時代の教育思想	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 課題に取り組む。	4
10 教育思想の展開	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
11 学校と社会	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
12 学校と学習	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解するとともに、課題に取り組む。	4
13 学校と子ども・教師（1）	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
14 学校と子ども・教師（2）	事前学習： 学習箇所を読んでおく。 事後学習： 本時の学習内容を理解する。	4
15 まとめ	事前学習： これまでの学習内容を振り返る。 事後学習： 学習内容をまとめ、定期試験に臨む。	8

科目コード	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数	アクティブラーニング	ナンバリング
CD0017Q	教育とICT活用	阿久津 毅	後期	選択	講義	1	○	2
【授業のねらい及び身につく能力】								
<p>教育環境や教育機器は多様化しており、ICT機器の種類も多く、教師がICT機器を適切に選定し、授業の中でICT機器を効果的に活用することが望まれる。情報提示のためのICT機器は、出力系（プロジェクタ、プラズマディスプレイ、電子黒板等）、入力系（教科書準拠デジタルコンテンツ、実物投影機、インターネット、地上デジタルテレビ放送、CD-ROM及びDVD等による教育コンテンツ等）の2種類に主に分けられる。その際、コンピュータ、インターネットや校内LANは、情報提示を支えるための基本インフラといえる。どのようなICT機器を用いた場合においても、従来から培われてきた教師の授業技術に、ICT活用が適切に組み合わせられることで効果が得られると配慮する必要がある。そのためには、前述した機器・設備の特徴をすることが必要となる。本講座ではICT機器の基礎的な知識と活用法を学ぶものである。</p>								
【学修成果項目(達成目標)及び成績評価の方法】								
学修成果評価				成績評価				
評価指標 (規準)	達成目標	評価手段	評価比率	ルーブリック評価				
				評価	評価観点			
専門的知識・ 技術	ICT機器に関わる知識がある	受講態度	40	5	問題の90%以上が解ける。			
				4	問題の80%以上が解ける。			
				3	問題の70%以上が解ける。			
				2	問題の50%以上が解ける。			
				1	問題を50%未満しかできない。			
実践力	課題に対して真摯に取り組み、ICT機器を利用することが出来る。	作品	60	5	ICT機器を80%以上利用することができる			
				4	ICT機器を70%以上利用することができる。			
				3	ICT機器を60%以上利用することができる。			
				2	ICT機器を50%以上利用することができる。			
				1	ICT機器を50%未満しか利用することができない。			
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
				5				
				4				
				3				
				2				
				1				
【教科書・参考書】								
教科書： 利用せず								
参考書： 授業内のパワポ資料などを自由にダウンロード可								
【その他】								
授業内容の理解度の確認にはMicrosoft365を用い、フィードバックを行う。 中学校教諭2種免許状（家庭）の必修科目								

【授業の内容・スケジュール】	【準備学習の内容】	目安時間(時間)
1 情報通信技術と活用	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
2 学習とデータベース(図書館データベースを例に)	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
3 遠隔・オンライン教育	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
4 情報セキュリティと教育	事前学習： 高等学校の教科書などで関連する項目を復習しておく 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
5 デジタル教材の作成①	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
6 デジタル教材の作成② クラウドを活用した校務の共同作業	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
7 情報通信機器の利用と情報モラル① 授業準備に係るインターフェース	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
8 情報通信機器の利用と情報モラル②	事前学習： 前回授業の復習 事後学習： 授業内容について、復習する	1時間
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		